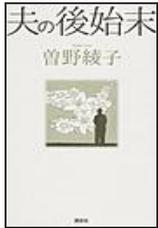


2018年1月分新聞書評



夫の後始末

曾野 綾子 著

講談社

夫はある日、崩れるように倒れた。私はその時から、覚悟を決めた。夫・三浦朱門を自宅で介護した作家・曾野綾子が、夫婦の「最後の日々」を初めて明かす。『週刊現代』連載を加筆修正し単行本化。

2017:10./ 236p

978-4-06-220816-1

本体 ¥926+税



産経新聞 2018/01/06



もう一杯だけ飲んで帰ろう。

角田 光代、河野 丈洋 著

新潮社

近所の居酒屋、旅先の味、深夜のバーの後、家でもおかわり。人と飲むのが大好きな夫婦が、いっしょに酒を飲んだある日あるときのことを、それぞれが綴った酒飲みエッセイ。『古典酒場』『芸術新潮』掲載を単行本化。

2017:11./ 209p

978-4-10-434607-3

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2018/01/06



不都合な日本語

大野 敏明 著

展転社

言葉の乱れは世の中の乱れか? 産経新聞社編集局編集長を務めた著者が、「現在の日本語」をテーマに取り上げながら時局を批評し、おかしな現代社会を痛快にぶった斬る。『正論』連載をまとめて単行本化。

2017:9./ 228p

978-4-88656-438-2

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/01/07



牧野富太郎〜植物博士の人生図鑑〜(コロナ・ブックス 211)

コロナ・ブックス編集部 編

平凡社

どうかみなさんも、植物に親しんでください。そして少しでも多くの知識を身につけてください。草木を無類の友とし、愛人とし、命とした「日本植物分類学の父」牧野富太郎の94年の生涯を豊かな言葉とスケッチ・写真で綴る。

2017:11./ 127p

978-4-582-63510-2

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/01/07



U

皆川 博子 著

文藝春秋

オスマン帝国の捕虜となり、不老の体を手に入れた3人の美少年。300年後、ドイツ軍 U ボートの乗組員となった彼らを待ち受けるものは…。数奇な運命に翻弄される若者たちの物語。『オール讀物』掲載を単行本化。

2017:11./ 417p

978-4-16-390759-8

本体 ¥2,200+税



産経新聞 2018/01/07

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2018年2月時点での税抜価格です。



軍事のリアル(新潮新書 742)

富澤 暉 著
新潮社

今こそ自衛隊を「軍隊」と位置づけ、過剰な期待もアレルギーも排し、何ができるのかを冷静に見極めよ。元陸上幕僚長が、自衛隊の現場の視点から語ったリアルな軍事論。ウェブマガジン『フォーサイト』連載を抜粋・書籍化。

2017:11./ 223p
978-4-10-610742-9
本体 ¥760+税



産経新聞 2018/01/07



お殿様、外交官になる～明治政府のサプライズ人事～(祥伝社新書 522)

熊田 忠雄 著
祥伝社

明治政府が欧米諸国へ派遣した初期の外交官のうち、旧大名をはじめ旧公家、旧幕臣など「外部からの飛び入り組」7人を取り上げ、その人物像、抜擢された経緯、任地での活動、外交官としての資質や外交的成果などを検証する。

2017:12./ 262p
978-4-396-11522-7
本体 ¥840+税



産経新聞 2018/01/07



プランクトンのえほん<1> ミジンコ

ほるぷ出版

小学校の理科で必ず紹介されるけれど、どんな生きものなのか、教科書ではくわしくふれていない「プランクトン」。プランクトンの仲間、ミジンコをとりあげ、そのふしぎな暮らしに迫ります。

2017:11./ 24p
978-4-593-58762-9
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/01/07



不可思議国の探求者・木下杢太郎～観潮楼歌会の仲間たち～(星雲叢書 第44篇)

丸井 重孝 著
短歌研究社

詩人、画家、医学者などたくさんの顔をもつ木下杢太郎。生い立ちから海外生活、最晩年まで、疾風怒濤の時代を生きた杢太郎の全貌に迫る。生家である太田家の系譜、木下杢太郎略年譜も掲載。『星雲』連載に加徐修正し単行本化。

2017:10./ 345p
978-4-86272-560-8
本体 ¥2,700+税



産経新聞 2018/01/07



習近平の悲劇

矢板 明夫 著
産経新聞出版

習近平が中国の最高指導者であることは、日本や世界にとっても、中国や彼自身にとっても、悲劇でしかない。中国当局が恐れる現役記者が、弾圧と外洋拡張しか打つ手がなく、無能なトップの正体をあぶり出す。

2017:12./ 253p
978-4-8191-1327-4
本体 ¥1,300+税



産経新聞 2018/01/07



次の震災について本当のことを話してみよう。

福和 伸夫 著
時事通信出版局

国民の半数が被災者になる可能性がある南海トラフ大地震。それは、必ず来る。都会の地盤やビルの危険性、次の大震災の光景を示し、防災対策も紹介。「敵=大震災」をしっかり捉えて、今できることをすぐに始めるための指南書。

2017:11./ 278p
978-4-7887-1536-3
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/01/07、読売新聞 2018/01/21



無敵の二人

中村 航 著
文藝春秋

夢はここから、チャンピオンを出すこと。ボクシング元日本ライトフライ級王者・島山と、北海道で彼を育てた女性トレーナー・赤坂ひかるの愛と拳闘! 奇跡の実話を小説化。『別冊文藝春秋』連載を改題し単行本化。

2017:8./ 357p
978-4-16-390713-0
本体 ¥1,750+税



産経新聞 2018/01/13



目覚めよ日本 憲法改正 今こそ実現を

田久保 忠衛 著
明成社

トランプ・ショック、中国の尖閣海域への侵犯…。混迷続く世界に、日本はどう向き合えばよいのか? 日本会議会長がいま全国民に訴える。『日本の息吹』掲載の対談などを中心に、関連インタビュー記事を追加して単行本化。

2017:12./ 220p
978-4-905410-47-8
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/01/13



兼好法師～徒然草に記されなかった真実～(中公新書 2463)

小川 剛生 著
中央公論新社

現在広く知られる吉田兼好の出自や経歴は、没後に捏造されたものである。同時代史料をつぶさに調べて兼好の足跡を辿り、「徒然草」の再解釈を試みる。自らの才知で中世社会を渡り歩いた「都市の隠者」の正体を明らかにする。

2017:11./ 4p,244p
978-4-12-102463-3
本体 ¥820+税



産経新聞 2018/01/14



意識のリボン

綿矢 りさ 著
集英社

交通事故で意識が身体から抜け出してしまった 20 代の娘、通り魔が出没するという不穏な噂を耳にした主婦…。様々な女たちの視線から世界を描く。『すばる』、『文学界』等掲載を単行本化。

2017:12./ 187p
978-4-08-771128-8
本体 ¥1,300+税



産経新聞 2018/01/14



おなじそらのしたで

ブリッタ・テッケントラップ 著
ひさかたチャイルド

ぼくたちはみんな同じ空の下で生きている。ここでも、とおくでも。誰もが同じ空の下で生きていること、命が息づいていることに気付かせてくれる、全ページと表紙に型抜きしかけのある美しい絵本。

2017:12./ 25p
978-4-86549-122-7
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/01/14



仕事場訪問(四月と十月文庫 8)

牧野 伊三夫 著
港の人

木村希八の画廊歩き、葛西薫のデザインと芸術、鈴木安一郎と富士山…。画家・牧野伊三夫が、学生時代の先生や友人、画廊で出会った作家などを訪ねた記録。『画家のノート 四月と十月』連載に加筆し書籍化。

2017:10./ 213p
978-4-89629-338-8
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/01/14



NHK スペシャル人体<第 1 巻> 神秘の巨大ネットワーク/“腎臓”が寿命を決める

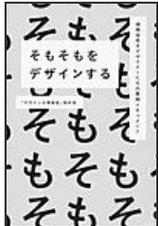
NHK スペシャル「人体」取材班 編
東京書籍

人体の真の姿は、巨大なネットワークだ。新たな医学の潮流の全貌を紹介するNHK スペシャルの大型シリーズ「人体」を書籍化。1 は、シリーズ全体の流れを総括するほか、腎臓について取り上げる。

2017:12./ 162p
978-4-487-81095-6
本体 ¥2,700+税



産経新聞 2018/01/14



そもそもをデザインする～博報堂若手デザイナーたちの奮闘ドキュメント～

「デザインの博報堂」取材班 著
コスモの本

箸置きを復活させよ、昆虫食で世界を救え、からあげの地位を上げよ…。この難題を、1 人で、デザインで解決せよ。「そもそも発想」を武器に難問解決に挑んだ、博報堂若手デザイナー5 人、500 日の記録。

2017:12./ 159p
978-4-86485-035-3
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/01/14



たべたいの(新潮新書 741)

壇 蜜 著
新潮社

ラブホテルでピザを頼むなら、SML のどれが正解なのか。トッピングの生ハムは、オープンに入れられてもまだ「生」なのか。男はざわつき女は頷く、謎めく才女の食エッセイ。『週刊新潮』連載を書籍化。

2017:11./ 189p
978-4-10-610741-2
本体 ¥720+税



産経新聞 2018/01/14、読売新聞 2018/01/14



藤沢周平遺された手帳

遠藤 展子 著
文藝春秋

娘の誕生、伴侶の死…。そこからいかに「藤沢周平」となったのか。没後 20 年、遺された手帳から、直木賞作家となるまでの苦闘の足跡を愛娘が読み解く。

2017:11./ 246p
978-4-16-390761-1
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/01/14、読売新聞 2018/01/28



小泉放談(宝島社文庫 C-19-1)

小泉 今日子 著
宝島社

小泉今日子が齢五十の節目に感じること、思うことは？ 残りの人生を力まず弛まず、自由におもしろく生きることについて、25 名のゲストたちと本音で語り合う。『GLOW』掲載を書籍化。書き下ろしエッセイ付き。

2017:12./ 373p
978-4-8002-7669-8
本体 ¥780+税



産経新聞 2018/01/20



えでみるあいうえおさくぶん

ニシワキ タダシ 著
あかね書房

「<ち>かづいてくる、<<>まに、<わ>たされた、<ちくわ>」など、クスツと笑える文と、行の最初の<字>をつなげて読むとあらわれる言葉の組み合わせが楽しい「あいうえお作文」の絵本。

2017:11./ 32p
978-4-251-09905-1
本体 ¥1,300+税



産経新聞 2018/01/21



夢を実現するパラレルキャリア～beyond2020 の働き方改革～

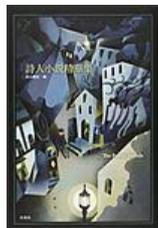
一木 広治 著
主婦の友社

3 つ以上の肩書きでセルフプロデュースしていくことが、「志」を実現する第一歩。本業を持ちながら別のキャリアを築く「パラレルキャリア」を提案。スキルを磨くポイントや人生を変えるためのステップなどを紹介する。

2017:11./ 224p
978-4-07-427000-2
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/01/21



詩人小説精華集

長山 靖生 編
彩流社

北原白秋、萩原朔太郎、中原中也、立原道造、高村光太郎…。20 世紀前半に活躍した詩人たちが書いた小説・空想的散文のアンソロジー。これまであまり知られていなかった詩人の小説を現代仮名遣いで収録する。

2017:11./ 325p
978-4-7791-2408-2
本体 ¥2,400+税



産経新聞 2018/01/21



画家正子・R・サマーズの生涯～沖縄からアメリカ 自由を求めて!～

正子・R.サマーズ、原 義和 編
正子・R.サマーズ、宮城 晴美 著
高文研

4 歳の頃、那覇市にあった遊廓に売られた正子・R・サマーズは、沖縄戦に巻き込まれて米軍に保護されたのち、米軍人と結婚。渡米後、画家となった…。本人が英語で書いた手記を日本語訳し、インタビューなどととも収録する。

2017:9./ 207p
978-4-87498-634-9
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/01/21



知立国家イスラエル(文春新書 1143)

米山 伸郎 著
文藝春秋

ノーベル賞受賞者数、研究開発費、博士号保有者数…。人口比で世界一の知的レベルの高さを誇るイスラエル。驚異のハイテクベンチャー、軍の超エリート教育など、イスラエルの「知的執着」の源泉に迫る。

2017:10./ 239p
978-4-16-661143-0
本体 ¥860+税



産経新聞 2018/01/21



虹の向こう

池田 久輝 著
双葉社

ひと筋縄ではいかない人間関係を描いた「虹」、高校球児が見た仲間の本当の顔「空」など、高い文章力と構成力でラストまで一気に読ませる作品全 4 編を収録した短編集。『小説推理』ほか掲載を単行本化。

2017:11./ 213p
978-4-575-24067-2
本体 ¥1,300+税



産経新聞 2018/01/21



小池百合子氏は流行神だったのか～これでよいのか、現状の日本～(勉誠選書)

加瀬 英明 著
勉誠出版

トランプ大統領のアメリカ、変わらない日韓関係、豊田真由子議員の罵詈雑言…。外交評論家の加瀬英明が、アメリカ、中国、南北朝鮮の正体を暴き、日本の現状にモノ申す! 「父のラブレター」等の随筆も収録。

2017:11./ 199p
978-4-585-23401-2
本体 ¥1,000+税



産経新聞 2018/01/21



わたしの名前は「本」

ジョン・アガード、ニール・パッカー、金原 瑞人 著
フィルムアート社

伝えること、読むこと、書くこと、広めること、残すこと。「本」が教えてくれる、「本」の物語。文字の発明から電子書籍まで、気の遠くなりそうな本の歴史を、イラストと様々な本からの引用を交えてコンパクトにまとめる。

2017:11./ 143p
978-4-8459-1624-5
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/01/21



ネルソンせんせいがきえちゃった!

朔北社

お行儀の悪い2年1組の生徒たちは、ネルソン先生のいうことをちっとも聞きません。ある日、ネルソン先生の代わりに、スワンプ先生がやってきました。魔女みたいに恐ろしい先生は、生徒たちに有無を言わず勉強させて...

2017:12./ 32p
978-4-86085-127-9
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/01/21



いのち

瀬戸内 寂聴 著
講談社

ガンと心臓の病に襲われ、痛切な老いに直面した私。脳裏に蘇るのは、70年近い作家人生で出会った男たちと、筆を競った友の死に様だった。小説への愛と修羅を生きた女の鮮烈な<いのち>を描く。『群像』掲載を単行本化。

2017:12./ 253p
978-4-06-220878-9
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/01/21、朝日新聞 2018/01/28



老人の取扱説明書(SB新書 403)

平松 類 著
SBクリエイティブ

高齢者の困った行動は、ほとんどが認知症や頑固な性格よりも、老化による体の変化が原因だった。老化による体の変化=老化の正体と、周囲と高齢者本人がすべき解決策を、医学的背景に沿って具体的に解説する。

2017:9./ 223p
978-4-7973-9244-9
本体 ¥800+税



産経新聞 2018/01/27



ウイスキーアンドシネマ<2> 心も酔わせる名優たち

武部 好伸 著
淡交社

グラスを傾ける俳優の仕草、ウイスキーに秘められたエピソード、ボトルの形...。ウイスキーが多彩な“表情”を見せる映画48作について綴る。『Whisky World』連載を加筆・修正し、書き下ろしを加えて単行本化。

2017:11./ 220p
978-4-473-04205-7
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/01/28



井上円了~その哲学・思想~

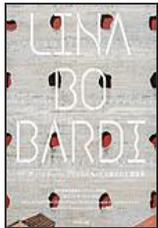
竹村 牧男 著
春秋社

東洋大学創立者、妖怪博士、近代仏教復興の立役者...。獅子奮迅の活躍を見せた明治時代の<知と行動の巨人>、井上円了。業績を支えた独自の世界観・人生観を原典に基づきながら解明し、その思想に迫る。

2017:10./ 9p,271p
978-4-393-13598-3
本体 ¥2,600+税



産経新聞 2018/01/28



リナ・ボ・バルディ〜ブラジルにもっとも愛された建築家〜

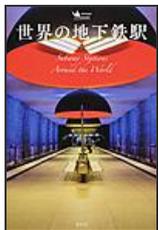
リナ・ボ・バルディ、和多利 恵津子、リナ・ボ・バルディ財団 著
TOTO出版

ブラジル建築の近代化、民主化を進めた女性建築家リナ・ボ・バルディ。ダイナミックな写真と貴重な図面等の資料で作品を紹介するとともに、家具デザインやキュレーションなど幅広いクリエイションの全容も解説する。

2017:11./ 287p
978-4-88706-369-3
本体 ¥4,300+税



産経新聞 2018/01/28



世界の地下鉄駅(nomad books)

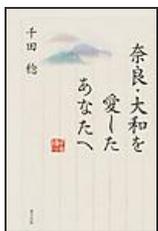
アフロ、水野 久美 著
青幻舎

美術館と見まごう、斬新にして華麗なるアーティスティックな地下空間。「世界の地下鉄駅」を数多く取り上げ、アート作品、建築物としての地下鉄駅の魅力を解説。地下鉄駅へのアクセス、観光のポイントなどのプチガイドも掲載。

2017:11./ 157p
978-4-86152-652-7
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/01/28



奈良・大和を愛したあなたへ

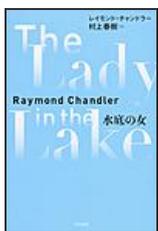
千田 稔 著
東方出版

岡倉天心、正岡子規、夏目漱石、吉田東伍、E・ベルツ…。奈良にゆかりの多彩な人たちの足跡に思いを寄せ、大和への愛惜を綴る。『喜楽』に連載した書簡風の文を一部補訂して単行本化。

2017:12./ 162p
978-4-86249-296-8
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/01/28



水底の女

レイモンド・チャンドラー、村上 春樹 著
早川書房

香水会社の社長から行方知れずの妻の安否確認を依頼された私立探偵マーロウ。妻が滞在していた湖畔の町を訪れるが、そこで別の女性の死体が見つかり…。「私立探偵フィリップ・マーロウ」シリーズの新訳。シリーズ完結。

2017:12./ 397p
978-4-15-209728-6
本体 ¥2,300+税



産経新聞 2018/01/28



1分間で経済学〜経済に強い自分になる200のキーワード〜

ニール・キンティニー、望月 衛 著
ダイヤモンド社

言葉を知れば経済はもっと見えてくる! 需要と供給、効用、金利、GDP、為替レート…。経済に強くなるために知っておくべき200のキーワードを、見開き1ページの図解でビジュアルに紹介する。

2017:12./ 439p
978-4-478-06687-4
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/01/28



オリエント急行の殺人(ハヤカワ文庫)

アガサ・クリスティー 著
早川書房

朝日新聞 2018/01/07

2003:10./ 429p
978-4-15-130008-0
本体 ¥820+税





医心方<巻 1A> 医学概論篇

丹波 康頼、榎 佐知子 著
筑摩書房

世界的文化財・国宝「医心方」安政版を底本とし、現存する引用文献と照合し全訳精解したシリーズ。巻 1A は、巫を信じて医師を信じないのを不治の条件に挙げる紀元前の名医扁鵲の説や、仏典の医療、診察上の諸注意などを説く。

2011:11./ 22p,422p
978-4-480-50511-8
本体 ¥30,000+税



朝日新聞 2018/01/07



桐島、部活やめるってよ(集英社文庫 あ 69-1)

朝井 リョウ 著
集英社

バレー部のキャプテン桐島が、突然部活をやめた。それがきっかけで、同じ高校に通う 5 人の生活に、小さな波紋が広がり…。野球部、バレー部、映画部といった部活をキーワードに、至るところでリンクする 5 人の物語。

2012:4./ 245p
978-4-08-746817-5
本体 ¥480+税



朝日新聞 2018/01/07



何者(新潮文庫 あ-78-1)

朝井 リョウ 著
新潮社

就活の情報交換をきっかけに集まった拓人たち。自分を生き抜くためにほんとうに必要なことは何なのか。この世界を組み変える力はどこから生まれ来るのか。就活大学生の自意識をあぶり出す、リアルで切実な長編小説。

2015:7./ 346p
978-4-10-126931-3
本体 ¥590+税



朝日新聞 2018/01/07



石川九楊著作集<別巻 3> 遠望の地平

石川 九楊 著
ミネルヴァ書房

世界思想を遠望する視座から日本近代の文化と学問の淵源を問いなおす、書家、評論家である石川九楊の著作集。別巻 3 は、1996?2016 年に発表した評論・エッセイ等の中から単行本未収録の作品と、書評・追悼文を収録。

2017:12./ 10p,843p
978-4-623-07758-8
本体 ¥9,000+税



朝日新聞 2018/01/07



重力波は歌う～アインシュタイン最後の宿題に挑んだ科学者たち～(ハヤカワ文庫 NF 509)

ジャンナ・レヴィン、田沢 恭子、松井 信彦 著
早川書房

重力波の直接観測に初めて成功するという偉業の陰には、天才の試行錯誤があり、人と人の確執があり、ビッグサイエンスならではの政治的駆け引きがあった。重力波を追い求めた人々が織りなす人間ドラマの全貌を明かす。

2017:9./ 334p
978-4-15-050509-7
本体 ¥780+税



朝日新聞 2018/01/07



こわいもの知らずの病理学講義

仲野 徹 著
晶文社

大阪大学医学部で教鞭をとる著者が、学生相手に行っている「病理学総論」の内容を、「近所のおっちゃん・おばちゃん」に読ませるつもりで書き下ろした病理学講義。雑談を交えながら、病気のしくみを笑いとともに解説する。

2017:9./ 373p
978-4-7949-6972-9
本体 ¥1,850+税



朝日新聞 2018/01/07



人生を切り開く!西郷隆盛の言葉 100

高橋 伸幸 著
扶桑社

出会ったものが皆、惚れ込んだ男、西郷隆盛。政治と政治家のあり方を語った言葉、苦難と逆境にある時の言葉、成功と勝利をつかみ取る言葉などから、激動の生涯と実像に迫る。リーダーの心構えと行動の原則、珠玉の漢詩も収録。

2017:9./ 303p
978-4-594-07831-7
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/01/07



お話はよく伺っております(文春文庫 16-7)

能町 みね子 著
文藝春秋

電車の中、井戸端会議、喫茶店やファストフード店...どこか誰だか知らないけれど、偶然に街角で出会った目が離せない人々のトークを勝手にレポート(つまり盗み聞き)した人間観察エッセイ。未掲載エッセイ 15 本も新規収録。

2017:11./ 280p
978-4-16-790968-0
本体 ¥730+税



朝日新聞 2018/01/07



西郷内閣~明治新政府を築いた男たちの七〇〇日~(双葉文庫 は-30-02)

早瀬 利之 著
双葉社

軍人にして詩人、政治家である西郷隆盛。近代日本の礎を築いた西郷と同内閣を支え活躍した男たちの「2 年間」を、時系列でドラマ的に描いたノンフィクションノベルズ。

2017:10./ 357p
978-4-575-52041-5
本体 ¥657+税



朝日新聞 2018/01/07



ルネサンス再入門~複数形の文化~(平凡社新書 859)

澤井 繁男 著
平凡社

ルネサンスは近代のはじまり? 中世の稔り? それともたんなる過渡期? ささまざまな文化要素が未決のまま共存する独自の時代として、ルネサンスを見直す複数史観の試み。

2017:11./ 263p
978-4-582-85859-4
本体 ¥860+税



朝日新聞 2018/01/07



学校では教えてくれない差別と排除の話

安田 浩一 著
皓星社

自分がされてイヤなことは、他人にしない。こんな簡単なことが、なぜできないのでしょうか。著者が自身の「いじめ」の経験や排除される外国人労働者、差別される沖縄などについて語り、差別や排除との向き合い方を考えます。

2017:10./ 221p
978-4-7744-0641-1
本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2018/01/07



ヘンテコノミクス~行動経済学まんが~

佐藤 雅彦、菅 俊一、高橋 秀明 著
マガジンハウス

報酬が動機を阻害する「アンダーマイニング効果」、枠組みを変えると価値が変わる「フレーミング効果」など、人間の経済行動の真実とその理論を、まんがでわかりやすく解説する。『BRUTUS』連載に加筆修正。

2017:11./ 159p
978-4-8387-2972-2
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/01/07



ヤモリ、カエル、シジミチョウ(朝日文庫 え 10-2)

江國 香織 著
朝日新聞出版

小さな動物や虫と話をする幼稚園児の拓人は、壊れそうな家族の中、ゆっくりと成長する。穏やかではられない大人たちの日常と、小さな子どもが世界を感受する一瞬を描く長篇小説。

朝日新聞 2018/01/07

2017:11./ 469p
978-4-02-264864-8
本体 ¥760+税



我らコンタクティ(アフタヌーン KC)

森田 るい 著
講談社

冴えない会社員をしているカナエは、小学校時代の同級生中平かずきと再会する。彼はなぜか一人でロケット開発をしていた。かずきの驚くべき目的を知り、カナエは思わず脱力!だけど、二人は一緒にロケット開発をすることに!

朝日新聞 2018/01/07

2017:11./ 253p
978-4-06-388297-1
本体 ¥650+税



人魚の石

田辺 青蛙 著
徳間書店

池で見つけた、真っ白な自称人魚の男「うお太郎」。人魚にも見えず、人間とも思えない不思議なその生物と、おんぼろ寺で同居することになった私はいつしか...。奇想小説の雄による長篇。

朝日新聞 2018/01/07

2017:11./ 298p
978-4-19-864508-3
本体 ¥1,700+税



バー「サンボア」の百年～SAMBOA BAR Established 1918～

新谷 尚人 著
白水社

本物のバーには物語がある-。2018年、創業100周年を迎える洋酒バー「サンボア」。大阪、京都、東京に14軒を構える由緒ある酒場の知られざる歴史を辿る。

朝日新聞 2018/01/07

2017:12./ 233p,7p
978-4-560-09589-8
本体 ¥2,000+税



ブツダたちの仏教(ちくま新書 1296)

並川 孝儀 著
筑摩書房

仏教は二千年以上かけて多様に変化した複雑な宗教である。仏教の歴史をブツダたち「仏」と、それに基づく「教え」という二つの極をもつ運動としてとらえるダイナミックな論考。

朝日新聞 2018/01/07

2017:12./ 205p
978-4-480-07105-7
本体 ¥760+税



私がアルビノについて調べ考えて書いた本～当事者から始める社会学～

矢吹 康夫 著
生活書院

アルビノ当事者である社会学者が、遺伝学、弱視教育、オタク文化等の歴史を再構成。語りがたさにもアプローチした13人のアルビノ当事者のライフストーリーの検討を通して、誰にとっても抑圧的ではないあり方を探索する。

朝日新聞 2018/01/07

2017:11./ 424p,18p
978-4-86500-073-3
本体 ¥2,700+税





ブラック職場～過ちはなぜ繰り返されるのか?～(光文社新書 913)

笹山 尚人 著
光文社

社会に大きな課題を突きつけた電通女子社員の過労死事件。なぜ、ブラックな職場はなくなるのか。労働弁護士が、豊富な事例からブラック職場の問題に横たわる背景を検討しつつ、ホワイトな社会の実現に向けた具体策を示す。

2017:11./ 241p
978-4-334-04319-3
本体 ¥780+税



朝日新聞 2018/01/07



英子の森(河出文庫 ま 16-2)

松田 青子 著
河出書房新社

英語は魔法。英語は扉。じゃあなんで今のわたしはこんなところにいるんだろう。「スタッキング可能」で話題の松田青子が贈る第2作品集。表題作ほか「おにいさんがこわい」「わたしはお医者さま?」など全6編を収録。

2017:12./ 182p
978-4-309-41581-9
本体 ¥620+税



朝日新聞 2018/01/07



火定

澤田 瞳子 著
PHP研究所

時は天平。藤原四兄弟をはじめ寧楽の人々を死に至らしめた天然痘の蔓延を食い止めようとする医師たちと、偽りの神を祀り上げて混乱に乗じる者たち。生と死の狭間で繰り広げられる壮大な人間絵巻。『文蔵』連載を基に書籍化。

2017:11./ 414p
978-4-569-83658-4
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/01/07



ユージン・スミス写真集

W.ユージン・スミス 著
クレヴィス

生きている動き、生きている世界、その面白さ、その悲劇を追求して。太平洋戦争、カントリー・ドクター、季節農場労働、水俣…。被写体のそれぞれの眼差し、あるがままの人生をとらえた、写真家、ユージン・スミスの写真集。

2017:11./ 206p
978-4-904845-95-0
本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/01/07



西郷隆盛はなぜ犬を連れているのか～西郷どん愛犬史～

仁科 邦男 著
草思社

日本史上最大の愛犬家、西郷隆盛。幕末京都では芸者には目もくれず、犬と鰻飯。維新後は政局から離れ、犬を引き連れて狩り、温泉ざんまい。そして、西南戦争には犬連れ出陣…。謎多き男の胸の内を、犬関連史料から探る。

2017:12./ 287p
978-4-7942-2312-8
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/01/07



ジャズの肖像ポートレイトチャーズ

阿部 克自、行方 均 著
シンコーミュージック

写真家、グラフィック・デザイナー、プロデューサーとしてジャズ・シーンに多大なる貢献を果たした阿部克自の写真集。ミュージシャンが心を許した者のみに見せる素顔の魅力を捉えた貴重な写真を多数掲載。

2017:12./ 157p
978-4-401-62285-6
本体 ¥3,704+税



朝日新聞 2018/01/07



ふたりっ子バンザイ〜石亀泰郎写真集〜

石亀 泰郎 著
夏葉社

西部劇ごっこ、おふとんの上ででんぐりかえり、ふたりでおそうじ…。成長していく兄弟のようすを写した、愛情あふれる小さな写真集。子どもたちを撮り続けた写真家・石亀泰郎のデビュー作を約 50 年ぶりに復刊。

朝日新聞 2018/01/07

2017:12./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-904816-26-4

本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 9 0 4 8 1 6 2 6 4 *



敗北を抱きしめて〜第二次大戦後の日本人〜<上> 増補版

ジョン・ダワー、三浦 陽一、高杉 忠明 著
岩波書店

敗戦の惨状の中を歩み始めた民衆は、「平和と民主主義」への願いを抱きしめて、上からの革命に力強く呼応した。奇蹟的な「敗北の物語」を描いた二十世紀の叙事詩。ピューリッツァー賞受賞作品。2001年刊の増補版。

朝日新聞 2018/01/07、読売新聞 2018/01/14

2003:11./ 29,379p
978-4-00-024420-6

本体 ¥2,700+税



* 9 7 8 4 0 0 0 2 4 4 2 0 6 *



敗北を抱きしめて〜第二次大戦後の日本人〜<下> 増補版

ジョン・ダワー、三浦 陽一、高杉 忠明、田代 泰子 著
岩波書店

天皇制を抱擁し、憲法を骨抜きにし、戦後改革の巻き戻しに道をつけて、占領軍は去った。日米合作の「戦後」がここに始まる。ピューリッツァー賞受賞作。大量の図版を追加した、2001年刊の増補版。

朝日新聞 2018/01/07、読売新聞 2018/01/14

2003:11./ 9,455,9p
978-4-00-024421-3

本体 ¥2,700+税



* 9 7 8 4 0 0 0 2 4 4 2 1 3 *



アメリカ暴力の世紀〜第二次大戦以降の戦争とテロ〜

ジョン・W.ダワー、田中 利幸 著
岩波書店

第二次大戦および冷戦の覇者アメリカは、どのような経緯で現在の世界の、そして自国の混沌を生み出してしまったのか。軍事をめぐる歴史とテロなどの不安定の連鎖拡大の現状について、簡潔にかつ深く洞察する。

朝日新聞 2018/01/07、読売新聞 2018/01/14

2017:11./ 27p,186p
978-4-00-022099-6

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 0 0 0 2 2 0 9 9 6 *



「新しき村」の百年〜<愚者の園>の真実〜(新潮新書 743)

前田 速夫 著
新潮社

戦争や暴動など国内外が騒然とする時代、武者小路実篤を中心に「人類共生」の夢を掲げて創設された農村共同体「新しき村」。世界的にも類例のないユートピア実践の軌跡をたどり、その現代的意義を問い直す。

朝日新聞 2018/01/07、日本経済新聞 2018/01/13、毎日新聞 2018/01/14

2017:11./ 223p
978-4-10-610743-6

本体 ¥760+税



* 9 7 8 4 1 0 6 1 0 7 4 3 6 *



新しい小説のために

佐々木 敦 著
講談社

新しい「私」は、どこから来たのか？ 新時代の小説家たちが切り開いてきた現代文学の新たな地平の持つ意味を、小林秀雄以来の文芸理論を徹底的に検証しつつ探る。「役割を終えた」近代文学を更新する、新しい小説論。

朝日新聞 2018/01/07、日本経済新聞 2018/01/27

2017:10./ 525p
978-4-06-220805-5

本体 ¥2,700+税



* 9 7 8 4 0 6 2 2 0 8 0 5 5 *



福沢諭吉の真実(文春新書)

平山 洋 著
文芸春秋
朝日新聞 2018/01/14

2004:8./ 244p
978-4-16-660394-7
本体 ¥720+税



肉体の悪魔(光文社古典新訳文庫)

ラディゲ 著
光文社
朝日新聞 2018/01/14

2008:1./ 230p
978-4-334-75148-7
本体 ¥560+税



西洋事情

福沢 諭吉、マリオン・ソシエ、西川 俊作 著
慶應義塾大学出版会

幕末・維新期の日本人に多大な影響を与え、日本の近代化を促進した西洋文明の入門書を、新字・新かなを使用した読みやすい表記、わかりやすい「語注」「解説」により編集。日本の近代化に必要な情報と知識を体系的に紹介する。

2009:6./ 356p,17p
978-4-7664-1622-0
本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2018/01/14



西洋中世奇譚集成 聖パトリックの煉獄(講談社学術文庫)

マルクス、ヘンリクス 著
講談社
朝日新聞 2018/01/14

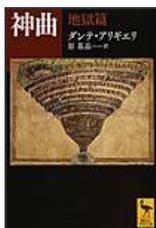
2010:5./ 238p
978-4-06-291994-4
本体 ¥840+税



きりぎりす 改版(新潮文庫)

太宰 治 著
新潮社
朝日新聞 2018/01/14

2008:11./ 366p
978-4-10-100613-0
本体 ¥550+税



神曲<地獄篇>(講談社学術文庫 2242)

ダンテ・アリギエリ、原 基晶 著
講談社

古代詩人ウェルギリウスに導かれて巡る地獄。そこでダンテは、生前に悪をなし責め苛まれている教皇、聖職者、政敵たちを発見する。「神曲」を原典に忠実かつ読みやすい新訳で収録。最新の研究の成果に基づく丁寧な解説も付す。

2014:6./ 633p
978-4-06-292242-5
本体 ¥1,550+税



朝日新聞 2018/01/14



神曲<煉獄篇>(講談社学術文庫 2243)

ダンテ・アリギエリ、原 基晶 著
講談社

地獄を離れ到達したのは地上での七つの大罪を贖う場=煉獄だった。ダンテはここで身を浄め、自らを高めていく。知の麗人ベアトリーチェを案内人にして、ダンテは天国へと昇る…。中世ヨーロッパ最高の叙事詩「神曲」の新訳。

2014:7./ 644p
978-4-06-292243-2
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/01/14



神曲<天国篇>(講談社学術文庫 2244)

ダンテ・アリギエリ 著

講談社

神の力が横溢する十天からなる天国で、聖ベルナルの案内によりダンテはついに神と出会う。神との合一を果たし、三位一体の神秘を直観して、三界をめぐる旅は大団円を迎える…。中世ヨーロッパ最高の叙事詩「神曲」の新訳。

朝日新聞 2018/01/14

2014:8./ 660p

978-4-06-292244-9

本体 ¥1,600+税



ルンタ

山下 澄人 著

講談社

人間の暮らしにうんざりしたわたしは家を出て、ユという女との記憶と死んだはずの友人の中西を道連れに山へ向かう。表題作など全 2 編を収録。『群像』掲載を単行本化。

朝日新聞 2018/01/14

2014:10./ 232p

978-4-06-219191-3

本体 ¥1,600+税



山怪～山人が語る不思議な話～

田中 康弘 著

山と溪谷社

日本の山には何かがいる。その何かは古今東西さまざまな形で現れ、老若男女を脅かす。狐火があふれる地、マタギの臨死体験、山塊に蠢くもの…。山で働き暮らす人々が実際に遭遇した奇妙な体験を紹介する。現代版遠野物語。

朝日新聞 2018/01/14

2015:6./ 252p

978-4-635-32004-7

本体 ¥1,200+税



犬心(文春文庫 い99-1)

伊藤 比呂美 著

文藝春秋

14 年をともに過ごした愛犬、タケ。最後の数年、その一挙手一投足に、死は、生は、と考えた。浮かび上がってくるのは、カリフォルニアから熊本へと遠距離介護を続けた父の姿だった…。タケとの最後の 2 年間を綴る。

朝日新聞 2018/01/14

2016:2./ 251p

978-4-16-790556-9

本体 ¥620+税



少年アシベ<1> ゴマちゃんが家に来た日(ACTION COMICS)

森下 裕美 著

双葉社

朝日新聞 2018/01/14

2016:4./ 126p

978-4-575-84780-2

本体 ¥550+税



応仁の乱～戦国時代を生んだ大乱～(中公新書 2401)

呉座 勇一 著

中央公論新社

室町後期、諸大名が東西両軍に分かれ、京都市街を主戦場として戦った応仁の乱。なぜ勃発し、どう終結に至ったか。長期化した理由とは。高い知名度とは対照的に、実態は十分知られていない日本史上屈指の大乱を読み解く。

朝日新聞 2018/01/14

2016:10./ 8p,302p

978-4-12-102401-5

本体 ¥900+税





スポーツビジネス最強の教科書 第2版

平田 竹男 著
東洋経済新報社

第一人者である著者が、豊富な実例とともにスポーツビジネスのエッセンスを体系的な知識として提示。欧米のスポーツビジネス、日本のプロスポーツの経営、スポーツメディアとスポーツマーケティングなどを取り上げる。

2017:10./ 19p,606p
978-4-492-52221-9
本体 ¥4,000+税



朝日新聞 2018/01/14



「福沢諭吉」とは誰か～先祖考から社説真偽判定まで～(MINERVA 歴史・文化ライブラリー 32)

平山 洋 著
ミネルヴァ書房

祖先、「西洋事情」の影響、署名著作刊行の経緯…。近代日本を代表する言論人・福沢諭吉の知られざる実像を、赤松小三郎「口上書」、山本覚馬「管見」といった関係資料の紹介とともに、徹底的に解明する。

2017:11./
15p,236p,22p
978-4-623-08069-4
本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2018/01/14



屍人荘の殺人

今村 昌弘 著
東京創元社

神紅大学ミステリ愛好会の葉村譲と明智恭介は、日くつきの映画研究部の夏合宿に加わるため、紫湛荘を訪ねた。その夜、想像しえない事態に遭遇し紫湛荘に立て籠もった彼らだが、翌日部員の1人が密室で死体となって発見され…。

2017:10./ 316p
978-4-488-02555-7
本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2018/01/14



デジタルエコノミーはいかにして道を誤るか～労働力余剰と人類の富～

ライアン・エイヴェント 著
東洋経済新報社

大部分が自動化され、高学歴でも仕事を奪い合う世界で、私たちは何をなすべきか？ 現場取材と最新のデータ、テクノロジーの大転換の歴史を踏まえ、21世紀の働き方、政治、富の分配について考察する。

2017:10./
11p,345p,17p
978-4-492-65480-4
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/01/14



大獄～西郷青嵐賦～

葉室 麟 著
文藝春秋

西郷隆盛は薩摩藩主の島津斉彬に仕え、天下のことに目覚め、一橋慶喜擁立のため暗躍するが…。時代小説の名手が、維新前夜の西郷隆盛を描く。『文藝春秋』連載を単行本化。

2017:11./ 325p
978-4-16-390749-9
本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2018/01/14



ルポ不法移民～アメリカ国境を越えた男たち～(岩波新書 新赤版 1686)

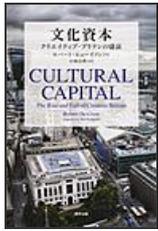
田中 研之輔 著
岩波書店

1130万もの不法移民が存在するアメリカ。彼らはどんな人間なのか？ 2年間、彼らとともに働いた著者が、母国への仕送りのため路上で仕事を探し、劣悪な環境でも遅く生きる不法移民の素顔を明らかにする。

2017:11./ 16p,188p,3p
978-4-00-431686-2
本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/01/14



文化資本～クリエイティブ・ブリテンの盛衰～

ロバート・ヒューイソン、小林 真理 著

美学出版

1997年、英国で「クリエイティブ・ブリテン」をスローガンに掲げた労働党が政権を執った。世界的に見て最も成功した政策の一つと評価される「クリエイティブ・ブリテン」がもたらした英国黄金時代の?末を記す。

朝日新聞 2018/01/14

2017:11./ 323p

978-4-902078-48-0

本体 ¥2,500+税



鬼踊れ!!<1>(芳文社コミックス)

篠原ウミハル 著

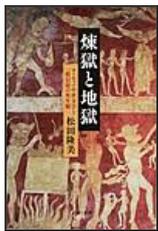
芳文社

朝日新聞 2018/01/14

2017:12./ 176p

978-4-8322-3587-8

本体 ¥590+税



煉獄と地獄～ヨーロッパ中世文学と一般信徒の死生観～

松田 隆美 著

ぶねうま舎

ヨーロッパ中世は、なぜ煉獄を必要としたのか。往生術、死後世界探訪譚、死の舞踏などの物語が一般大衆の死生観に与えた構造とは。多数の死後世界の絵図とともに、人々の心性に浸透して死生観の根となった要素を掘り起こす。

朝日新聞 2018/01/14

2017:10./ 269p,25p

978-4-906791-74-3

本体 ¥3,200+税



おらおらでひとりいぐも

若竹 千佐子 著

河出書房新社

「この先一人でどやって暮らす。こまったあどうすんべえ」捨てた故郷、疎遠な息子と娘、亡き夫への愛。震えるような悲しみの果てに、74歳の桃子さんが辿り着いた、圧倒的自由と賑やかな孤独とは。『文藝』掲載を単行本化。

朝日新聞 2018/01/14

2017:11./ 164p

978-4-309-02637-4

本体 ¥1,200+税



アンネの童話 新装版(文春文庫 フ1-5)

アンネ・フランク 著

文藝春秋

アンネが「日記」の他に隠れ家で書き遺した14編の童話と16編のエッセイを、中川李枝子の訳に酒井駒子の描きおろしの絵を加えて収録する。小川洋子の解説付き。

朝日新聞 2018/01/14

2017:12./ 222p

978-4-16-790991-8

本体 ¥710+税



脳の誕生～発生・発達・進化の謎を解く～(ちくま新書 1297)

大隅 典子 著

筑摩書房

四次元でダイナミックに生まれていく脳のドラマを解説する入門書。「発生」「発達」「進化」の3部構成で、30週、20年、10億年の各スケールに立ち、脳という小宇宙が形作られる壮大なメカニズムを追う。

朝日新聞 2018/01/14

2017:12./ 260p,3p

978-4-480-07101-9

本体 ¥860+税





のこった～もう、相撲ファンを引退しない～

星野 智幸 著
ころから

かつて相撲ファンを引退した作家・星野智幸が再び国技館を訪ねると、そこには「モンゴルへ帰れ」といったヘイト野次が公然と飛び交っていた。大相撲を取り巻く社会と未来を綴った相撲エッセイ。対談、未発表小説も収録。

2017:11./ 213p
978-4-907239-27-5
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/01/14



山怪実話大全～岳人奇談傑作選～

東 雅夫 編
山と溪谷社

夢枕獏、深田久彌、上田哲農らこよなく山を愛した作家たちが実話として綴った異界の「山」の物語を、斯界の雄・東雅夫が選りすぐったアンソロジー。『山と高原』読者の座談会も収録。「文豪山怪奇譚」の続編。

2017:11./ 235p
978-4-635-32011-5
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/01/14



南北朝～日本史上初の全国的大乱の幕開け～(朝日新書 644)

林屋 辰三郎 著
朝日新聞出版

裏切りあり、骨肉の争いありと、約半世紀にわたり繰り広げられた南北朝の争乱。かつてない大乱の全体像と、当時を生きた人物の息づかいまでもが、手に取るようにわかる「南北朝」入門書の決定版。

2017:12./ 227p
978-4-02-273744-1
本体 ¥760+税



朝日新聞 2018/01/14



下町ボブスレーの挑戦～ジャマイカ代表とかなえる夢～

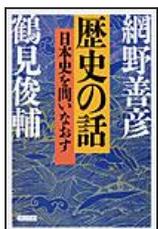
細貝 淳一、奥田 耕士 著
朝日新聞出版

大田区の町工場が独自開発した「下町ボブスレー」は、ソチ五輪直前に不採用通告を受けたが…。国産初ボブスレー製作プロジェクトの責任者と事務方が、プロジェクト復活の舞台裏を明かす。「下町ボブスレー」の続編。

2017:12./ 286p
978-4-02-331643-0
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/01/14



歴史の話～日本史を問いなおす～(朝日文庫 あ 64-2)

網野 善彦、鶴見 俊輔 著
朝日新聞出版

知識人が作り上げた日本史からこぼれ落ちた視点にこそ、見逃せないこの国の未来がある。「百姓」とは誰をさすのか。「天皇制」をどう読むか。歴史家と哲学者が、「日本」と「日本人」をめぐる縦横無尽に語り合う。

2018:1./ 207p
978-4-02-261919-8
本体 ¥620+税



朝日新聞 2018/01/14



大人のための言い換え力(NHK 出版新書 538)

石黒 圭 著
NHK出版

大人の日本語の悩みは、「言い換え力」で解決! メール・日常会話からビジネス文書まで、すぐ使える実践的なアイデアを多数紹介。一生モノの「言い換え」の技術・発想を身につける10の方法も伝授する。

2017:12./ 250p
978-4-14-088538-3
本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/01/14



天翔ける

葉室 麟 著

KADOKAWA

時は幕末。越前福井藩主・松平春嶽は、老中・阿部正弘や薩摩の島津斉彬ら外様雄藩と連携し、新しい幕府のあり方を模索してゆく。日本を守るため、激動の時代を駆け抜けた春嶽の生涯を描く。『小説野性時代』連載を単行本化。

2017:12./ 288p

978-4-04-105720-9

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/01/14、東京・中日新聞 2018/01/21



書店不屈宣言～わたしたちはへこたれない～ 増補(ちくま文庫 た53-2)

田口 久美子 著

筑摩書房

ネット書店におされ、電子書籍の推移に神経を張り詰めながらも、肉体労働を含めたリアル書店の仕事は続いていく…。副店長という立場で現場に立ち続ける著者による書店ドキュメント。

2017:12./ 292p

978-4-480-43484-5

本体 ¥780+税



朝日新聞 2018/01/14、読売新聞 2018/01/21



昭和天皇語録(講談社学術文庫)

黒田 勝弘、畑 好秀 著

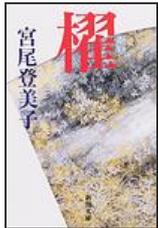
講談社

朝日新聞 2018/01/21

2004:1./ 365p

978-4-06-159631-3

本体 ¥1,150+税



権 改版(新潮文庫)

宮尾 登美子 著

新潮社

朝日新聞 2018/01/21

2005:11./ 598p

978-4-10-129308-0

本体 ¥840+税



エルサレム～記憶の戦場～(りぶらりあ選書)

アモス・エロン 著

法政大学出版局

常に戦いにあけられてきた都市に記憶がどんな作用を及ぼしたか。エルサレムの美、残酷、歴史、考古学、宗教、人々、果てしない魅力を詩情豊かに、描く。さらにこの都市が、長年にわたり我々の想像力を把持してきた様も描き出す。

1998:3./ 354p,51p

978-4-588-02192-3

本体 ¥4,200+税



朝日新聞 2018/01/21



レイモン・クノー・コレクション<7> 文体練習

レイモン・クノー 著

水声社

レイモン・クノーの幅広い知識と技巧をこらした多様な作品群を、全て新訳および改訳で紹介。7 は、何の変哲もないひとつのエピソードを 99 通りの文体で書く「文体練習」を収録。

2012:9./ 260p

978-4-89176-867-6

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/01/21



世界史の中のパレスチナ問題(講談社現代新書 2189)

臼杵 陽著
講談社

パレスチナ問題の根源はどこにあり、どのように展開し、現状はどうなっているのか。21世紀に入っても解決の糸口さえ見出せないこの難問を、世界史という長期的・広域的な時空間のなかで位置づけし直して考察する。

朝日新聞 2018/01/21

2013:1./ 423p
978-4-06-288189-0
本体 ¥1,200+税



エヴァンジェリカルズ～アメリカ外交を動かすキリスト教福音主義～(ヒストリカル・スタディーズ 11)

マーク・R.アムスタッツ、加藤 万里子 著
太田出版

なぜアメリカはイスラエルを支持し、核兵器を持ち続ける北朝鮮に人道支援を行うのか? 国内に推定1億人の信者を持つアメリカ最大の宗教勢力「福音派」の信仰と、外交において果たしてきた役割を解き明かす。

朝日新聞 2018/01/21

2014:11./ 329p,33p
978-4-7783-1413-2
本体 ¥2,700+税



アメリカのデモクラシー<第1巻上>(ワイド版岩波文庫 382)

トクヴィル 著
岩波書店

フランスの政治思想家トクヴィルが、アメリカ社会全般の透徹した分析を通して、広い視野で近代デモクラシーを論じた古典的名著。第1巻上は、北アメリカの地形、人民主権原理、連邦憲法などを取り上げる。

朝日新聞 2018/01/21

2015:1./ 364p
978-4-00-007382-0
本体 ¥1,400+税



アメリカのデモクラシー<第1巻下>(ワイド版岩波文庫 383)

トクヴィル 著
岩波書店

フランスの政治思想家トクヴィルが、アメリカ社会全般の透徹した分析を通して、広い視野で近代デモクラシーを論じた古典的名著。第1巻下は、合衆国の政党、合衆国で多数の暴政を和らげているものなどを取り上げる。

朝日新聞 2018/01/21

2015:2./ 480p
978-4-00-007383-7
本体 ¥1,700+税



アメリカのデモクラシー<第2巻上>(ワイド版岩波文庫 384)

トクヴィル 著
岩波書店

フランスの政治思想家トクヴィルが、アメリカ社会全般の透徹した分析を通して、広い視野で近代デモクラシーを論じた古典的名著。第2巻上は、デモクラシーが合衆国における知的運動、アメリカ人の感情に及ぼす影響を考察する。

朝日新聞 2018/01/21

2015:3./ 282p
978-4-00-007384-4
本体 ¥1,200+税



アメリカのデモクラシー<第2巻下>(ワイド版岩波文庫 385)

トクヴィル 著
岩波書店

フランスの政治思想家トクヴィルが、アメリカ社会全般の透徹した分析を通して、広い視野で近代デモクラシーを論じた古典的名著。第2巻下は、民主的國家にこそ生じる専制政府の脅威を予言、個人の自由の制度的保障を主張する。

朝日新聞 2018/01/21

2015:4./ 327p
978-4-00-007385-1
本体 ¥1,300+税





土の記<上>

高村 薫 著
新潮社

東京の大学を出て関西の大手メーカーに就職し、奈良県は大宇陀の旧家の婿養子となった伊佐夫。妻を交通事故で失い、古希を迎えた伊佐夫は、残された棚田で黙々と米をつくる…。『新潮』連載を加筆修正。

2016:11./ 248p
978-4-10-378409-8

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/01/21



土の記<下>

高村 薫 著
新潮社

雨の下でにわか農夫はじっと息を殺し、晴れば嬉々として田んぼへ飛び出す。男は土を耕し、鯰と遊ぶ。始まりも終わりもない、果てしない人間の物思いと、天と地と、生命のポリフォニー。『新潮』連載を加筆修正。

2016:11./ 251p

978-4-10-378410-4

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/01/21



引き裂かれた道路〜エルサレムの「神の道」で起きた本当のこと〜

ディーオン・ニッセンバウム、沢田 博 著
三省堂

中東エルサレムの「神の道」と呼ばれる通りには、イスラム教徒とユダヤ教徒が通りを挟んで住んでいる。「パレスチナ問題」を日々の現実として生きる無名の人々の姿を、実際にこの地に住んだアメリカ人ジャーナリストが描く。

2017:6./ 365p

978-4-385-36061-4

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2018/01/21



青空に飛ぶ

鴻上 尚史 著
講談社

人生に絶望し、死を望んだ少年が出会ったのは、太平洋戦争で9回特攻し、9回生きて帰ってきた特攻隊員だった…。非情な命令に負けず空を飛び続けた男と、教室で戦った孤独な少年の物語。『小説現代』連載に加筆し単行本化。

2017:8./ 281p

978-4-06-220709-6

本体 ¥1,550+税



朝日新聞 2018/01/21



満天のゴール

藤岡 陽子 著
小学館

星空が美しい医療過疎地。人生どん底のシングルマザー、人生に責められ続ける医師、人生をあきらめている老女。3人の出会いが、人生を変えてゆく…。希望をもたらす、人間味あふれる医療小説。

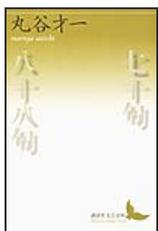
2017:10./ 293p

978-4-09-386480-0

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2018/01/21



七十句/八十八句(講談社文芸文庫 ま A7)

丸谷 才一 著
講談社

日本文学の巨星・丸谷才一の生前の姿が浮かび上がる、知と情とユーモア溢れる句の世界。人情の機微を卓抜に掬い取る句を選びすぐり、古希と米寿を記念して編まれた句集二冊に、岡野弘彦、長谷川權と巻いた未発表の歌仙を併録。

2017:11./ 216p

978-4-06-290365-3

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2018/01/21



情動の哲学入門～価値・道徳・生きる意味～

信原 幸弘 著

勁草書房

理性は補佐役、むしろ情動こそが主役である?! 情動と価値の関係から、道徳における情動の役割、生きる意味と情動の関わりまで、多様な問題に関係する情動の哲学の広がりを俯瞰的に見渡す。

2017:11./

17p,251p,12p

978-4-326-15450-0

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2018/01/21



仙人と呼ばれた男～画家・熊谷守一の生涯～

田村 祥蔵 著

中央公論新社

常識や社会通念を超えて生き、仙人と呼ばれた画家・熊谷守一。売るための絵を描けず貧乏を続けたが、やがて草花などを題材に独自の画風を築き…。日本の洋画史に大きな足跡を残したその生涯を探る。『清春』連載を単行本化。

2017:11./ 269p

978-4-12-005027-5

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/01/21



我々はなぜ我々だけなのか～アジアから消えた多様な「人類」たち～(ブルーバックス B-2037)

川端 裕人 著

講談社

我々ホモ・サピエンスの出現前、アジアにいた多様な「人類」はなぜ滅んだのか。我々はなぜ生き残ったのか。アジア人類進化学の第一人者と、彼に導かれ「我々とは何か」を問い続けた著者による人類学の最新成果。

2017:12./ 283p

978-4-06-502037-1

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2018/01/21



不死身の特攻兵～軍神はなぜ上官に反抗したか～(講談社現代新書 2451)

鴻上 尚史 著

講談社

上官の命令に背き、体当たりではなく爆弾を落として戦果を挙げようと心に決めた特攻兵、佐々木友次。彼は何と戦い、何に苦しみ、何を選んだのか。生き延びて何を思ったのか。9回の生還を果たした男が、命の尊厳を語る。

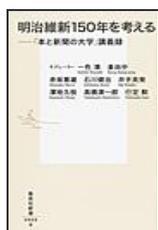
2017:11./ 292p

978-4-06-288451-8

本体 ¥880+税



朝日新聞 2018/01/21



明治維新150年を考える(集英社新書 0906)

赤坂 憲雄、石川 健治、井手 英策、澤地 久枝、高橋 源一郎、行定 勲 著

集英社

私たちは何を得て、何を失ったのか。この国を呪縛してきたものの正体とは。実力派メンバーが従来の「近代日本」像に新たな光をあて、日本の今後を考える。連続講座「本と新聞の大学」第5期を書籍化した、白熱の講義録。

2017:11./ 314p

978-4-08-721006-4

本体 ¥900+税



朝日新聞 2018/01/21



化学者たちの京都学派～喜多源逸と日本の化学～

古川 安 著

京都大学学術出版会

喜多源逸と京都学派の形成とその展開の様相を、おおよそ 1910年代から1960年代までたどり、京都大学工学部を舞台に織りなされた化学者たちの群像を描く。科学史の興味深いサブテーマも満載。

2017:12./ 3p,334p

978-4-8140-0122-4

本体 ¥3,600+税



朝日新聞 2018/01/21



100語でわかる色彩(文庫クセジュ 1017)

アマンディヌ・ガリエヌ 著

白水社

カラーアドバイザーとして、エルメスやアクト・シュッド出版等の仕事に携わる著者が、顔料の歴史、色の理論、象徴性、色と文化、色と音楽の関係など、100のテーマで色を解説。著者の色に対する感性を随所に散りばめた一冊。

2017:12./ 151p,2p

978-4-560-51017-9

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/01/21



ボーダーツーリズム~観光で地域をつくる~

岩下 明裕 著

北海道大学出版会

国境や境界地域の暗いイメージをどう打ち破るか。対馬・釜山、稚内・サハリン、八重山・台湾…。国境や境界を資源ととらえ、観光で地域の発展や振興を展望する、境界研究者たちの試み。

2017:12./ 14p,250p

978-4-8329-3397-2

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2018/01/21



「家事のしすぎ」が日本を減ぼす(光文社新書 917)

佐光 紀子 著

光文社

「手づくりの食卓」「片付いた部屋」…。「きちんと家事」への憧れと呪縛が日本人を苦しめる。多くの聞き取りや国際比較を参照しながら、気楽な家事とのつきあひ方を提案する。

2017:11./ 242p

978-4-334-04323-0

本体 ¥760+税



朝日新聞 2018/01/21



ウホッホ探検隊(河出文庫 ひ 12-1)

干刈 あがた 著

河出書房新社

離婚を機に、新しい家族のあり方と、自立する女性の生き方を優しく切なく描く。作家デビューからわずか 10 年、49 歳の若さでこの世を去った著者の名作を復刊。道浦母都子による解説、与那覇恵子による解題も収録する。

2017:12./ 141p

978-4-309-41582-6

本体 ¥500+税



朝日新聞 2018/01/21



日本軍兵士~アジア・太平洋戦争の現実~(中公新書 2465)

吉田 裕 著

中央公論新社

高率の餓死、戦場での自殺と「処置」、特攻、物資欠乏…。勇猛と語られる日本兵が、凄惨な体験を強いられた戦争の現実とは。兵士の目線・立ち位置から、特に敗色濃厚になった時期以降のアジア・太平洋戦争の実態を追う。

2017:12./ 6p,228p

978-4-12-102465-7

本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/01/21



もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら青のりMAX

神田 桂一、菊池 良 著

宝島社

「桐島、湯切りやめるってよ」「失楽?」「ゆげくらべ」「博士の愛したソース式」「湯邦人」…。さまざまな文体で「カップ焼きそばの作り方」を綴る、「もしそば」第 2 弾! 特別 BIG 座談会も収録。

2017:12./ 219p

978-4-8002-7804-3

本体 ¥980+税



朝日新聞 2018/01/21



小さな企業が生き残る～地域×技術×デザイン～

金谷 勉 著
日経BP社

小さな会社でも“強み”は必ずある! オリジナル商品の開発とそれを実現するデザインで復活を遂げた会社の仕掛け人が、これまで手掛けた成功事例を紹介し、下請けの小さな町工場や職人が生き残るための処方箋を提示する。

2017:12./ 239p
978-4-8222-5757-6
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/01/21



きまじめ姫と文房具王子.<1>(ビッグ コミックス)

藤原 嗚呼子 著
小学館

京都の大学に講師として赴任した姫路かの子。研究室が相部屋になると聞かされ、訪ねると...そこには溢れんばかりの文房具の山が!!なんと同室の男性講師・蜂谷皐月は超文房具マニア。

2018:1./ 217p
978-4-09-189831-9
本体 ¥552+税



朝日新聞 2018/01/21



代表の概念

ハンナ・ピトキン、早川 誠 著
名古屋大学出版会

政治における代表とは何か。「代表(representation)」の語義に立ち戻り、ホブズズの議論から自由主義まで、思想の土台より政治的代表的の意味を徹底的に検討する。代表論の古典となった名著。

2017:12./ 6p,348p,70p
978-4-8158-0892-1
本体 ¥5,400+税



朝日新聞 2018/01/21、読売新聞 2018/01/21



西東三鬼全句集(角川ソフィア文庫 D116-1)

西東 三鬼 著
KADOKAWA

昭和俳壇に彗星のごとく登場し、十七文字の魔術師と称された新興俳句の旗手、三鬼。反戦やエロス、異国的モチーフや中年感情を大胆にモダンに詠み、無二の魅力を放つ西東三鬼の全句を収録。自句自解、初句・季語索引付き。

2017:12./ 473p
978-4-04-400326-5
本体 ¥1,240+税



朝日新聞 2018/01/21、毎日新聞 2018/01/21



滑走路～歌集～

萩原 慎一郎 著
KADOKAWA

非正規の友よ、負けるな ぼくはただ書類の整理ばかりしている 僕は歌う。誰からも否定できない生き様を提示するために-。32 歳、若き歌人が遺した至極の 295 首を収めた第 1 歌集。

2017:12./ 156p
978-4-04-876477-3
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/01/22



フツーの主婦が、弱かった青山学院大学陸上競技部の寮母になって箱根駅伝で常連校になるまでを支えた 39 の言葉

原 美穂 著
アスコム

わたしたちはみんな、誰かを支えるために生きている-。フツーの主婦から青山学院大学陸上競技部の寮母となり、大学駅伝強豪校となったチームを支え続けている著者が、どういった気持ちで学生や監督に接してきたかを綴る。

2017:12./ 205p
978-4-7762-0974-4
本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/01/27



私の居場所はどこにあるの?~少女マンガが映す心のかたち~(朝日文庫)

藤本 由香里 著
朝日新聞出版
朝日新聞 2018/01/28

2008:6./ 450p,11p
978-4-02-261538-1
本体 ¥900+税



のぼうの城<上>(小学館文庫)

和田 竜 著
小学館
朝日新聞 2018/01/28

2010:10./ 219p
978-4-09-408551-8
本体 ¥457+税



のぼうの城<下>(小学館文庫)

和田 竜 著
小学館
朝日新聞 2018/01/28

2010:10./ 218p
978-4-09-408552-5
本体 ¥457+税



忍びの国(新潮文庫 わ-10-1)

和田 竜 著
新潮社
朝日新聞 2018/01/28

2011:3./ 375p
978-4-10-134977-0
本体 ¥590+税



小太郎の左腕(小学館文庫 わ 10-3)

和田 竜 著
小学館
朝日新聞 2018/01/28

2011:9./ 381p
978-4-09-408642-3
本体 ¥657+税



戦国時代の余談のよだん。

和田 竜 著
ベストセラーズ
「のぼうの城」の原作者が、歴史の取材中に起きた小事件やその時の実感など、創作秘話を明かす。さらに、徳川家康、武田信玄、毛利元就といった戦国武将のこぼれ話を紹介する。『CIRCUS』連載に加筆し書籍化。

2012:11./ 303p
978-4-584-13456-6
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/01/28



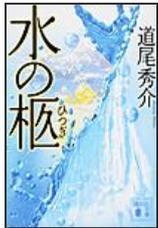
球体の蛇(角川文庫 み 39-2)

道尾 秀介 著
角川書店
あの頃、幼なじみの死の秘密を抱えた 17 歳の私は、ある女性に夢中だった……。狡い嘘、幼い偽善、決して取り返すことのできないあやまち。矛盾と葛藤を抱えて生きる人間の悔恨と痛みを描く、人生の真実の物語。

2012:12./ 314p
978-4-04-100619-1
本体 ¥600+税



朝日新聞 2018/01/28



水の樞(講談社文庫 み 63-2)

道尾 秀介 著
講談社

自分が“普通”で退屈なことを嘆く中学 2 年の逸夫と、両親が離婚し級友からいじめを受け“普通”を欲する敦子。あるきっかけで言葉を交わすようになったふたりだが、敦子には秘めた決意があつて…。

2014:8./ 359p
978-4-06-277831-2
本体 ¥660+税



朝日新聞 2018/01/28



白エリと青エリ<1>

関根 美有 著
タバブックス

高校 1 年のエリが仕事や働く大人を観察しながら成長する新感覚・労働系大家族漫画の表題作をはじめ、シニカルながらあたたかい作品を収録。漫画家・関根美有初の単行本。

2014:11./ 114p
978-4-907053-06-2
本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2018/01/28



舟を編む(光文社文庫 み 24-2)

三浦 しをん 著
光文社

辞書編集部に異動した馬締は「大渡海」の編纂を始める。個性的すぎる仲間たち、問題山積みの編集部、ままならぬ恋…。愛すべき変人たちが恋に仕事に右往左往。「大渡海」は編み上がるのか?「馬締の恋文」も全文収録。

2015:3./ 347p
978-4-334-76880-5
本体 ¥620+税



朝日新聞 2018/01/28



プリンセスメゾン<1>(ビッグスピリッツコミックス)

池辺 葵 著
小学館

映画化作品『繕い裁つ人』の池辺葵氏、最新作は“住”。女ひとり、たったひとつの“家”さがしは、運命の人を見つけるよりも難しい!?2015 年、日本。女性がひとりで家を買うことは、無謀なのか、堅実なのか。

2015:5./ 214p
978-4-09-187016-2
本体 ¥552+税



朝日新聞 2018/01/28



村上海賊の娘<1>(新潮文庫 わ-10-2)

和田 竜 著
新潮社

時は戦国。乱世に名を轟かせた村上海賊。瀬戸内海の島々に根を張り、強勢を誇る当主の剛勇と荒々しさを引き継いだ娘の景は、海賊働きに明け暮れ、地元では嫁の貰い手のない悍婦で醜女。この姫が合戦前夜の難波へ向かい…。

2016:7./ 343p
978-4-10-134978-7
本体 ¥590+税



朝日新聞 2018/01/28



傘寿まり子<1>(KCDX 4174)

おざわ ゆき 著
講談社

ベテラン作家の幸田まり子は自分の家で息子夫婦、孫夫婦との間で住居問題が勃発。老人の自分には居場所がないことを感じ一人家出を決意。街中のネットカフェで暮らし始めるが…?

2016:11./ 175p
978-4-06-393074-0
本体 ¥580+税



朝日新聞 2018/01/28



銀河鉄道の父

門井 慶喜 著

講談社

岩手県をイーハトヴにし、銀河に鉄道を走らせた宮沢賢治。生涯夢を追い続けた賢治と、父でありすぎた父・政次郎との対立と慈愛の月日を、父の視点から描く。『小説現代』連載に、加筆、修正し単行本化。

2017:9./ 408p

978-4-06-220750-8

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/01/28



クトゥルーの呼び声(星海社 FICTIONS ラ1-01)

H.P.ラヴクラフト、森瀬 繭、中央東口 著

星海社

怪奇小説作家 H.P.ラヴクラフトが創始した架空の神話体系<クトゥルー神話>の原点となる「ダゴン」「クトゥルーの呼び声」「インスマスを覆う影」など 7 編と、H.S.ホワイトヘッド著「挫傷」を掲載する。

2017:11./ 479p

978-4-06-510769-0

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/01/28



インパール作戦従軍記～葦平「従軍手帖」全文翻刻～

火野 葦平 著

集英社

太平洋戦争中、兵士・報道班員として各戦線におもむいた火野葦平。勝ち戦から敗北の撤退戦までつぶさに記録した膨大な直筆手帖から、インパール編 6 冊を図版も含めて活字化。同行した画家・向井潤吉の戦場スケッチも掲載。

2017:12./ 589p

978-4-08-781630-3

本体 ¥4,800+税



朝日新聞 2018/01/28



ゆかいなセリア

エレナ・フォルトウン、西村 英一郎、西村 よう子 著

彩流社

マドリッド・セラーノ通りに暮らす 7 歳のおしゃまな女の子セリアは、想像力豊かで好奇心いっぱい。彼女が巻き起こす小さな事件の数々とは...? 1929 年、スペインの新聞連載からスタートした、「セリア」シリーズの第 1 作。

2018:1./ 310p

978-4-7791-2412-9

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/01/28



修道女フィデルマの挑戦(創元推理文庫 Mト6-16)

ピーター・トレメイン、甲斐 萬里江 著

東京創元社

法廷弁護士にして裁判官である美貌の修道女フィデルマが、鋭い推理で数々の難事件を解決する。彼女が学問所に入學したときに出会った最初の事件「化粧ボウチ」、学問所の最終試験の課題を解く「痣」など、全 6 編を収録。

2017:12./ 314p

978-4-488-21822-5

本体 ¥980+税



朝日新聞 2018/01/28



アリスマ王の愛した魔物(ハヤカワ文庫 JA 1309)

小川 一水 著

早川書房

弱小なディメ王国の醜悪な第六王子アリスマは、その類まれなる計算能力により頭角を現していくが...。森羅万象を計算し尽くす夢に取り憑かれた王を描く表題作ほか、「ろどそうるず」「ゴールデンブレッド」など全 5 篇を収録。

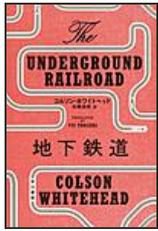
2017:12./ 341p

978-4-15-031309-8

本体 ¥700+税



朝日新聞 2018/01/28



地下鉄道

コルソン・ホワイトヘッド、谷崎 由依 著

早川書房

コーラは農園の奴隷だ。身よりはなく、仲間からは孤立し、主人は残虐きわまりない。ある日、新入りの奴隷に誘われ、彼女は逃亡しようと思いを決意する。農園を抜け出し、沼地を渡り、地下を疾走する列車に乗って、自由な北部へ…。

2017:12./ 395p

978-4-15-209730-9

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2018/01/28



幼なじみ萌え〜ラブコメ恋愛文化史〜

玉井 建也 著

幻冬舎

隣家に住む幼なじみの同級生が朝起こしにくるシチュエーションは、果たして理想なのか。恋愛小説の歴史を追いながら、ラブコメにおける幼なじみの位置づけを分析し、日本の文化史・恋愛史を読み解く。

2017:11./ 229p

978-4-344-95330-7

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/01/28



どうもろこしの乙女、あるいは七つの悪夢(河出文庫 オ 5-1)

ジョイス・キャロル・オーツ、榎木 玲子 著

河出書房新社

ミステリー! ホラー! ファンタジー! 美しい金髪の下級生を誘拐する、有名私立中学校の女子 3 人組を描いた「どうもろこしの乙女」など、現代アメリカ随一の短篇の名手が自ら選んだ全 7 篇を収録した傑作集。

2018:1./ 466p

978-4-309-46459-6

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/01/28



大量生産品のデザイン論〜経済と文化を分けない思考〜(PHP 新書 1126)

佐藤 卓著

PHP研究所

いかにしてデザインを学び、「デザインとは付加価値を与えるものではない」というデザイン論にどのように辿りついたのか。佐藤卓が、自身が携わった仕事を振り返りながら、商品の魅力を引き出す思考とプロセスを明らかにする。

2018:1./ 245p

978-4-569-83739-0

本体 ¥860+税



朝日新聞 2018/01/28



エヴァの震える朝〜15歳の少女が生き抜いたアウシュヴィッツ〜(朝日文庫 し 52-1)

エヴァ・シュロス 著

朝日新聞出版

1944 年 5 月 11 日、エヴァ 15 歳の誕生日の朝、アムステルダムに隠れ家にゲシュタポが踏み込んできた。家族 4 人は家畜用列車でアウシュヴィッツへ。アンネ・フランクの義姉が告白する、「アンネの日記」の続きの物語。

2018:1./ 375p

978-4-02-261911-2

本体 ¥980+税



朝日新聞 2018/01/28



風神の手

道尾 秀介 著

朝日新聞出版

彼/彼女らの人生は重なり、つながる…。章を追うごとに出来事の<意味>が反転しながら結ばれていく。数十年にわたる歳月を、ミステリーに結晶化した長編小説。『小説トリッパー』『朝日新聞』掲載を単行本化。

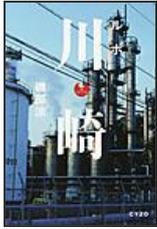
2018:1./ 418p

978-4-02-251514-8

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2018/01/28



ルポ川崎

磯部 涼 著
サイゾー

工業都市・川崎で中 1 殺害事件など凄惨な出来事が続いたのは、偶然ではない。地元ラッパーの証言をはじめ、ヤクザ、ドラッグ、売春、貧困、人種差別までドキュメントし、ニッポンの病巣をえぐる。『サイゾー』連載を書籍化。

朝日新聞 2018/01/28

2017:12./ 305p
978-4-86625-090-8
本体 ¥1,600+税



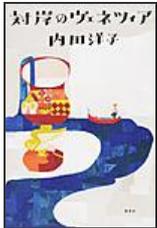
読みくらべ世界民話考～庶民の豊かな想像力と集合的認識を読み取る～

野中 涼 著
松柏社

日常の喜びや嘆き、感動や願望のさまざまな経験から、ごく自然に湧きだした物語「民話」。世界各地の民話を優れた文学作品と捉え、「無理やりの結婚」「冒険に挑む者」など、共通するテーマごとに 3 作づつ紹介する。

東京・中日新聞 2018/01/07

2017:10./ 423p
978-4-7754-0245-0
本体 ¥3,800+税



対岸のヴェネツィア

内田 洋子 著
集英社

ヴェネツィアに移り住んだ著者が出会った、街の素顔と人々の喜怒哀楽。裕福なマダムに仕える元漁師の半生、古い教会でのコンサート体験、古文書の電子化に取り組む人々…。滋味あふれるエッセイ 12 章。

東京・中日新聞 2018/01/07

2017:11./ 209p
978-4-08-781644-0
本体 ¥1,400+税



春の消息

柳 美里、佐藤 弘夫、宍戸 清孝 著
第三文明社

日本人の死生観をテーマに、かつて飢饉・冷害・震災といった大災害に見舞われた東北各地の墓地、霊場、神社仏閣、有形・無形文化遺産などを訪ねた記録。豊富なカラー写真とともに紹介する。エッセイ、対談も収録。

東京・中日新聞 2018/01/07

2017:11./ 263p
978-4-476-03369-4
本体 ¥2,200+税



縄文の思想(講談社現代新書 2454)

瀬川 拓郎 著
講談社

弥生時代以降の日本列島周縁の海民、アイヌ、南島の人びとが、縄文の習俗や世界観・他界観をとどめてきたことを明らかにし、かれらの共通する生き方のなかに、縄文の思想を探る。

東京・中日新聞 2018/01/07、朝日新聞 2018/01/07

2017:11./ 266p
978-4-06-288454-9
本体 ¥840+税



アメリカの汚名～第二次世界大戦下の日系人強制収容所～

リチャード・リーヴス、園部 哲 著
白水社

人種差別、排外主義、恐怖と表裏をなす報復感情。戦時中、日系アメリカ人が直面した人種差別と隔離政策の恐るべき実態を描いたノンフィクション。合衆国史に連綿としてある暗部を暴き、警鐘を鳴らした問題作。

東京・中日新聞 2018/01/07、日本経済新聞 2018/01/20

2017:11./ 345p,27p 図
版 16p
978-4-560-09583-6
本体 ¥3,500+税





小林秀雄 美しい花

若松 英輔 著
文藝春秋

「ランボオ」「X への手紙」「ドストエフスキイの生活」から「モーツァルト」まで。小林秀雄の著作を生き直すように読み、歴史の中にその実像を浮かび上がらせる。『文學界』掲載を加筆修正し単行本化。

2017:12./ 621p
978-4-16-390687-4
本体 ¥3,000+税



東京・中日新聞 2018/01/07、日本経済新聞 2018/01/20



レーナの日記～レニングラード包囲戦を生き延びた少女～

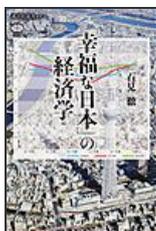
エレナ・ムーヒナ、佐々木 寛、吉原 深和子 著
みすず書房

1941年9月、ナチス・ドイツ軍がレニングラードを包囲。食料と燃料の供給が絶たれ、80万人以上が犠牲となった。包囲下の市民生活の様子を詳細に伝える16歳の女子生徒レーナの1年間にわたる日記本文の全訳。

2017:9./ 339p
978-4-622-08641-3
本体 ¥3,400+税



東京・中日新聞 2018/01/14



「幸福な日本」の経済学(講談社選書メチエ 663)

石見 徹 著
講談社

格差と貧困、行き詰る社会。新自由主義の失敗を乗り越え、経済成長と社会保障を実現するには。目指すべき「welfare(福祉)」と「well-being(幸福)」達成への方策を考察する。

2017:11./ 220p
978-4-06-258666-5
本体 ¥1,550+税



東京・中日新聞 2018/01/14



流罪の日本史(ちくま新書 1290)

渡邊 大門 著
筑摩書房

流罪は死刑につぐ大罪だった。誰がどんな罪でどこに流されたのか。罪人と一族はどう生き延びたのか。そこには権力闘争や策謀の壮絶なドラマがあった…。古代から近代までの流罪の変遷を辿り、そこに見える刑罰観を読み解く。

2017:11./ 260p
978-4-480-06999-3
本体 ¥860+税



東京・中日新聞 2018/01/14



銀杏手ならい

西條 奈加 著
祥伝社

小日向水道町の手習指南所「銀杏堂」で、読み書き算盤を教える出戻りの萌。だが、親たちは女師匠と侮り、子供たちは反抗を繰り返し…。若き手習師匠の格闘の日々を鮮やかに描く時代小説。『小説 NON』掲載を単行本化。

2017:11./ 263p
978-4-396-63533-6
本体 ¥1,500+税



東京・中日新聞 2018/01/14



パテレンの世紀

渡辺 京二 著
新潮社

ペリー来航の300年前、日本人とヨーロッパ人の衝撃的な出遭い！キリスト教伝来と布教、信長・秀吉・家康らの反応、禁教、弾圧、鎖国など、日欧の「ファースト・コンタクト」を鮮やかに描く。『選択』連載を単行本化。

2017:11./ 478p
978-4-10-351321-6
本体 ¥3,200+税



東京・中日新聞 2018/01/14、朝日新聞 2018/01/21



ニュータウンの社会史(青弓社ライブラリー 90)

金子 淳 著
青弓社

高度経済成長期、人びとの「憧れ」とともに注目を集めたニュータウン。50年を経て、現在は少子・高齢化や施設の老朽化の波が押し寄せている。日本最大規模の多摩ニュータウンを中心にその軌跡を辿り、地域社会の変貌を描く。

東京・中日新聞 2018/01/21

2017:11./ 254p
978-4-7872-3427-8
本体 ¥1,600+税



スター・ウォーズによると世界は

キャス・R. サンズティーン 著
早川書房

反乱軍に成功をもたらすカスケードとは? ハーバード大学ロースクールの名物教授がコミュニケーション、意思決定、マネージメント、経済、親子関係、政治にいかん「スター・ウォーズ」が役立つかを真面目に説く。

東京・中日新聞 2018/01/21

2017:11./ 247p
978-4-15-209722-4
本体 ¥2,000+税



命の価値～規制国家に人間味を～

キャス・サンズティーン、山形 浩生 著
勁草書房

人びとを規制する法はどのような議論を経ているのか。規制に関する法律の実際の立法に関わった元ホワイトハウス高官が、アメリカの政策採用の是非の基準から、費用便益分析の使い方まで、内実を明らかにする。

東京・中日新聞 2018/01/21

2017:12./ 3p,270p,62p
978-4-326-55079-1
本体 ¥2,700+税



「ポスト宮崎駿」論～日本アニメの天才たち～(新潮新書 745)

長山 靖生 著
新潮社

新海誠監督「君の名は。」で一気に“第四次ブーム”に突入した日本アニメ。「バケモノの子」の細田守、「エヴァ」の庵野秀明…。多彩な才能を第一線の評論家が徹底分析し、日本アニメの実態を俯瞰する。

東京・中日新聞 2018/01/21

2017:12./ 218p
978-4-10-610745-0
本体 ¥760+税



ごまかさなない仏教～仏・法・僧から問い直す～(新潮選書)

佐々木 閑、宮崎 哲弥 著
新潮社

どのお経が「正典」なのか。善い行いをして「業」は生じるのか。日本の仏教理解における数々の盲点を、2人の仏教者が、ブッダの教えに立ち返り、根本から問い直す。基本原理から学び直せる仏教入門。

東京・中日新聞 2018/01/28

2017:11./ 301p
978-4-10-603818-1
本体 ¥1,400+税



女神信仰と日本神話

吉田 敦彦 著
青土社

日本の神話における女性の神々の役割を多角的に分析し、現在に至るまで私たちの信仰や生活に影響を与え続けている女神の力を、日本だけでなく他の地域の古代信仰や男性神との比較から明らかにする。『ユリイカ』掲載等に加筆。

東京・中日新聞 2018/01/28

2017:12./ 155p
978-4-7917-7032-8
本体 ¥2,000+税





竹林精舎

玄侑 宗久 著
朝日新聞出版

恋の悩みを抱えたまま、被災地の寺に入った新米僧侶の懊悩と逡巡。ブツダの弟子になった気弱で明るい青年は、仲間と共にフクシマでどう生きるのか。福島県に住む僧侶作家が7年を経て放つ書き下ろし長篇。

東京・中日新聞 2018/01/28

2018:1./ 309p
978-4-02-251513-1
本体 ¥1,800+税



アメリカ外交 50年(岩波現代文庫)

ジョージ・F.ケナン 著
岩波書店

アメリカの戦後世界政策を構想した著者ケナンが、アメリカ外交の伝統における現実感覚の欠如を批判しつつ、そのあるべき姿を提言した外交論の教科書ともいべき古典。

読売新聞 2018/01/07

2000:10./ 310p
978-4-00-600030-1
本体 ¥1,240+税



海街diary<1> 蝉時雨のやむ頃(flowers comics)

吉田 秋生 著
小学館
読売新聞 2018/01/07

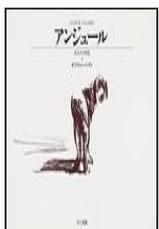
2007:4./ 187p
978-4-09-167025-0
本体 ¥545+税



夕焼けの詩<1>(ビッグコミックス)

西岸良平 著
小学館
読売新聞 2018/01/07

1975:9./ 242p
978-4-09-180061-9
本体 ¥505+税



アンジュール～ある犬の物語～

ガブリエル・バンサン 著
BL出版

ふりむいた犬のまなざしに、そのシンプルで美しく、哀しみに満ちた表紙に、思わず立ちどまる忘れられない絵本。絵本作家ガブリエル・バンサンは、ゆるぎないデッサンである日すて犬となった一匹の犬を描いてゆく。

読売新聞 2018/01/07

2000:12./ 57p
978-4-89238-957-3
本体 ¥1,300+税



パンといっぴき

桑原 奈津子 著
パイインターナショナル

料理研究家・桑原さんの愛犬キップルは、おいしいパンの味を知ってしまいました…。テーブルの下からおこぼれをねらったり、とおくからおいをたしかめたり。パン好きの犬と朝食を定点観測でとらえた写真集。

読売新聞 2018/01/07

2012:12./ 111p
978-4-7562-4306-5
本体 ¥1,200+税



**鎌倉ものがたり<1>(アクションコミックス)**

西岸良平 著
 双葉社
 読売新聞 2018/01/07

1985:4./ 253p
 978-4-575-81135-3
 本体 ¥505+税



* 9 7 8 4 5 7 5 8 1 1 3 5 3 *

**地図と領土(ちくま文庫 う 26-2)**

ミシェル・ウエルベック 著
 筑摩書房
 孤独な天才芸術家ジェドは、一種獐猛な世捨て人の作家ウエルベックに仄かな
 友情を抱くが、驚愕の事件が2人に襲いかかる。<惨劇>の目くるめく謎とは。

2015:10./ 462p
 978-4-480-43308-4
 本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 4 8 0 4 3 3 0 8 4 *

読売新聞 2018/01/07

**OLD DOGS~愛しき老犬たちとの日々~**

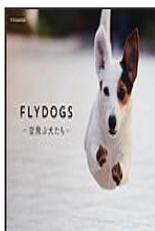
ジーン・ウェインガーテン、ミカエル・S.ウィリアムソン、山本 やよい 著
 原書房
 ずっと家族、ずっと相棒。ピューリッツァー賞受賞作家コンビが贈る写真エッセイ
 集。愛くるしい犬、臆病な犬、おバカな犬、忠実な犬…。64匹の老犬たちとのかけ
 がえのない思い出を収める。

2016:12./ 143p
 978-4-562-05361-2
 本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 5 6 2 0 5 3 6 1 2 *

読売新聞 2018/01/07

**FLYDOGS~空飛ぶ犬たち~**

トッド・R.バーガー 編
 岩城 義人 著
 エクスナレッジ
 全力でボールやフリスビーを追いかけ、池に飛び込み、?を飛び越える。大きなマ
 スティフ、小さなチワワ、黒いラブラドル・レトリバー、白いハバニーズ…。見て
 いるだけで心が弾む、躍動感いっぱい犬たちの写真集。

2016:12./ 140p
 978-4-7678-2225-9
 本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 7 6 7 8 2 2 2 5 9 *

読売新聞 2018/01/07

**服従(河出文庫 ウ 6-3)**

ミシェル・ウエルベック 著
 河出書房新社
 2022年、フランスにイスラーム政権誕生。パリ第三大学で教員をしているぼくは、
 若く美しい恋人と別れてパリを後にする…。シャルリー・エブドのテロ当日に発売さ
 れた、自由と民主主義をくつがえす予言的物語。

2017:4./ 324p
 978-4-309-46440-4
 本体 ¥920+税



* 9 7 8 4 3 0 9 4 6 4 4 0 4 *

読売新聞 2018/01/07

**天才の証明**

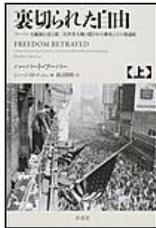
中田 敦彦 著
 日経BP社
 既存のルールに縛られるな。新しい視野と思考を手に入れろ! オリエンタルラジ
 オ、RADIO FISH の司令塔、中田敦彦が語る、才能を開花させる「戦略」と「選
 択」。

2017:11./ 198p
 978-4-8222-5921-1
 本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 8 2 2 2 5 9 2 1 1 *

読売新聞 2018/01/07



裏切られた自由〜フーバー大統領が語る第二次世界大戦の隠された歴史とその後遺症〜<上>

ハーバート・フーバー、ジョージ・H.ナッシュ 編
ハーバート・フーバー、渡辺 惣樹 著
草思社

第 31 代アメリカ大統領ハーバート・フーバーが第二次世界大戦の過程を詳細に検証した回顧録。元大統領が告発するアメリカの「責任」とは何か。従来の見方とは真っ向から対立する歴史観をもつ、第一級の史料。

読売新聞 2018/01/07

2017:7./ 702p
978-4-7942-2275-6
本体 ¥8,800+税



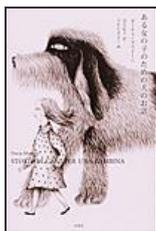
裏切られた自由〜フーバー大統領が語る第二次世界大戦の隠された歴史とその後遺症〜<下>

ハーバート・フーバー、ジョージ・H.ナッシュ 編
ハーバート・フーバー、渡辺 惣樹 著
草思社

第 31 代アメリカ大統領ハーバート・フーバーが第二次世界大戦の過程を詳細に検証した回顧録。アメリカ大統領の「裏切り」が世界にもたらした災いとは何か。従来の見方とは真っ向から対立する歴史観をもつ、第一級の史料。

読売新聞 2018/01/07

2017:11./ 591p 図版
16p
978-4-7942-2276-3
本体 ¥8,800+税



ある女の子のための犬のお話

ダーチャ・マライーニ、望月 紀子、さかた きよこ 著
未来社

お話をせがんだ女の子への手紙のなかで描かれている個性あふれる犬たちの、そして、馬、カワウソ、鳥の息づかい。彼らはなにを体現しているのか…。歴史を読みなおし、光をあてなおしてきた作家が贈る「いのち」の花束 12 篇。

読売新聞 2018/01/07

2017:10./ 104p
978-4-624-61041-8
本体 ¥1,800+税



あるフィルムの背景〜ミステリ短篇傑作選〜(ちくま文庫 ゆ 7-1)

日下 三蔵 編
結城 昌治 著
筑摩書房

検察が押収したわいせつ図画販売罪の証拠フィルム映像に、妻と似た女性の姿を見つけた検察官の笹田は、独自調査に乗り出すが…。表題作をはじめ、普通の人が歪んだ事件を引き起こす恐ろしさと悲しみを巧みに描いた短篇集。

読売新聞 2018/01/07

2017:11./ 402p
978-4-480-43476-0
本体 ¥840+税



幕末雄藩列伝(角川新書 K-170)

伊東 潤 著
KADOKAWA

気鋭の歴史作家が紐解く幕末維新の真実。薩摩藩、加賀藩など、幕末維新を紐解く上で外せない 14 の雄藩を取り上げ、その歴史だけでなく、藩の明暗を分けた岐路や決断を描き出す。『歴史読本』『本の旅人』掲載を単行本化。

読売新聞 2018/01/07

2017:11./ 241p
978-4-04-082154-2
本体 ¥860+税





観察が楽しくなる美しいイラスト自然図鑑<動物編>

エマニュエル・チュクリエル、ヴィルジニー・アラジディ、泉 恭子 著

創元社

伝統的な博物画の手法を用いた精緻なデッサンと、みずみずしく鮮やかな水彩が織りなすイラスト自然図鑑。動物編は、世界の動物 95 種を、生息環境別に収録する。

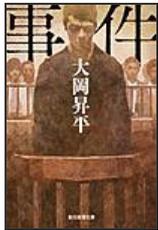
2017:11./ 75p

978-4-422-40025-9

本体 ¥1,900+税



読売新聞 2018/01/07



事件(創元推理文庫 M お 11-1)

大岡 昇平 著

東京創元社

1961 年夏、神奈川県山林で女性の刺殺体が発見され、19 歳の少年が殺人及び死体遺棄の容疑で逮捕された。最初はどこにでもある、ありふれた殺人のように思われたが…。戦後日本文学の重鎮が描破した不朽の裁判小説。

2017:11./ 550p

978-4-488-48111-7

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2018/01/07



ドレス

藤野 可織 著

河出書房新社

さよなら? 私とあなたはひとつになるのに? 愛しかったはずの誰かや確かな記憶を失い、見知らぬ場所にやって来た彼女たちの物語。文学と奇想の垣根を軽やかに超える全 8 編を収録。『文藝』ほか掲載をまとめて単行本化。

2017:11./ 216p

978-4-309-02624-4

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/01/07



維新の商人〜語り出す白石正一郎日記〜

古川 薫 著

毎日新聞出版

西郷隆盛、高杉晋作らと交流し、みずからも戦場に立った商人・白石正一郎。激動の日々をつづった日記だけを遺し、歴史の中に消えた「維新の商人」の正体とは。謎の豪商の生涯を描く。『毎日新聞』西部版連載を単行本化。

2017:11./ 252p

978-4-620-32480-7

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/01/07



138 億年宇宙の旅

クリストフ・ガルファール、塩原 通緒 著

早川書房

ホーキングとベストセラーを書いたサイエンスライターが、物質の起源からダークエネルギー、多宇宙理論まで、万物の起源と行く末をわかりやすく解説する。不思議現象満載の先端宇宙論を、見てきたように楽しめる書。

2017:11./ 510p

978-4-15-209723-1

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2018/01/07



H・P・ラヴクラフト〜世界と人生に抗って〜

ミシェル・ウエルベック、星 守之 著

国書刊行会

「クトゥルフ神話」の創造者としてカルトの人気を誇るホラー作家、H・P・ラヴクラフトの生涯と作品を、熱烈な偏愛を込めて語り尽くす! <世界一センセーショナルな作家>ミシェル・ウエルベックのデビュー作。

2017:11./ 205p

978-4-336-06177-5

本体 ¥1,900+税



読売新聞 2018/01/07



おちゃめに100歳!寂聴さん

瀬尾 まなほ 著
光文社

「私は人にパワーを与えていると思っていたけれど、違ってた。同じだけ出会った人から私がもらっている」と語る瀬戸内寂聴。66歳年下の秘書が、「日々若返る」瀬戸内寂聴の元気と才気の秘密を明かす。

2017:11./ 269p
978-4-334-97960-7
本体 ¥1,300+税



読売新聞 2018/01/07



浅草ロック座の母~伝説の女傑~

齋藤 智恵子 著
竹書房

浅草ロック座の創始者にして名誉会長。数々の武勇伝を残す伝説のママ・齋藤智恵子が、その波乱万丈の生涯や、勝新太郎、北野武らとの秘話を初めて語った自叙伝。

2017:11./ 254p
978-4-8019-1271-7
本体 ¥2,200+税



読売新聞 2018/01/07



勁草(徳間文庫 <3-4>)

黒川 博行 著
徳間書店

電話詐欺の標的リストを作る裏稼業「名簿屋」の高城に雇われている橋岡。賭場で借金を作った橋岡は高城に金の融通を迫る。大阪府警特殊詐欺班の刑事たちも捜査に動き出し…。直木賞作家が描く“オレ詐欺”犯罪サスペンス。

2017:12./ 541p
978-4-19-894285-4
本体 ¥750+税



読売新聞 2018/01/07



森山威男スイングの核心

森山 威男 著
ヤマハミュージックメディア

アグレッシブなドラムワークで活躍した、山下洋輔トリオのドラマー・森山威男が、フリージャズの核心を伝える。ドラムワーク解説、初期山下洋輔トリオが体験できるセッション等を収録したDVD付き。

2017:12./ 96p
978-4-636-91164-0
本体 ¥5,000+税



読売新聞 2018/01/07



秋田犬(文春新書 1152)

宮沢 輝夫 著
文藝春秋

凜とした佇まい、「忠犬ハチ公」に象徴される主人に忠実な性質...そんな秋田犬が世界中で大人気となっている。その一方、日本では存亡の危機に瀕する。世界的にも珍しいDNAを持つ「孤高の日本犬」の謎に迫る。

2017:12./ 237p
978-4-16-661152-2
本体 ¥860+税



読売新聞 2018/01/07、産経新聞 2018/01/28



日本における近代国家の成立(岩波文庫)

E.H.ノーマン 著
岩波書店

読売新聞 2018/01/14

1993:1./ 380p,12p
978-4-00-334372-2
本体 ¥940+税





昭和天皇独白録(文春文庫)

寺崎 英成、マリコ・テラサキ・ミラー 著
文芸春秋
読売新聞 2018/01/14

1995:7./ 262p
978-4-16-719803-9
本体 ¥500+税



新銀河ヒッチハイク・ガイド<上>(河出文庫 コ5-1)

E.コルファー 著
河出書房新社
読売新聞 2018/01/14

2011:5./ 284p
978-4-309-46356-8
本体 ¥760+税



新銀河ヒッチハイク・ガイド<下>(河出文庫 コ5-2)

E.コルファー 著
河出書房新社
読売新聞 2018/01/14

2011:5./ 304p
978-4-309-46357-5
本体 ¥760+税



読む時間

アンドレ・ケルテス、渡辺 滋人 著
創元社
寄り添って本を読む少年たち、ベンチで新聞を読む男性、本が積まれた窓辺...。
20 世紀の最も創造的で、影響力のある、多産な写真家の一人、アンドレ・ケルテスの古典的作品集。

2013:11./ 75p
978-4-422-70060-1
本体 ¥2,200+税



読売新聞 2018/01/14



窓ぎわのトットちゃん 新組版(講談社文庫 く10-2)

黒柳 徹子 著
講談社
「きみは、本当は、いい子なんだよ!」校長先生はトットちゃんにいつもそう言った。トモエ学園の個性を伸ばす教育と、そこに学ぶ子供たちを生き生きと描いた名作。字が大きくて読みやすく、絵も鮮明に美しくなった新組版。

2015:8./ 377p
978-4-06-293212-7
本体 ¥760+税



読売新聞 2018/01/14



竹山道雄セレクション<1> 昭和の精神史

平川 祐弘 編
竹山 道雄 著
藤原書店
名著「ビルマの豎琴」の著者として知られるドイツ文学者・評論家の竹山道雄。左右を問わず狂信的な思想・政治を鋭く批判した「真のリベラリスト」のセレクション。1は、「昭和の戦争」を切実に探索した 16 本の論稿を収録。

2016:10./ 568p
978-4-86578-094-9
本体 ¥4,800+税



読売新聞 2018/01/14



スティーヴ・マッカリーの「読む時間」

スティーヴ・マッカリー、渡辺 滋人 著

創元社

タイ・チェンマイのベンチで少女が、香港の雑踏で新聞を、ワシントン・スクエア公園で女性が寝転びながら、レバノンの教室で子どもたちが…。「読む」人びとの魅力溢れる表情を、美しいカラー写真でとらえた写真集。

2017:9./ 140p

978-4-422-70113-4

本体 ¥3,600+税



* 9 7 8 4 4 2 2 7 0 1 1 3 4 *

読売新聞 2018/01/14



昭和天皇実録<第 13> 自昭和三十五年至昭和三十九年

宮内庁 編

東京書籍

昭和天皇の誕生より崩御に至るまでの記録「昭和天皇実録」の原本全六十一巻を十八冊にまとめ、新たに索引一冊を作成して附録として公開。第 13 は、巻四十四(昭和三十五年)?巻四十六(昭和三十九年)を収録。

2017:9./ 1 冊

978-4-487-74413-8

本体 ¥1,890+税



* 9 7 8 4 4 8 7 7 4 4 1 3 8 *

読売新聞 2018/01/14



ランニング・サイエンス～「走る」を科学する～

ジョン・ブルーワー、菅 しおり 著

河出書房新社

「走る」を科学で理解し、その知識をパフォーマンスの強化にどう利用できるか、イラストと事例で論証する。短距離からウルトラマラソンまで、ランニングのあらゆる種目に役立つビジュアル図解本。

2017:10./ 192p

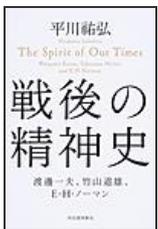
978-4-309-27851-3

本体 ¥3,200+税



* 9 7 8 4 3 0 9 2 7 8 5 1 3 *

読売新聞 2018/01/14



戦後の精神史～渡邊一夫、竹山道雄、E・H・ノーマン～

平川 祐弘 著

河出書房新社

日米関係、安保、米軍基地…。知識人たちは戦後政治をいかに論じたか。その背後に、どのような近代日本についての歴史認識があったのか。日本の未来に備え、比較文化史の泰斗が検証する。『Hanada』連載を単行本化。

2017:10./ 237p

978-4-309-02621-3

本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 3 0 9 0 2 6 2 1 3 *

読売新聞 2018/01/14



イエズス会士と普遍の帝国～在華宣教師による文明の翻訳～

新居 洋子 著

名古屋大学出版会

カトリック拡大のため東方に渡った宣教師らが、巨大な清朝に見出したものは何か。18 世紀後半に焦点をあて、在華イエズス会士が中国で展開した翻訳活動を、イエズス会士アミオの報告を中心に分析する。

2017:10./ 6p,373p,32p

978-4-8158-0889-1

本体 ¥6,800+税



* 9 7 8 4 8 1 5 8 0 8 8 9 1 *

読売新聞 2018/01/14



時代を「写した」男ナダール～1820-1910～

石井 洋二郎 著

藤原書店

肖像写真の先駆者として無数の著名人の写真を残したナダール。ジャーナリスト、批評家・作家、カリカチュリスト、飛行実験家など、19 世紀の最先端のメディアやテクノロジーの現場を渡り歩いた“異能の人”の全貌を描く。

2017:10./ 486p 図版

76p

978-4-86578-144-1

本体 ¥8,000+税



* 9 7 8 4 8 6 5 7 8 1 4 4 1 *

読売新聞 2018/01/14



トットひとり(新潮文庫 く-7-9)

黒柳 徹子 著
新潮社

黒柳徹子が、向田邦子、森繁久彌、渥美清らとの友情、「ザ・ベストテン」時代の舞台裏、結婚未遂事件などを綴る。友人たちを見送った今なお、ひとり活躍を続けるエンタテイナーの珠玉の回想録。永六輔への弔辞も全文収録。

2017:11./ 373p
978-4-10-133411-0
本体 ¥630+税



読売新聞 2018/01/14



やる気と能力を120%引き出す奇跡の指導法

藤重 佳久 著
ポプラ社

指導とは「ストーリー」を伝える仕事、生徒の「向上心」を引き出す、失敗を恥じない子に育てる。吹奏楽コンクールの全国常連校を部員 5 人の時代から育てた高校吹奏楽の名指導者が、指導法や指導に対する考え方をまとめる。

2017:12./ 190p
978-4-591-15337-6
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/01/14



鶏小説集

坂木 司 著
KADOKAWA

様々な岐路で迷い、奮闘する全ての人に送る、旨さあふれる「鶏小説」短編集。思春期のゆらぎと成長を描いた「トリとチキン」をはじめ、全 5 編を収録。『文芸カドカワ』掲載を単行本化。

2017:10./ 253p
978-4-04-105575-5
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/01/14



働く、働かない、働けば

巳年 キリン 著
三一書房

「仕事している時間は、自分の人生じゃないような気がする」「お金もらえても、一度きりの人生を浪費されてる感じがする」非正規、貧困、格差…。生きること・働くことについて、コミックを交えて考える。体験談も収録。

2017:12./ 157p
978-4-380-17006-5
本体 ¥1,300+税



読売新聞 2018/01/14



ノーラ・ウェプスター(CREST BOOKS)

コルム・トビーン、榎木 伸明 著
新潮社

夫を亡くし 21 年ぶりに勤めに出たノーラ。慎ましく不器用で頑固なノーラはやがて自分を立て直し、生きる喜びを見いだしてゆき…。アイルランドを代表する作家が、母の姿を投影した自伝的長篇小説。

2017:11./ 430p
978-4-10-590142-4
本体 ¥2,400+税



読売新聞 2018/01/14



五色の虹～満州建国大学卒業生たちの戦後～(集英社文庫 み 54-1)

三浦 英之 著
集英社

日中戦争の最中、旧満州に存在した最高学府「満州建国大学」。日本、中国、朝鮮、モンゴル、ロシアの若者が「五族協和」の実践をめざし夢見たものとは？ スーパーエリートたちが生き抜いた戦後を追う。

2017:11./ 345p
978-4-08-745667-7
本体 ¥700+税



読売新聞 2018/01/14



横溝正史ミステリ短篇コレクション<1> 恐ろしき四月馬鹿

横溝 正史、日下 三蔵 編

横溝 正史 著

柏書房

本格志向、怪奇趣味、耽美的抒情...多彩な横溝ワールドのエッセンスが凝縮された傑作短篇の数々を集成。最初期の作品をまとめた文庫「恐ろしき四月馬鹿」「山名耕作の不思議な生活」の28篇を収める。

2018:1./ 442p

978-4-7601-4904-9

本体 ¥2,600+税



読売新聞 2018/01/14



南国太平記<下> 改版(角川文庫 時-な 63-2)

直木 三十五 著

KADOKAWA

斉彬の子供のあいつぐ変死。斉彬派とお由羅の方一党との対立は益々深刻化していった。お由羅派の牧仲太郎は、斉彬を呪殺しようとするが、軽輩の益満休之助らはその陰謀を打ち砕くべく対決し...。「お由羅騒動」の?末を描く。

2017:11./ 627p

978-4-04-106348-4

本体 ¥1,280+税



読売新聞 2018/01/14



南国太平記<上> 改版(角川文庫 時-な 63-1)

直木 三十五 著

KADOKAWA

幕末の薩摩藩では、藩主・島津斉興の世子斉彬と、わが子久光を藩主にと願う斉興の愛妾お由羅の方との間に激しい抗争が繰り広げられていた。折しも斉彬の子、寛之助が原因不明の熱にうかされ...。「お由羅騒動」の?末を描く。

2017:11./ 562p

978-4-04-106347-7

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2018/01/14



ダーク・ジェントリー 全体論的探偵事務所(河出文庫 ア 4-6)

D.アダムス、安原 和見 著

河出書房新社

ケンブリッジ周辺で次々と発生する奇怪な事件に巻き込まれたリチャードは、旧友の私立探偵ダーク・ジェントリーに助けを求める。「あらゆる謎を万物の関連性から解きほぐす」と豪語するうさんくさい探偵が調査に向かった先は?

2017:12./ 410p

978-4-309-46456-5

本体 ¥920+税



読売新聞 2018/01/14



ヨイ豊(講談社文庫 か 131-3)

梶 よう子 著

講談社

黒船来航から12年。豊国が亡くなって、歌川を誰が率いるのか。ひと回り歳が違う兄弟弟子の清太郎と八十八は、尊王攘夷の波が押し寄せ不穏な江戸で、一門と浮世絵を守り抜こうとする。浮世絵の終焉を描く歴史長編。

2017:12./ 445p

978-4-06-293819-8

本体 ¥800+税



読売新聞 2018/01/14



ストーカー〜「普通の人」がなぜ豹変するのか〜(中公新書ラクレ 606)

小早川 明子 著

中央公論新社

SNSの普及で、素性を知らない相手へのストーキングなど悪質な手口が増えている。「交際相手と別れる時に注意すべき点は」「警察にはいつ行けばいいか」「加害者は治療で変わるか」など、経験豊かなカウンセラーが解説する。

2017:12./ 213p

978-4-12-150606-1

本体 ¥800+税



読売新聞 2018/01/14



クラウゼヴィッツ語録～『戦争論』のエッセンス～

クラウゼヴィッツ、加藤 秀治郎 著
一藝社

戦争とは、異なる手段をもって継続される政治に他ならない。クラウゼヴィッツ「戦争論」から重要な箇所を選び、テーマごとに配列。関連書物も紹介する。

読売新聞 2018/01/14

2017:12./ 209p
978-4-86359-131-8
本体 ¥1,500+税



小説男たちの大和(ハルキ文庫)

辺見 じゅん 著
角川春樹事務所

読売新聞 2018/01/21

2006:7./ 260p
978-4-7584-3248-1
本体 ¥640+税



肝心の子供

磯崎 憲一郎 著
河出書房新社

ブッダにはラーフラ、束縛という名前の息子がいた。ブッダ、ラーフラ、そして孫のティッサ・メッテイヤ。人間ブッダから始まる3世代を描く壮大な物語。

読売新聞 2018/01/21

2007:11./ 106p
978-4-309-01835-5
本体 ¥1,000+税



新編灯火節

片山 広子 著
月曜社

ひとり残された晩年に新しい生活を模索し、生きながらえる者の境地、日々のあれこれをいつくしむ心情を描いた静かな随筆集。1953年刊「灯火節」を底本とし、大正から昭和初期に雑誌に発表されたエッセイ8編を加えた新編。

読売新聞 2018/01/21

2007:12./ 300p
978-4-901477-38-3
本体 ¥1,600+税



眼と太陽

磯崎 憲一郎 著
河出書房新社

あの日、デトロイトのクラブで出会った、アメリカ人の女・トーリ。射抜くような大きな瞳の女性との時間。そこには、聖書の時代から変わらぬ太陽が輝いていた?。啓示の瞬間が遍在する新しい小説。

読売新聞 2018/01/21

2008:8./ 118p
978-4-309-01879-9
本体 ¥1,000+税



聖家族(SDP Bunko)

堀 辰雄 著
SDP

読売新聞 2018/01/21

2008:11./ 140p
978-4-903620-37-4
本体 ¥450+税



収容所(ラーゲリ)から来た遺書(文春文庫)

辺見 じゅん 著
文芸春秋

読売新聞 2018/01/21

1992:6./ 297p
978-4-16-734203-6
本体 ¥520+税



**ファウスト(手塚治虫漫画全集)**

手塚治虫 著
講談社
読売新聞 2018/01/21

1979:4.
978-4-06-108660-9
本体 ¥534+税

**ヨーロッパぶらりぶらり(ちくま文庫)**

山下清 著
筑摩書房
ジェット機に乗って「ときどきかじを下に向けないと地球の外へとびだしやしませんか」と心配したり、ゴンドラの町にパンツのほしてあるのを見て日本をなつかしむ。美しい細密画と訥々とした文章で綴るほのぼの紀行。

1994:9./ 252p
978-4-480-02904-1
本体 ¥600+税

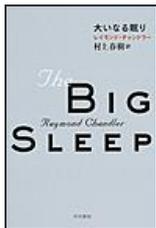


読売新聞 2018/01/21

**諷刺の文学**

池内紀 著
白水社
読売新聞 2018/01/21

1995:5./ 292p
978-4-560-04920-4
本体 ¥2,330+税

**大いなる眠り(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 7-14)**

レイモンド・チャンドラー 著
早川書房
資産家の将軍に呼び出された私立探偵フィリップ・マーロウは、将軍の娘が賭場で作った借金をネタに強請られていると聞かされ、犯人らしき男が経営する古書店を調べ始めるが…。探偵フィリップ・マーロウシリーズ第1作。

2014:7./ 386p
978-4-15-070464-3
本体 ¥960+税



読売新聞 2018/01/21

**ファウスト**

ゲーテ、バルバラ・キンダーマン、クラウス・エンジカート、酒寄 進一 著
西村書店
ドイツの文豪ゲーテによる壮大な戯曲「ファウスト」。ファウスト博士、悪魔メフィスト、美しい娘グレートヒェンをめぐる一連の騒動をえがいた第一部を、分かりやすい散文で再話。アートな絵本シリーズ第10弾。

2016:11./ 34p
978-4-89013-975-0
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/01/21

**LIFE~人間が知らない生き方~**

麻生 羽呂、篠原 かをり 著
文響社
ペンギンの教え、ライオンの教え、パンダの教え…。20種類の生き物たちの知られざる生態から、人間が生き残るための「戦略」と「習慣」を学ぶ本。奇才漫画家と生物学の天才が、生き物の世界にある「普遍の道理」を描く。

2016:11./ 211p
978-4-905073-62-8
本体 ¥1,430+税



読売新聞 2018/01/21



鳥獣戯画

磯崎 憲一郎 著
講談社

会社員生活を終え自由の身となった小説家。「鳥獣戯画」を今に伝える高僧。恋をする 17 歳の私…。語りの力で、何者にもなりえ、何処へでも行ける。小説の可能性を極限まで追い求める、最大級の野心作。『群像』連載を書籍化。

読売新聞 2018/01/21

2017:10./ 284p
978-4-06-220807-9
本体 ¥2,000+税



火の後に〜片山廣子翻訳集成〜

片山 廣子 著
幻戯書房

松村みね子こと片山廣子のバラエティに富んだ訳業を網羅。イエーツ、ダンセイニ、ロレンスらの短篇から、タゴールの詩、大正期に広く読まれていた戯曲、アメリカ探偵小説まで、単行本未収録の訳文を中心に掲載。

読売新聞 2018/01/21

2017:10./ 413p
978-4-86488-134-0
本体 ¥4,600+税



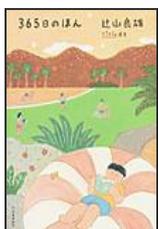
歴史と国家〜19世紀日本のナショナル・アイデンティティと学問〜

マーガレット・メール、千葉 功、松沢 裕作 著
東京大学出版会

国民国家形成における歴史学の役割とは。ボン大学で日本学を専攻したドイツ生まれの研究者が、明治政府が取り組んだ歴史編纂事業の全体像について、東京大学史料編纂所の歴史から語り起こす。史学史研究の基本文献。

読売新聞 2018/01/21

2017:11./
10p,272p,11p
978-4-13-020156-8
本体 ¥5,800+税



365日のほん

辻山 良雄 著
河出書房新社

考える本、子どものための本、文学・随筆、旅する本…。東京・荻窪の本屋「Title」の店主が、昔から名作として読まれてきた本から最近出版されたばかりのものまで、「存在感がある本」365冊を選んで紹介する。

読売新聞 2018/01/21

2017:11./ 392p
978-4-309-02634-3
本体 ¥1,400+税



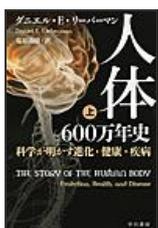
鉱物のお菓子〜琥珀糖と洋菓子と鉱物ドリンクのレシピ〜

さとう かよこ 著
玄光社

硬質な輝きを放つ鉱物を見て「美味しそうだ」と思ったことはありませんか？ そんな人のために、琥珀糖や洋菓子で作る「食べられる鉱物のお菓子」のレシピを紹介。色鮮やかな鉱物ドリンク、鉱物オードブルの作り方も収録。

読売新聞 2018/01/21

2017:10./ 111p
978-4-7683-0906-3
本体 ¥1,700+税



人体 600 万年史〜科学が明かす進化・健康・疾病〜<上>(ハヤカワ文庫 NF 511)

ダニエル・E.リーバーマン、塩原 通緒 著
早川書房

人類が類人猿と分岐し、直立二足歩行を始めたときから、人類の身体には独特の新しい適応構造がいろいろとあらわれた…。長い進化の過程から、人間の身体と病とを考察する。

読売新聞 2018/01/21

2017:11./ 374p
978-4-15-050511-0
本体 ¥920+税





人体 600 万年史～科学が明かす進化・健康・疾病～<下>(ハヤカワ文庫 NF 512)

ダニエル・E.リーバーマン、塩原 通緒 著

早川書房

労働事情や食生活などの環境変化に身体の適応が追いつかず、人間はさまざまな健康問題に悩まされ、病は是正されることなく次世代に伝わって行く。進化の旅を踏まえ、この悪循環を食い止めるにはどうすればいいかを考察する。

2017:11./ 398p
978-4-15-050512-7
本体 ¥920+税



読売新聞 2018/01/21



サバイブ～強くなければ、生き残れない～

麻生 羽呂、篠原 かをり 著

ダイヤモンド社

強くなるとはどういうことか。どう強くなればいいのか。パワー、知略、集中力など、進化の過程で様々な武器を身につけてきた 72 種の生物を取り上げ、その「個性を強みにする生き方」を、漫画とともに解説する。

2017:11./ 225p
978-4-478-10281-7
本体 ¥1,250+税



読売新聞 2018/01/21



記憶の海辺～一つの同時代史～

池内 紀 著

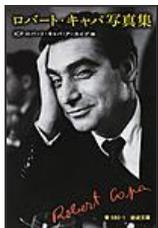
青土社

人生の軌跡をたどり、何を実証しようとしたのか。念願としたのは私的な記録を通じた時代とのかかわりだった…。10 歳のときの朝鮮戦争から、カフカ訳を終えた 60 歳までをたどる、自伝的回想録。『ユリイカ』掲載を書籍化。

2017:12./ 355p
978-4-7917-7023-6
本体 ¥2,400+税



読売新聞 2018/01/21



ロバート・キャパ写真集(岩波文庫 青 580-1)

ICP ロバート・キャパ・アーカイブ 編

岩波書店

スペイン内戦、ノルマンディー上陸作戦、パリ解放、そして最期の日を迎えたインドシナ…。<世界最高の戦争写真家>ロバート・キャパが撮影した約 7 万点のネガから、<戦いの中の光景>を中心に、236 点を精選して収録。

2017:12./ 316p
978-4-00-335801-6
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/01/21



世界神話学入門(講談社現代新書 2457)

後藤 明 著

講談社

なぜ世界中でよく似た神話が見られるのか? 近年の人文科学におけるエキサイティングな仮説、世界神話学説を検証。最新の神話研究と DNA 研究のコラボが、ホモ・サピエンスの壮大なドラマを解き明かす。

2017:12./ 282p
978-4-06-288457-0
本体 ¥900+税



読売新聞 2018/01/21



世界遺産パルミラ 破壊の現場から～シリア紛争と文化遺産～

間舎 裕生 編

雄山閣

IS によって破壊されたパルミラ遺跡に焦点をあて、シリアの文化遺産保護の重要性を訴えた、2 回のシンポジウムの講演を再構成。パルミラ遺跡を含むシリアの文化遺産の復興に向けてどのような支援が効果的なのかを討議する。

2017:11./ 202p
978-4-639-02539-9
本体 ¥2,200+税



読売新聞 2018/01/21



逃げ切る力～逆境を生かす考え方～

馬 英華 著

日本経済新聞出版社

男尊女卑の壁、外国人の壁、そして文化や規制の壁…。弁護士、中国ビジネスのコンサルティングも行う中国人女性社長が、閉鎖社会に挑んできた姿を綴った半生記。『日本経済新聞』電子版連載に加筆。

2017:12./ 299p

978-4-532-32160-4

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/01/21



愛に乱暴<上>(新潮文庫 よ-27-6)

吉田 修一 著

新潮社

結婚8年目の子供のいない主婦、桃子は夫・真守の両親が住む母屋の離れで暮らしている。義父が倒れ忙しくなった桃子にかかってきた一本の無言電話。平穩だった桃子の日常は揺らぎ、日記にも浮気相手の影がしのびよる…。

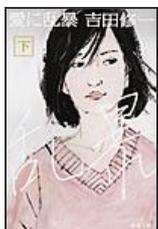
2018:1./ 244p

978-4-10-128756-0

本体 ¥490+税



読売新聞 2018/01/21



愛に乱暴<下>(新潮文庫 よ-27-7)

吉田 修一 著

新潮社

不倫を清算できない真守。そんな折、婚家の祖父が離れに住まわせていた時枝という女の不遇の生涯を聞く。桃子は、離れの床下に異常な興味を持つ。一方、不倫相手との再婚を望み、帰宅を拒む真守に桃子は呆れ…。

2018:1./ 234p

978-4-10-128757-7

本体 ¥490+税



読売新聞 2018/01/21



天涯無限～架空歴史ロマン～(KAPPA NOVELS)

田中 芳樹 著

光文社

絶体絶命の窮地に追い込まれたパルス国。解放王アルスラーンはシンドウラの王とのある交渉をジャスワントに委ねる。その頃、パルス国内では、先王が生きているという流言が広がり始めていて…。完結。

2017:12./ 217p

978-4-334-07735-8

本体 ¥840+税



読売新聞 2018/01/21



日本の神様解剖図鑑～八百万の神々の起源・性格とご利益がマルわかり～

平藤 喜久子 著

エクスナレッジ

神様の個性を深く知って最強の開運を！ 神話の神々から、自然物の神、異形の神、方角・季節の神、家のなかや道ばたにいる神まで、日本の神々の起源・性格とご利益を徹底図解。掲載社寺データリスト付き。

2018:1./ 163p

978-4-7678-2296-9

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/01/21



ローカリズム宣言～「成長」から「定常」へ～

内田 樹 著

デコ

守るべきは「お金」よりも「山河」。若者よ、地方をめざそう！ 「脱「経済成長」」「国家の「株式会社化」」「廃県置藩」のすすめ…。地方移住、定常経済などにかかわる文章をまとめた一冊。『TURNS』掲載に加筆。

2018:1./ 276p

978-4-906905-16-4

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/01/21



世界の名画物語～子どもたちとたどる絵画の歴史～(Rikuyosha Children & YA Books)

ミック・マニング、ブリタ・グランストローム 著

六耀社

絵本作家ミック・マニングとブリタ・グランストロームが選りすぐりの絵画を集めた、子どもたちのための、想像力あふれる美術史の入門書。ピカソから北斎まで、巨匠 38 人の名画の裏に隠された、驚きの物語を紹介する。

2017:12./ 87p
978-4-89737-979-1

本体 ¥3,600+税



読売新聞 2018/01/21



日米地位協定～その歴史と現在～

明田川 融 著

みすず書房

日本は主権国家と言えるのか。沖縄への構造的差別はどう絡んでくるのか。占領期から現在まで、日本全域に影響力をもつ「不平等協定」のすべてを、過去から現在にいたるさまざまな出来事や関連資料と併せながら描く。

2017:12./ 320p,23p
978-4-622-08647-5

本体 ¥3,600+税



読売新聞 2018/01/21、日本経済新聞 2018/01/27、東京・中日新聞 2018/01/28



夜更けわたしはわたしのなかを降りていく

水出 みどり 著

思潮社

ほそい ほそい 繊毛に似た棘のうえに 夜明けのひかりがとまる ほそいほそい 繊毛のうえに 繊細なひかりがとまる(「サボテン」より) 巡り続ける思念の、静けさに宿る烈しさを記す第 5 詩集。

2017:10./ 91p
978-4-7837-3588-5

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2018/01/23



銘度利加

十田 撓子 著

思潮社

祝祭は無言ではじまる 茂みのそこかしこに揺れる丸いつぼみが ぼんやり赤く発光しながら ひとつ、またひとつと目を覚ます(「赤い花」より) 全 18 編を収録した第 1 詩集。

2017:12./ 108p
978-4-7837-3593-9

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2018/01/23



ホーキング、宇宙を語る～ビッグバンからブラックホールまで～(ハヤカワ文庫 NF)

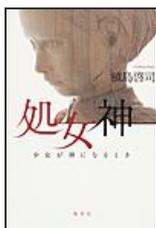
スティーヴン・W・ホーキング 著

早川書房

読売新聞 2018/01/28

1995:4./ 268p
978-4-15-050190-7

本体 ¥740+税



処女神～少女が神になるとき～

植島 啓司 著

集英社

慈愛と破壊、母性と処女性…。相反する属性を宿すネパールの生き神クマリ。一国家の至上神として認知されてきた処女神クマリを中心に、観音菩薩やマリアなど、女神信仰の系譜を読み解く。

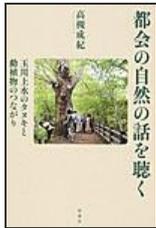
2014:7./ 316p 図版 32p

978-4-08-771564-4

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2018/01/28



都会の自然の話〜玉川上水のタヌキと動植物のつながり〜

高槻 成紀 著
彩流社

2016年に武蔵野美術大学の関野吉晴のプロジェクト「地球永住計画」の一環として始められた、玉川上水の動植物を調べる観察会の記録をまとめる。タヌキやタヌキの糞に集まる糞虫についてのオリジナルな情報も収録。

2017:12./ 262p
978-4-7791-2386-3
本体 ¥2,300+税



読売新聞 2018/01/28



Kult・ヴァイル〜生真面目なカメレオン〜

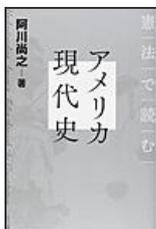
田代 權 著
春秋社

表現主義的作品からブロードウェイ・ミュージカルまで、多彩な劇音楽を陸続として生み出していった作曲家、 Kult・ヴァイル。その飽くなき創造精神の軌跡を辿る。

2017:8./ 331p,19p
978-4-393-93209-4
本体 ¥3,500+税



読売新聞 2018/01/28



憲法で読むアメリカ現代史

阿川 尚之 著
NTT出版

建国以来、政治や社会のあり方に関して、憲法に基づく判断を示してきた合衆国最高裁判所。その判決は、アメリカのかたちをどのように変えてきたか。三権分立のダイナミズムを通し、20世紀後半以降のアメリカ史を読み解く。

2017:11./ 409p
978-4-7571-4351-7
本体 ¥2,500+税



読売新聞 2018/01/28



ブランド戦略論

田中 洋 著
有斐閣

理論、戦略、実践、事例と包括的にブランドをとらえつつ、具体的なポイントも示し、実践的な知見を豊富に蓄積してまとめた体系書。有名企業のケースも多数収録。

2017:12./ 12p,524p
978-4-641-16510-6
本体 ¥4,000+税



読売新聞 2018/01/28



ボーリング〜過去を集める冒険〜(高山宏セレクション<異貌の人文学>)

ウィリアム・マガイアー 著
白水社

脱領域の世界的知性を集めたエラノス会議と、ユングに傾倒したメロン夫妻が創設したボーリング基金と出版活動。20世紀を変えた<知>が生成される現場を写真した、人的交流の文化史。

2017:12./
346p,53p,24p 図版
32p
978-4-560-08310-9
本体 ¥6,800+税



読売新聞 2018/01/28



木のものづくり探訪〜関東の木工家 20 人の仕事〜

西川 栄明、渡部 健五 著
創元社

関東地方に在住する木工家、木漆工芸家、家具修復家、木象嵌作家たちの、作品への思いやその人となりに迫る。彼らの代表作をはじめとする数々の作品や工房の様子、愛用の道具などもカラー写真で紹介する。

2017:11./ 164p
978-4-422-72025-8
本体 ¥2,400+税



読売新聞 2018/01/28



新移民時代～外国人労働者と共に生きる社会へ～

西日本新聞社 編
明石書店

2016年、日本国内の外国人労働者が100万人を突破した。移民政策をどうするのか。日本で暮らす外国人の実像や、彼らなしでは成り立たない日本社会の現実を見つめ、共生の道を探る。『西日本新聞』掲載を再構成し書籍化。

読売新聞 2018/01/28

2017:11./ 255p
978-4-7503-4586-4

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 7 5 0 3 4 5 8 6 4 *



貝殻と頭蓋骨(平凡社ライブラリー 862)

澁澤 龍彦 著
平凡社

ただ一度の中東旅行の記録、花田清輝、日夏耿之介など偏愛作家への讃辞、幻想美術、オカルト、魔術、毒薬、そしてのちに「あらゆる芸術の源泉」と述べたノスタルジア…。澁澤龍彦の魅力が凝縮された幻の名著を再刊。

読売新聞 2018/01/28

2017:12./ 261p

978-4-582-76862-6

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 5 8 2 7 6 8 6 2 6 *



藁屋根(講談社文芸文庫 お D10)

小沼 丹 著
講談社

“大寺さん”連作のうち、若かりし日にあたる表題作はじめ3編を収録。ほか、恩師・谷崎精二との思い出を綴った「竹の会」、アルプス・チロルや英国の小都市を訪れた際の出来事を描いた作品4編を併録した短編集。

読売新聞 2018/01/28

2017:12./ 235p

978-4-06-290366-0

本体 ¥1,550+税



* 9 7 8 4 0 6 2 9 0 3 6 6 0 *



人生ごっこを楽しみなヨ(角川新書 K-181)

毒虻 三太夫 著
KADOKAWA

毒虻流生きかた上手、初開陳! 81歳・下町育ちの毒虻三太夫が、まわりから愛されるチャーミングな“年寄り像”に迫るほか、色気のある年寄りになる方法、「病」との向き合いかた、「年を取る喜び」などを伝える。

読売新聞 2018/01/28

2017:12./ 202p

978-4-04-082172-6

本体 ¥840+税



* 9 7 8 4 0 4 0 8 2 1 7 2 6 *



何が私をこうさせたか～獄中手記～(岩波文庫 青 N123-1)

金子 文子 著
岩波書店

関東大震災後、朝鮮人の恋人と共に検束、大逆罪で死刑宣告された金子文子。無籍者として育ち、周囲の大人に虐げられ続けながらも、どん底の体験から社会を捉え、「私自身」を生き続けた迫力の自伝。

読売新聞 2018/01/28

2017:12./ 434p

978-4-00-381231-0

本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 0 0 3 8 1 2 3 1 0 *



共感のレッスン～超情報化社会を生きる～

植島 啓司、伊藤 俊治 著
集英社

インターネットや SNS の発達により、人はかつてないほどの大量の情報に取り囲まれて暮らしている。身体性や無意識に着目し、今こそ必要なコミュニケーションの原型を探る刺激的な対論。『すばる』連載を単行本化。

読売新聞 2018/01/28

2017:12./ 195p

978-4-08-771127-1

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 0 8 7 7 1 1 2 7 1 *



藤原氏～権力中枢の一族～(中公新書 2464)

倉本 一宏 著
中央公論新社

常に日本史の主役でありつづけた一族・藤原氏。古代国家の成立過程から院政期、そして中世に至る藤原氏千年の動きをたどり、いかにして権力を?み、後世まで伝えたのかを描く。

2017:12./ 5p,297p
978-4-12-102464-0
本体 ¥900+税



読売新聞 2018/01/28



九十八歳になった私

橋本 治 著
講談社

時は 2046 年。東京大震災を生き延びた、独居老人で元小説家の「私」のもとを、ボランティアのバーさんや、ゆとり世代の編集者など、さまざまな人たちが訪れる…。『群像』掲載の短篇と連載を長篇小説として書籍化。

2018:1./ 205p
978-4-06-220914-4
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/01/28



43回の殺意～川崎中1男子生徒殺害事件の深層～

石井 光太 著
双葉社

2015 年 2 月 20 日、神奈川県川崎市の多摩川河川敷で 13 歳の少年の全裸遺体が発見された。事件から 1 週間、逮捕されたのは 17 歳と 18 歳の未成年 3 人だった…。少年たちはなぜ地獄へと向かったのかを追うルポルタージュ。

2017:12./ 291p
978-4-575-31323-9
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/01/28



そのバケツでは水がくめない

飛鳥井 千砂 著
祥伝社

アパレルメーカーに勤める理世は、新ブランドのメインデザイナーに美名をスカウト。彼女の魅力とその才能に激しく惹かれる理世だが、やがてその親密さは過剰になっていき…。『小説 NON』連載に加筆し単行本化。

2017:12./ 370p
978-4-396-63538-1
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/01/28



私の嫌いな10の人びと(新潮文庫)

中島 義道 著
新潮社

日本経済新聞 2018/01/06

2008:8./ 247p
978-4-10-146726-9
本体 ¥460+税



寒い国から帰ってきたスパイ(ハヤカワ文庫 NV 174)

ジョン・ル・カレ 著
早川書房

作者自身情報部員ではないかと疑われたほどのリアルな描写と、結末の見事など、読んで返しとによってグレアム・グリーンに絶賛され、英国推理作家協会賞、アメリカ探偵作家クラブ賞両賞を獲得したスパイ小説の金字塔!

1978:5./ 382p
978-4-15-040174-0
本体 ¥900+税



日本経済新聞 2018/01/06

No Image	戦略的思考とは何か(中公新書) 岡崎 久彦 著 中央公論新社 日本経済新聞 2018/01/06	1999:9./ 279p 978-4-12-100700-1 本体 ¥760+税 
No Image	レッド・オクトーバーを追え<上>(文春文庫) トム・クランシー 著 文芸春秋 日本経済新聞 2018/01/06	1985:12./ 372p 978-4-16-727551-8 本体 ¥619+税 
No Image	ロシア皇帝の密約(新潮文庫) ジェフリー・アーチャー 著 新潮社 日本経済新聞 2018/01/06	1986:10./ 481p 978-4-10-216108-1 本体 ¥600+税 
No Image	私のスイス(中公文庫) 犬養道子 著 中央公論新社 日本経済新聞 2018/01/06	1988:6./ 400p 978-4-12-201528-9 本体 ¥583+税 
No Image	福音書をよむ旅(NHK ライブラリー) 井上洋治 著 NHK出版 日本経済新聞 2018/01/06	1995:11./ 335p 978-4-14-084019-1 本体 ¥1,068+税 
No Image	バッハ全集<第 15 巻> バッハとその周辺 小学館 日本経済新聞 2018/01/06	1999:6./ 359p 978-4-09-612015-6 本体 ¥27,143+税 
	赤頭巾ちゃん気をつけて(新潮文庫 し-73-1) 庄司 薫 著 新潮社 学生運動の煽りで入試が中止という災難に見舞われた高校 3 年の薫。愛犬が死に、幼馴染の由美と絶交し、踏んだり蹴つたりの 1 日がスタートするが…。青年の目で現代日本に通底する価値観の揺らぎを直視した 60 年代の青春小説。 日本経済新聞 2018/01/06	2012:3./ 198p 978-4-10-138531-0 本体 ¥460+税 



私を変えた聖書の言葉

曾野 綾子 著
海竜社

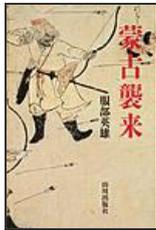
聖書は人生実用書である! 人生のあらゆる局面に、解答と慰め、励ましが用意されている。キリスト教的風土の中で育った小説家・曾野綾子が聖書の言葉を読み解く。

日本経済新聞 2018/01/06

2014:1./ 293p
978-4-7593-1359-8
本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 7 5 9 3 1 3 5 9 8 *



蒙古襲来

服部 英雄 著
山川出版社

蒙古襲来に関わる史料は多数があるが、通説では合理的に説明できないところがあった。「蒙古襲来絵詞」をはじめとする史料を徹底的に読み直すことによって、従来の解釈の誤りを正し、両度の戦争の実像をさぐる。

日本経済新聞 2018/01/06

2014:11./ 516p 図版
16p
978-4-634-15061-4
本体 ¥2,400+税



* 9 7 8 4 6 3 4 1 5 0 6 1 4 *



まなざしのデザイン〜<世界の見方>を変える方法〜

ハナムラ チカヒロ 著
NTT出版

氾濫する目まぐるしい情報に目を奪われることも、それらを拒否して目を硬く閉ざすことも、どちらも私たちを盲目にする。モノの見方を変えることで現実を豊かにしていくための、まなざしのデザインの可能性を考える。

日本経済新聞 2018/01/06

2017:11./ 321p
978-4-7571-7049-0
本体 ¥2,400+税



* 9 7 8 4 7 5 7 1 7 0 4 9 0 *



対デジタル・ディスrupter戦略〜既存企業の戦い方〜

マイケル・ウェイド、ジェフ・ルークス、ジェイムズ・マコーレー、アンディ・ノロニヤ、根来 龍之、武藤 陽生、デジタルビジネス・イノベーションセンター 著
日本経済新聞出版社

既存企業は、なぜ、どのようにして苦戦を強いられるのか? あらゆる業界をのみ込む「破壊の力学」と、それを支える「デジタル・ビジネスモデル」を解明。勝ち残りをかけた既存企業の戦い方を明らかにする。

日本経済新聞 2018/01/06

2017:10./ 408p
978-4-532-32165-9
本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 5 3 2 3 2 1 6 5 9 *



貧しい人を助ける理由〜遠くのあの子とあなたのつながり〜

デイビッド・ヒューム、佐藤 寛、太田 美帆 著
日本評論社

日本人さえ豊かでいられればそれでいいのか? 金持ち国に住む我々と「遠くの見知らぬ貧しい人」とのつながりが、どれほど密接かつ多岐にわたるのか。「自国民第一主義」が蔓延する中、「貧しい人を助ける理由」を挙げる。

日本経済新聞 2018/01/06

2017:11./ 11p,177p,8p
978-4-535-55889-2
本体 ¥1,700+税



* 9 7 8 4 5 3 5 5 5 8 8 9 2 *



蒙古襲来と神風〜中世の対外戦争の真実〜(中公新書 2461)

服部 英雄 著
中央公論新社

鎌倉中期、外国から二度の攻撃を受けた蒙古襲来。「神風」が吹いたため敵を撃退できたとされるが、それは事実なのか。通説の根拠となった諸史料の解釈を批判的に検証。「蒙古襲来絵詞」など良質な史料から、その真相に迫る。

日本経済新聞 2018/01/06

2017:11./ 8p,246p
978-4-12-102461-9
本体 ¥860+税



* 9 7 8 4 1 2 1 0 2 4 6 1 9 *



読む数学記号(角川ソフィア文庫 K120-3)

瀬山 士郎 著

KADOKAWA

小学校の数学(算数)をはじめ、日常生活の中で普通に使う数記号、四則演算記号、和の記号、特別な関数の記号、微分積分学の記号、組み合わせの記号などについて、読み方と意味、簡単な使い方を説明する。

日本経済新聞 2018/01/06

2017:11./ 248p

978-4-04-400329-6

本体 ¥800+税



* 9 7 8 4 0 4 4 0 0 3 2 9 6 *



人類史上最強ナノ兵器～その誕生から未来まで～

ルイス・A.デルモンテ、黒木 章人 著

原書房

ナノテクノロジーを利用した兵器がもたらす未曾有の戦争とは。元 IBM 開発者が、ナノ兵器開発の歴史から未来予測までを明らかにし、人類がナノ兵器によって滅亡させられないようにするための方策を示す。

日本経済新聞 2018/01/06

2017:11./ 253p,8p

978-4-562-05443-5

本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 5 6 2 0 5 4 4 3 5 *



イングリッシュネス～英国人のふるまいのルール～

ケイト・フォックス、北條 文緒、香川 由紀子 著

みすず書房

パブで、街角で、パーティで、はたまた競馬場で…。外国人には時に奇異に、時に肩すかしにも感じられるイギリス人の行動と国民性を、人気人類学者が体当たりのフィールドワークで解き明かす。

日本経済新聞 2018/01/06

2017:12./ 8p,200p,10p

978-4-622-08660-4

本体 ¥3,200+税



* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 6 6 0 4 *



中国メディアの変容～ネット社会化が迫る報道の変革～(早稲田大学エウプラクシス叢書 007)

陳 雅賽 著

早稲田大学出版部

中国における報道の自由に、ネットメディアはどのような役割を果たしているのか。5つの“突発事件”(SARS 事件、四川大震災、温州列車脱線事故、天津爆発事故、雷洋事件)報道から検証する。

日本経済新聞 2018/01/06

2017:11./ 7p,278p

978-4-657-17805-3

本体 ¥4,000+税



* 9 7 8 4 6 5 7 1 7 8 0 5 3 *



通じない日本語～世代差・地域差からみる言葉の不思議～(平凡社新書 861)

窪菌 晴夫 著

平凡社

日本語には、まだまだ知っていそうで知らない不思議がある。世代差と地域差を軸に、他の言語との比較も交えながら、日本語の「通じなさ」を面白おかしく紹介する。笑わずにはいられない実例も豊富に掲載。

日本経済新聞 2018/01/06

2017:12./ 207p

978-4-582-85861-7

本体 ¥780+税



* 9 7 8 4 5 8 2 8 5 8 6 1 7 *



スパイたちの遺産(Hayakawa Novels)

ジョン・ル・カレ、加賀山 卓朗 著

早川書房

元英国情報部員ギラムは、過去の作戦がらみで呼び出され…。ギラムを通して見た「寒い国から帰ってきたスパイ」の一連の出来事と、そこに至るまでの前日譚、そして「ティンカー、テイラー、ソルジャー、スパイ」を含む後日譚。

日本経済新聞 2018/01/06

2017:11./ 335p

978-4-15-209721-7

本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 1 5 2 0 9 7 2 1 7 *



幼年 水の町

小池 昌代 著
白水社

たったひとり、世界を見つめていた子どものころ。わたしは孤独だったが少しもさびしくはなかった。水の町・深川に育った著者が幼年のころを綴った、白水社ウェブサイトの連載エッセイと、書き下ろし掌編小説を収録する。

日本経済新聞 2018/01/06

2017:12./ 173p
978-4-560-09588-1
本体 ¥2,200+税



世界の一流企業は「ゲーム理論」で決めている～ビジネスパーソンのための戦略思考の教科書～

デビッド・マクアダムス、上原 裕美子 著
ダイヤモンド社

アップル、GM、マイクロソフト…。勝ち続ける企業は、どんな戦略をつかっているのか？ ビジネスを含む人生のあらゆる側面に应用可能なゲーム理論のアプローチを紹介する。トップスクール MBA の伝説の授業を書籍化。

日本経済新聞 2018/01/06

2017:11./ 3p,376p
978-4-478-02611-3
本体 ¥1,800+税



ラテンアメリカ五〇〇年～歴史のトルソー～(岩波現代文庫)

清水 透 著
岩波書店

ヨーロッパによる「発見」以来、約 500 年にわたるラテンアメリカの歴史は、何を問いかけるのか。メキシコを主なフィールドとし、「発見」される側に寄り添う視点から考察を重ねてきた著者が、既成の歴史観を問い直す講義録。

日本経済新聞 2018/01/06

2017:12./ 9p,322p
978-4-00-600372-2
本体 ¥1,200+税



強硬外交を反省する中国(PHP 新書 1122)

宮本 雄二 著
PHP研究所

中国はなぜ対外強硬路線を選び、なぜ転換せざるを得なくなったのか。天安門事件以降の混迷、リーマンショック後の増長、左右の内部対立を踏まえ、著者だけが知り得た情報を基に中国外交の行方を分析する。

日本経済新聞 2018/01/06

2017:11./ 274p
978-4-569-83618-8
本体 ¥880+税



「国境なき医師団」を見に行く

いとう せいこう 著
講談社

大地震後のハイチで、ギリシャの難民キャンプで、ウガンダの国境地帯で。「国境なき医師団」の活動を現地取材した小説家が、世界の<リアル>と人間の<希望>を綴る。『Yahoo!ニュース』掲載を書籍化。

日本経済新聞 2018/01/06、朝日新聞 2018/01/07

2017:11./ 383p
978-4-06-220841-3
本体 ¥1,850+税



11の国のアメリカ史～分断と相克の400年～<上>

コリン・ウッドワード、肥後本 芳男、金井 光太郎、野口 久美子、田宮 晴彦 著
岩波書店

北米の歩みを、11 のネイション間の分断と相克の歴史として描くユニークな歴史書。上は、植民地時代から独立革命後までを扱い、現在の合衆国の深刻な亀裂を考える上で、示唆に富んだ歴史解釈を行う。

日本経済新聞 2018/01/06、朝日新聞 2018/01/14

2017:10./
17p,271p,19p
978-4-00-022097-2
本体 ¥2,900+税





11の国のアメリカ史～分断と相克の400年～<下>

コリン・ウッドワード、肥後本 芳男、金井 光太朗、野口 久美子、田宮 晴彦 著
岩波書店
北米の歩みを、11のネーション間の分断と相克の歴史として描くユニークな歴史書。下は、西部開拓・南北戦争から現在までを扱い、北米大陸の再編をも展望する。

2017:10./
11p,262p,28p
978-4-00-022098-9
本体 ¥2,900+税

日本経済新聞 2018/01/06、朝日新聞 2018/01/14



タンゴ・イン・ザ・ダーク

サクラ ヒロ 著
筑摩書房
地下室に閉じこもる妻、インポテンツの夫、暗闇のセッション、間違いだらけの記憶…。ゆがみとずれを抱えた夫婦の、奇妙な愛の物語。太宰治賞受賞後第1作となる書き下ろし「火野の優雅なる一日」も収録。

2017:11./ 223p
978-4-480-80476-1
本体 ¥1,500+税

日本経済新聞 2018/01/06、朝日新聞 2018/01/28



えがないえほん

B.J.ノヴァク、おおとも たけし 著
早川書房
「ばふっ」「ぶりぶりぶ?!」 シンプルな仕掛けで、子どもが大喜びし、本好きになって、表現力も豊かになる! 「ねこのピート」シリーズの大友剛が翻訳した、米国で人気の“絵がない”読み聞かせ本。

2017:11./ 1冊(ページ付なし)
978-4-15-209724-8
本体 ¥1,300+税

日本経済新聞 2018/01/06、読売新聞 2018/01/07



三島由紀夫～ある評伝～ 新版

ジョン・ネイスン 著
新潮社
絢爛たる言葉の王国を構築した作家三島。肉体への執着を露わにし、武士道を称揚し、余人には理解できない最期を選んだ行動の人三島。死へのエロティックな渴仰という視点から、三島のタブーに肉迫する。76年刊の新版。

2000:8./ 346p
978-4-10-505702-2
本体 ¥2,500+税

日本経済新聞 2018/01/13



歴史の教訓～アメリカ外交はどう作られたか～(岩波現代文庫)

アーネスト・メイ 著
岩波書店
日本経済新聞 2018/01/13

2004:4./ 338p
978-4-00-600120-9
本体 ¥1,300+税



午後の曳航 改訂版(新潮文庫 み-3-15)

三島 由紀夫 著
新潮社
船乗り竜二の逞しい肉体と精神に憧れていた登は、母と竜二の抱擁を垣間見て愕然とする。矮小な世間とは無縁であった海の男が結婚を考え、陸の生活に馴染んでゆくとは…。大人の世界を許せない少年たちの心理を克明に描く。

2013:4./ 202p
978-4-10-105015-7
本体 ¥460+税

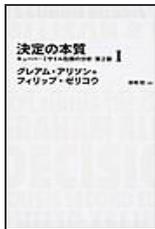
日本経済新聞 2018/01/13



動物のお医者さん<6>(花とゆめ COMICS スペシャル)

佐々木 倫子 著
白泉社
日本経済新聞 2018/01/13

2013:12./ 380p
978-4-592-21713-8
本体 ¥838+税

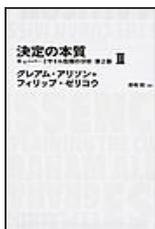


決定の本質～キューバ・ミサイル危機の分析～<1> 第2版(NIKKEI BP CLASSICS)

グレアム・アリソン、フィリップ・ゼリコウ 著
日経BP社
米ソ核戦争はどうやって回避されたのか。1962年10月の危機の過程を3モデルで分析した政策決定論、国際関係論の名著。1は、「合理的アクター」「組織行動」を解説し、合理的アクター・モデルによる分析を掲載する。

2016:3./ 417p
978-4-8222-5128-4
本体 ¥2,400+税

日本経済新聞 2018/01/13



決定の本質～キューバ・ミサイル危機の分析～<2> 第2版(NIKKEI BP CLASSICS)

グレアム・アリソン、フィリップ・ゼリコウ 著
日経BP社
米ソ核戦争はどうやって回避されたのか。1962年10月の危機の過程を3モデルで分析した政策決定論、国際関係論の名著。2は、「政府内政治」を解説し、組織行動モデル、政府内政治モデルによる分析を掲載する。

2016:3./ 475p
978-4-8222-5129-1
本体 ¥2,400+税

日本経済新聞 2018/01/13



世界をつくった6つの革命の物語～新・人類進化史～

スティーブン・ジョンソン 著
朝日新聞出版
ガリレオは祭壇ランプに何を見たか? 古代洞窟に歌は響いたか? イヌイットの瞬間冷凍とは? 「ガラス」「冷たさ」「音」「清潔」「時間」「光」という、文明を変えた6つの大発明を切り口に、人類進化の歴史をひもとく。

2016:8./ 339p
978-4-02-331530-3
本体 ¥1,900+税

日本経済新聞 2018/01/13

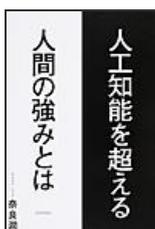


人工知能の核心(NHK 出版新書 511)

羽生 善治、NHK スペシャル取材班 著
NHK出版
結局のところ、人工知能とは何なのか。人間にしかできないこととは何か。国内外の人工知能研究のトップランナーへの取材をもとに、天才棋士・羽生善治がその核心にずばり迫る。

2017:3./ 235p
978-4-14-088511-6
本体 ¥780+税

日本経済新聞 2018/01/13



人工知能を超える人間の強みとは

奈良 潤 著
技術評論社
人間だからこそできることとは何か。世界的認知心理学者ゲイリー・クライン博士に師事する唯一の日本人研究者が、人工知能と人間の直観を比較しながら、人間の可能性とその引き出し方、これからの社会や教育のあり方を示す。

2017:3./ 333p
978-4-7741-8795-2
本体 ¥1,780+税

日本経済新聞 2018/01/13



春の夢～ポーの一族～(フラワーコミックススペシャル)

萩尾 望都 著
小学館

永遠の時を生きるバンパネラ(吸血鬼)であるエドガーとアランは、1940年代戦火のヨーロッパ、イギリス郊外でナチスドイツから逃れてきたドイツ人姉弟と出逢う...そしてその出逢いが新たな運命の歯車をまわす...

2017:7./ 192p
978-4-09-139560-3
本体 ¥648+税



日本経済新聞 2018/01/13



仕事消滅～AI の時代を生き抜くために、いま私たちにできること～(講談社+α新書 772-1C)

鈴木 貴博 著
講談社

2025年から2050年くらいまでの近未来にAIとロボットの進化が引き起こすとされている大規模な「テクノロジー失業」の問題を、経済学の立場で解説する。

2017:8./ 214p
978-4-06-272998-7
本体 ¥840+税



日本経済新聞 2018/01/13



伝奏と呼ばれた人々～公武交渉人の七百年史～

神田 裕理、日本史史料研究会 著
ミネルヴァ書房

鎌倉時代から江戸時代末期まで、朝廷と武家との関係を支えた「伝奏」とは、一体どのような存在だったのか。天皇・朝廷と武家との交渉の現場を描き出し、公家衆「伝奏」の全貌を明らかにする。

2017:12./ 12p,259p,2p
978-4-623-08096-0
本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2018/01/13



不安な個人、立ちすくむ国家

経産省若手プロジェクト 著
文藝春秋

経産省若手官僚が現代日本を分析。日本が立ち向かうべき課題「富の創造と分配」「セーフティネット」「国際秩序・安全保障」についてレポートする。養老孟司らとの座談会、プロジェクトメンバーへのインタビューも収録。

2017:11./ 238p
978-4-16-390747-5
本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/01/13



ラテンアメリカ怪談集(河出文庫)

ホルヘ・ルイス・ボルヘス 著
河出書房新社

日本経済新聞 2018/01/13

2017:9.
978-4-309-46452-7
本体 ¥780+税



アメリカ太平洋軍～日米が融合する世界最強の集団～

梶原 みずほ 著
講談社

アメリカ国防総省の組織に身を置き、2年間をアメリカ・ハワイで過ごした著者が、アメリカにとってのハワイの戦略的重要性、太平洋軍とその隷下の太平洋艦隊などの組織や任務等を紹介し、日米同盟の過去と現在を解説する。

2017:11./ 427p
978-4-06-220826-0
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/01/13



死にいたる病(ハヤカワ文庫 JA 1300)

榎木 理宇 著
早川書房

鬱屈した日々を送る大学生の雅也は、世間を震撼させた連続殺人犯・榛村大和から「唯一の冤罪」の証明を託される。1つ1つの選択が明らかにしていく残酷な真実とは？ 俊英が描く鮮烈なミステリ。

2017:10./ 363p
978-4-15-031300-5
本体 ¥740+税



日本経済新聞 2018/01/13



ハリウッド映画史講義～翳りの歴史のために～(ちくま学芸文庫 ハ1-8)

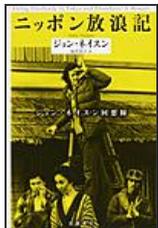
蓮實 重彦 著
筑摩書房

第二次世界大戦後、不意に崩れ始めたハリウッドの撮影所システム。時代と不幸な関係を結んだ「1950年代作家」たちが照らし出すものは。アメリカ映画が抱え込んだ問題を剔抉し、作品を見定める視界を開く独創的映画論。

2017:11./ 257p,20p
978-4-480-09828-3
本体 ¥1,100+税



日本経済新聞 2018/01/13



ニッポン放浪記～ジョン・ネイスン回想録～

ジョン・ネイスン、前沢 浩子 著
岩波書店

三島由紀夫、大江健三郎から、黒澤明、勝新太郎まで。40年にわたって翻訳家、映画監督としてマルチな才能を武器に日本中を駆け回ったジョン・ネイスンによる回想録。日米文化交渉の生きた証言録。

2017:11./ 9p,336p
978-4-00-061234-0
本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2018/01/13



明暗 改版(角川文庫 な1-12)

夏目 漱石 著
KADOKAWA

津田には半年余り前に結婚したばかりの妻・お延がいる。しかし津田は、自分を裏切って友人と結婚した元婚約者・清子のことがいまだに忘れられなかった。清子が流産し、温泉に逗留中だと知った津田は…。漱石の未完の傑作。

2017:10./ 654p
978-4-04-106177-0
本体 ¥760+税



日本経済新聞 2018/01/13



クラシック音楽とは何か

岡田 暁生 著
小学館

交響曲にはなぜ複数の楽章があるのか。モーツァルトとベートーヴェンの違いは。門外漢が「どうして?」と問うクラシック音楽の“死角”をわかりやすく解説する。『クラシックプレミアム』連載に加筆し書籍化。

2017:11./ 315p
978-4-09-388583-6
本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2018/01/13



目に見えない世界を歩く～「全盲」のフィールドワーク～(平凡社新書 862)

広瀬 浩二郎 著
平凡社

目が見えないからこそ見える世界とは。障害当事者の立場から盲人史研究に取り組み、現在は独自の<触文化論>を展開する文化人類学者が、その半生と研究の最前線を綴る。ジャケットに点字あり。

2017:12./ 259p
978-4-582-85862-4
本体 ¥820+税



日本経済新聞 2018/01/13



世界を変えた6つの「気晴らし」の物語(新・人類進化史)

スティーブン・ジョンソン、大田 直子 著

朝日新聞出版

ピタゴラスが見つけた音楽とは? 銀と同じ価値があった甘い香りとは? ショッピング、音楽、ゲームなど人々が新しい「気晴らし」を追求する中で思いがけず生まれた発明や技術発展の歴史をひもとく。

2017:11./ 414p

978-4-02-331632-4

本体 ¥2,100+税



日本経済新聞 2018/01/13



グランプリ(ハヤカワ文庫 JA 1304)

高千穂 遙 著

早川書房

妻への愛、友との友情、息子への想い、仲間との連帯を心に、男たちは走る! 最速の称号と賞金 1 億円をかけて争う「KEIRIN グランプリ」を、迫真の筆致で描いた自転車競技小説。

2017:11./ 463p

978-4-15-031304-3

本体 ¥880+税



日本経済新聞 2018/01/13



米中戦争前夜～新旧大国を衝突させる歴史の法則と回避のシナリオ～

グレアム・アリソン、藤原 朝子 著

ダイヤモンド社

アメリカと中国の間で、熾烈な覇権争奪の国際政治が生まれつつある。米国防長官顧問を務めたハーバード・ケネディスクール初代学長が、米中戦争突入の 5 つのシナリオと、回避する 4 つの戦略オプションを提示する。

2017:11./ 22p,399p

978-4-478-10331-9

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/01/13



食いつめものブルース～3 億人の中国農民工～

山田 泰司 著

日経BP社

貧しくても、学歴がなくても、田舎者でも、希望を胸に生きてきた。けれど繁栄から取り残された。爆買いとも反日とも無縁な中国農民工を描いたノンフィクション。『日経ビジネスオンライン』連載を単行本化。

2017:11./ 270p

978-4-8222-5855-9

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/01/13



妻たちの二・二六事件 新装版(中公文庫 さ27-3)

澤地 久枝 著

中央公論新社

二・二六事件で“至誠”に殉じた熱血の青年将校たち。遺された妻たちは事件後、どのような人生を歩んでいったのか。困難な取材をねばり強く重ね、文字通り足で歩いて検証した、ノンフィクションの金字塔。

2017:12./ 283p

978-4-12-206499-7

本体 ¥800+税



日本経済新聞 2018/01/13



MONEY～もう一度学ぶお金のしくみ～

チャールズ・ウィーラン、山形 浩生、守岡 桜 著

東洋館出版社

起源、金本位制などお金に関する昔のしくみから、インフレやデフレ、物価指数の計算、中央銀行の果たす役割までを説明。また、リーマンショック、ビットコインといった時事的な話題を盛り込みつつ、お金の果たす役割を述べる。

2017:12./ 23p,459p

978-4-491-03436-2

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2018/01/13



シベリア抑留最後の帰還者～家族をつないだ 52 通のハガキ～(角川新書 K-186)

栗原 俊雄 著
KADOKAWA

未完の悲劇、シベリア抑留。最後の帰還者の一人、佐藤健雄さんが妻や娘たちと交わしたハガキが見つかった。ソ連は文書の持ち出しを固く禁じていた。一つの家族がつないだ奇跡の一次資料を基に、終わらなかった戦争を描く。

2018:1./ 273p
978-4-04-082175-7
本体 ¥820+税



日本経済新聞 2018/01/13



例外時代～高度成長はいかに特殊であったのか～

マルク・レヴィンソン、松本 裕 著
みすず書房

現在の低成長が「平常」経済であり、第二次世界大戦後の高度成長期こそが「例外」であるという見方を、戦後史をたどって裏づける。また、カール・シラー、アーサー・バーンズらを細密に描写し、経済の実相を明らかにする。

2017:11./ 315p,43p
978-4-622-08653-6
本体 ¥3,800+税



日本経済新聞 2018/01/13、読売新聞 2018/01/14



未青年～歌集～(短歌新聞社文庫)

春日井 建 著
短歌新聞社

日本経済新聞 2018/01/20

2000:5./ 124p
978-4-8039-1004-9
本体 ¥667+税



会社はこれからどうなるのか(平凡社ライブラリー)

岩井 克人 著
平凡社

産業構造の大きな変化と長期化する不況の中で、あえいでいる「会社」。資本、経営、雇用などを根本から洗い直し、21 世紀における「会社」の新しい可能性を探る。会社の意外な仕組みや歴史がわかる本。

2009:9./ 373p
978-4-582-76677-6
本体 ¥950+税



日本経済新聞 2018/01/20



反哲学入門(新潮文庫)

木田 元 著
新潮社

日本経済新聞 2018/01/20

2010:5./ 302p
978-4-10-132081-6
本体 ¥520+税



日本の思想(岩波新書 青版 C-3)

丸山真男 著
岩波書店

日本人の内面生活における思想の入りこみかた、それらの相互関係を構造的な視角から追求していくことによって、新しい時代の思想を創造するために、いかなる方法意識が必要であるかを問う。

1961:11./ 192p
978-4-00-412039-1
本体 ¥740+税



日本経済新聞 2018/01/20

**免疫の意味論**

多田 富雄 著
青土社
日本経済新聞 2018/01/20

1993:4./ 236p
978-4-7917-5243-0
本体 ¥2,200+税



* 9 7 8 4 7 9 1 7 5 2 4 3 0 *

**成熟と喪失～“母”の崩壊～(講談社文芸文庫)**

江藤淳 著
講談社
日本経済新聞 2018/01/20

1993:10./ 301p
978-4-06-196243-9
本体 ¥980+税



* 9 7 8 4 0 6 1 9 6 2 4 3 9 *

**知識創造企業**

野中郁次郎、竹内弘高 著
東洋経済新報社
日本経済新聞 2018/01/20

1996:3./ 401p
978-4-492-52081-9
本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 4 9 2 5 2 0 8 1 9 *

**たとへば君～四十年の恋歌～(文春文庫 か 64-1)**

河野 裕子、永田 和宏 著
文藝春秋

出会い、結婚、子育て、発病、再発、そして死…。乳癌で亡くなった歌人・河野裕子と、先立つ妻のすべてを見届けた夫・永田和宏が紡いだ 380 首。エッセイも掲載。

2014:1./ 297p
978-4-16-790017-5
本体 ¥570+税



* 9 7 8 4 1 6 7 9 0 0 1 7 5 *

日本経済新聞 2018/01/20

**場の思想(UP コレクション)**

清水 博 著
東京大学出版会

いま人類を救えるのは生命システム論から生まれた哲学だ。自己組織現象としての「場」、「自己の卵モデル」や「共創場的創出の即興劇モデル」など、主客非分離的に対象を理解しつつ、コミュニティ的な共存在のあり方を探る。

2014:9./ 251p
978-4-13-006526-9
本体 ¥2,900+税



* 9 7 8 4 1 3 0 0 6 5 2 6 9 *

日本経済新聞 2018/01/20

**春待つ僕ら<8>(KC デザート 933)**

あなしん 著
講談社

文化祭で永久に告白された美月。恋愛禁止の部則もあるし、返事は保留だけど、なんと永久のお家に遊びに行くことに!今まで以上にドキドキな関係のなか、永久の新たな一面を知って。一方、あやちゃんもある決意を…。

2017:10./ 160p
978-4-06-365933-7
本体 ¥429+税



* 9 7 8 4 0 6 3 6 5 9 3 3 7 *

日本経済新聞 2018/01/20



日本神話はいかに描かれてきたか～近代国家が求めたイメージ～(新潮選書)

及川 智早 著

新潮社

イザナキ・イザナミ神の国生みから、神武天皇や神功皇后の雄姿まで、明治維新以降、「古事記」「日本書紀」は様々に図像化されていった。その逸脱・変容の軌跡に、近代ならではの目論見と必然性を探る。

2017:10./ 221p

978-4-10-603817-4

本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2018/01/20



ハッパノミクス～麻薬カルテルの経済学～

トム・ウェインライト、千葉 敏生 著

みすず書房

『エコノミスト』エディターが、アンデスのコカ畑から、中米の監獄まで、麻薬の「聖地」をくまなく取材。M&A、CSR、サプライチェーン管理、オフショアリング等、巨大カルテルの多国籍企業顔負けの経営戦略を解き明かす!

2017:12./ 280p,10p

978-4-622-08663-5

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2018/01/20



STARTUP～起業家のリアル～

村山 恵一 著

日本経済新聞出版社

起業家への道をどう踏み出せばいいのか。実際に踏み出した人たちはその道をどう歩んでいるのか。IoT、フィンテック、バイオ等の分野で注目の起業家5人のケースを紹介し、起業家のリアルな姿を浮かび上がらせる。

2017:11./ 255p

978-4-532-32167-3

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2018/01/20



阿久悠と松本隆(朝日新書 638)

中川 右介 著

朝日新聞出版

「また逢う日まで」「UFO」「勝手にしやがれ」「ルビーの指環」「赤いスイートピー」...。「うた」で時代を完全に支配した不世出の作詞家・阿久悠と松本隆を主人公に、昭和後期の残響と1億人の集合無意識を描ききる評伝。

2017:11./ 369p

978-4-02-273730-4

本体 ¥900+税



日本経済新聞 2018/01/20



何が困るかって(創元推理文庫 M さ 3-5)

坂木 司 著

東京創元社

子供じみた嫉妬から仕掛けられた「いじわるゲーム」の行方、夜更けの酒場で披露される「怖い話」の意外な結末...。日常/非日常の情景を鮮やかに切り取ったショートストーリー集。

2017:12./ 268p

978-4-488-45705-1

本体 ¥680+税



日本経済新聞 2018/01/20



医学の歴史～歩みを担った人たち、そして体制～(放送大学叢書 039)

多田 羅 浩三 著

左右社

医師、病理学者、看護師たち...。さまざまな人びとの手によって育てられてきた医学の歴史を、公衆衛生研究の第一人者が、医学への感謝の気持ちを込めて多くの引用と挿話で綴る。

2017:11./ 333p

978-4-86528-184-2

本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2018/01/20



はじめての八十歳

山藤 章二 著
岩波書店

入院中に迎えた八十歳の誕生日。若いころは気付かなかったこと、思いがけない発想など、脳裏に浮かぶあれこれを、筆の向くまま綴り始めたら止まらなくて…。八十歳の本音を綴る、論より感覚、御意見無用のエッセイ集。

2017:12./ 3p,154p
978-4-00-024486-2
本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2018/01/20



安楽死を遂げるまで

宮下 洋一 著
小学館

安らかに死ぬ。安楽死は本当に字義通りの逝き方なのか。スイス、オランダ、ベルギー、アメリカ、スペイン、日本。各国の現場を訪ね、安楽死の瞬間にまで立ち会ったジャーナリストが、なぜ彼らは自ら死を選んだのかに迫る。

2017:12./ 348p
978-4-09-389775-4
本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/01/20



サルはなぜ山を下りる?~野生動物との共生~(学術選書 084)

室山 泰之 著
京都大学学術出版会

ニホンザルが集落周辺に現れるようになった歴史的経緯と行動特性を紹介し、被害が発生する原因を考察。そして、農家と行政の課題とその解決方法を検討し、ニホンザルと共生してゆく方策を探る。

2017:12./ 12p,195p
978-4-8140-0121-7
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/01/20



人間アレルギー~なぜ「あの人」を嫌いになるのか~(新潮文庫 お-101-1)

岡田 尊司 著
新潮社

親友、親子、夫婦、上司と部下…。良好だった関係が、なぜ急にうまくいかなくなるのか? ベテラン精神科医が解き明かす救済の書。現代日本のみならず近代社会に広がる「人間アレルギー」の病理の本質に迫る。

2018:1./ 253p
978-4-10-121066-7
本体 ¥490+税



日本経済新聞 2018/01/20



平成トレンド史~これから日本人は何を買うのか?~(角川新書 K-188)

原田 曜平 著
KADOKAWA

バブルの絶頂期で幕を開けた平成は、デフレやリーマンショック、東日本大震災などで苦しい時代となった。消費者のマインドはどのように変化したのか? 平成時代を「経済」「消費」「トレンド」という観点から総括する。

2018:1./ 191p
978-4-04-105167-2
本体 ¥820+税



日本経済新聞 2018/01/20



あなたと短歌

永田 和宏、知花 くらら 著
朝日新聞出版

独学で短歌をはじめた知花くららが、宮中歌会始の儀や朝日歌壇の選者・永田和宏に、作歌の技術と心を教わる。対話形式の、初心者のための短歌入門書。『週刊朝日』掲載に加筆し単行本化。

2018:1./ 253p
978-4-02-331655-3
本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/01/20

**寡黙の巨星 小林中の財界史**

阪口昭 著
日本経済新聞出版社
日本経済新聞 2018/01/20

1985:3./ 270p
978-4-532-09363-1
本体 ¥1,500+税

**囀る鳥は羽ばたかない<5>(H&C Comics ihrHertZ)**

ヨネダ コウ 著
大洋図書
日本経済新聞 2018/01/20

2017:11.
978-4-8130-3168-0
本体 ¥667+税

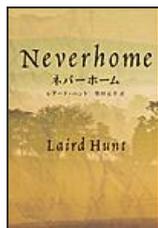
**脳の意識 機械の意識～脳神経科学の挑戦～(中公新書 2460)**

渡辺 正峰 著
中央公論新社
科学者や哲学者を悩ませる「意識の問題」とは? 人工的に意識を作りだせるのか? 現代科学のホットピックであり続ける意識研究の最前線から、気鋭の脳神経科学者が、人間と機械の関係が変わる未来を描きだす。

2017:11./ 7p,317p
978-4-12-102460-2
本体 ¥920+税



日本経済新聞 2018/01/20、朝日新聞 2018/01/21、毎日新聞 2018/01/21

**ネバーホーム**

レアード・ハント、柴田 元幸 著
朝日新聞出版
南北戦争がはじまって、インディアナの農場で暮らす主婦コンスタンスは、男のふりをして戦争に参加し…。実在の女性が遺した手紙をはじめ、南北戦争時に書かれた膨大な量の日記や書簡をもとに綴った長篇。

2017:12./ 249p
978-4-02-251509-4
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/01/20、朝日新聞 2018/01/28

**貧困の戦後史～貧困の「かたち」はどう変わったのか～(筑摩選書 0153)**

岩田 正美 著
筑摩書房
敗戦直後の食糧難の時代から、ホームレス、ネットカフェ難民、子どもの貧困まで。戦後日本の貧困の「かたち」がいかに変容したかを描き出し、今日における貧困問題の核心を衝く。

2017:12./ 343p
978-4-480-01659-1
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/01/20、東京・中日新聞 2018/01/21

**死霊<1>(講談社文芸文庫)**

埴谷 雄高 著
講談社
日本経済新聞 2018/01/27

2003:2./ 423p
978-4-06-198321-2
本体 ¥1,400+税

**死霊<2>(講談社文芸文庫)**

埴谷 雄高 著
講談社
日本経済新聞 2018/01/27

2003:3./ 402p
978-4-06-198325-0
本体 ¥1,400+税





死霊<3>(講談社文芸文庫)

植谷 雄高 著
講談社
日本経済新聞 2018/01/27

2003:4./ 425p
978-4-06-198328-1
本体 ¥1,400+税



時間と自己(中公新書)

木村 敏 著
中央公論新社
日本経済新聞 2018/01/27

2001:6./ 193p
978-4-12-100674-5
本体 ¥660+税



コーポレート・ガバナンス「本当にそうなのか？」～大量データからみる真実～

円谷 昭一 著
同文館出版
社外取締役・取締役(経営者)報酬、中期経営計画、株主還元…。コーポレート・ガバナンスをめぐる通説は真実か!? 通説とは異なる真実、これまで光が当たらなかった現実などの盲点を、大量データからあぶり出す。

2017:12./ 6p,168p
978-4-495-20621-5
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/01/27



季語体系の背景～地貌季語探訪～

宮坂 静生 著
岩波書店
これまでの季語の範疇を超えて、愛着のあるこの土地の、このことばでこそ、詠みたい。全国各地の暮らしに溶け込んだ季節のことば「地貌季語」を紹介し、その基盤となる地貌の特徴を明らかにする。『俳句』連載等を書籍化。

2017:10./ 19p,404p,6p
978-4-00-061219-7
本体 ¥3,700+税



日本経済新聞 2018/01/27



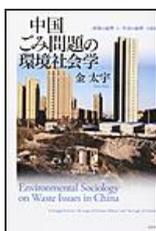
朝鮮思想全史(ちくま新書 1292)

小倉 紀蔵 著
筑摩書房
朝鮮では、思想の純粋性をめぐる激烈な闘争が繰り返し展開され、政治闘争と直結してきた。現代の韓国・北朝鮮の激烈な思想運動にもつながる朝鮮思想を客観的に捉え、霊性的視点で俯瞰する。

2017:11./ 451p,10p
978-4-480-07104-0
本体 ¥1,100+税



日本経済新聞 2018/01/27



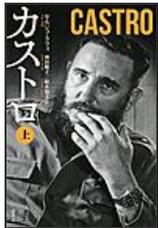
中国ごみ問題の環境社会学～<政策の論理>と<生活の論理>の拮抗～

金 太宇 著
昭和堂
中国のごみ問題はかつてない規模に拡大している。中国の廃棄物管理における制度と実態のズレに着目して北京を取り巻く「ごみ囲城」に生きる人々のリアリティを描き出し、廃棄物管理の構築に新たな視点を投入する。

2017:11./ 3p,209p,7p
978-4-8122-1639-2
本体 ¥3,500+税



日本経済新聞 2018/01/27



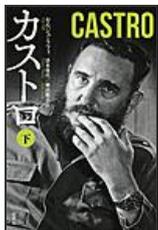
カストロ<上>

セルジュ・ラフィ、神田 順子、鈴木 知子 著
原書房

知られざる幼少期、青年時代をふくむ、キューバ革命のカリスマ・カストロの生涯を描き、伝記、ルポルタージュ、小説、歴史など、多彩な角度から謎の人物像を浮き彫りにする。幼少期の写真など貴重な資料も掲載。

日本経済新聞 2018/01/27

2017:11./ 390p
978-4-562-05453-4
本体 ¥2,400+税



カストロ<下>

セルジュ・ラフィ、清水 珠代、神田 順子 著
原書房

知られざる幼少期、青年時代をふくむ、キューバ革命のカリスマ・カストロの生涯を描き、伝記、ルポルタージュ、小説、歴史など、多彩な角度から謎の人物像を浮き彫りにする。ルーズヴェルト宛の手紙など貴重な資料も掲載。

日本経済新聞 2018/01/27

2017:11./ 374p,6p
978-4-562-05454-1
本体 ¥2,400+税



金融システムの制度設計～停滞を乗り越える、歴史的、現代的、国際的視点からの考察～

福田 慎一 編
有斐閣

急速に進む金融の自由化・国際化により転換点を迎えている日本の金融システム。歴史的・現代的・制度的・国際的な視野から日本の金融システムが直面する諸問題を改めて問い直し、新しい金融システムの制度設計を考察する。

日本経済新聞 2018/01/27

2017:11./ 13p,252p
978-4-641-16509-0
本体 ¥3,600+税



Hit Refresh～マイクロソフト再興とテクノロジーの未来～

サティア・ナデラ、グレッグ・ショー、ジル・トレイシー・ニコルズ、山田 美明、江戸 伸禎 著
日経BP社

マイクロソフトを復活させたインド人 CEO の著者が、米国への移住、マイクロソフトにたどり着くまでの自身の変革と、CEO として行ったヒット・リフレッシュ、機械の知性が人間の知性に追いつく第4次産業革命などを語る。

日本経済新聞 2018/01/27

2017:11./ 350p
978-4-8222-5533-6
本体 ¥1,800+税



働き方改革 個を活かすマネジメント～PRODUCTIVITY&INCLUSION～

大久保 幸夫、皆月 みゆき 著
日本経済新聞出版社

どうすれば長時間労働の防止や、多様な人材の活用といった「働き方改革」が職場に根付くのか? 企業の現場や人材活用スキルに精通した著者たちが、職場のマネジメント、人材教育、人材のケアの3つの視点から解説する。

日本経済新聞 2018/01/27

2017:11./ 278p
978-4-532-32176-5
本体 ¥1,800+税





「コミュ障」だった僕が学んだ話し方(集英社新書 0913)

吉田 照美 著
集英社

青春時代、コミュニケーション障害に苦しんでいた著者が、悩みぬいた末にたどりついた「コミュ障ならではの会話術」を初めて明かす。しゃべり方、言葉遣い、聞き方、間合いなど、コミュニケーションの極意が満載。

日本経済新聞 2018/01/27

2017:12./ 215p
978-4-08-721013-2
本体 ¥740+税



未完の西郷隆盛～日本人はなぜ論じ続けるのか～(新潮選書)

先崎 彰容 著
新潮社

自らが理想とする「国のかたち」を西郷に投影し、第二の維新によるもうひとつの日本の実現を求めてきた日本人。福澤諭吉から江藤淳まで、西郷を論じ続けてきた思想家たちの150年から、改めて「日本のかたち」を問い直す。

日本経済新聞 2018/01/27

2017:12./ 268p
978-4-10-603820-4
本体 ¥1,300+税



文豪文士が愛した映画たち～昭和の作家映画論コレクション～(ちくま文庫 ね3-1)

根本 隆一郎 編
筑摩書房

モンローを川端康成が語り、ヒッチコックを江戸川乱歩が論じる…。昭和を代表する作家が新聞や雑誌を中心に寄稿した、映画に関する文章を集めたオリジナル・アンソロジー。「映画黄金時代」の名作、傑作を中心に紹介する。

日本経済新聞 2018/01/27

2018:1./ 350p
978-4-480-43491-3
本体 ¥950+税



児童虐待から考える～社会は家族に何を強いてきたか～(朝日新書 643)

杉山 春 著
朝日新聞出版

困窮の中で孤立した家族が営む、救いのない生活。そこで失われていく幼い命をなぜ救うことができないのか？ 日本社会の家族規範の変容を追い、悲劇を防ぐ策を模索する。

日本経済新聞 2018/01/27

2017:12./ 215p
978-4-02-273743-4
本体 ¥760+税



英傑～西郷隆盛アンソロジー～(新潮文庫 い-16-122)

池波 正太郎、国枝 史郎、吉川 英治、菊池 寛、松本 清張、芥川 龍之介 著
新潮社

時代を超え愛される維新最大の功労者、西郷隆盛。池波正太郎、国枝史郎、吉川英治、菊池寛、松本清張、芥川龍之介、6人の文豪が西郷隆盛を描いた傑作を集めたアンソロジー。

日本経済新聞 2018/01/27

2018:1./ 284p
978-4-10-126362-5
本体 ¥520+税



貧しい出版者～政治と文学と紙の屑～

荒木 優太 著
フィルムアート社

出会うことの叶わなかった二人の小説家/運動家、小林多喜二と埴谷雄高。「アクティヴィスト」と「ひきこもり」を横断しながら、彼らが遺した“紙の屑”につながる言葉を見=冒険する、勇猛果敢な文学研究の書。

日本経済新聞 2018/01/27

2017:12./ 304p,7p
978-4-8459-1705-1
本体 ¥2,800+税





現代語訳銀行業務改善隻語

一瀬 条吉 編
長野 聡 著
近代セールス社
時代を超えて読み継がれてきた金融機関のバイブル「銀行業務改善隻語」を、原著の文章がもつ格調を残しつつ、読みやすいよう現代語訳。理解が深まる解説も収録する。

2018:1./ 430p
978-4-7650-2089-3
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/01/27



美術の力～表現の原点を辿る～(光文社新書 925)

宮下 規久朗 著
光文社
初めてのイスラエルで訪ね歩いたキリストの事蹟から、津軽の供養人形まで、美術の本質を見つめ続けた美術史家が、「美の原点」をテーマに綴った全 35 編をカラー一図版とともに収録。『産経新聞』夕刊連載記事に加筆して書籍化。

2018:1./ 267p
978-4-334-04331-5
本体 ¥980+税



日本経済新聞 2018/01/27



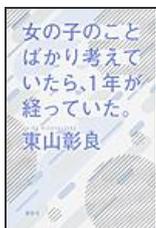
オリンピック・デザイン・マーケティング～エンブレム問題からオープンデザインへ～

加島 卓 著
河出書房新社
東京オリンピック・パラリンピックの「エンブレム問題」。「パクリか?」「出来レースか?」の論点に注目し、それぞれをデザインの歴史、広告の歴史と関連付けながら、オリンピックエンブレムの歴史を社会的に述べる。

2017:11./ 408p
978-4-309-24835-6
本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2018/01/27、毎日新聞 2018/01/28



女の子のことはかり考えていたら、1年が経っていた。

東山 彰良 著
講談社
如何にモテるか。それだけをこの胸に問い続けて、今日まで生きてきた-。「モテ」という人類最大のテーマを描いた、有象無象たちの物語。『小説現代』ほか掲載を単行本化。

2017:11./ 204p
978-4-06-220798-0
本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2018/01/06



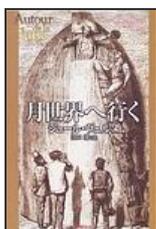
森家の討ち入り

諸田 玲子 著
講談社
赤穂四十七士には、隣国・津山森家の旧臣 3 人がいた。光を浴びることのなかった男たちと、彼らを支えた女たちによる、心震わせる戦いを描く。『小説現代』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

2017:12./ 216p
978-4-06-220884-0
本体 ¥1,450+税



毎日新聞 2018/01/06



月世界へ行く 新版(創元 SF 文庫)

ジュール・ヴェルヌ 著
東京創元社
毎日新聞 2018/01/07

2005:9./ 317p
978-4-488-60607-7
本体 ¥680+税





日本語は天才である(新潮文庫)

柳瀬 尚紀 著
新潮社
毎日新聞 2018/01/07

2009:9./ 249p
978-4-10-148012-1
本体 ¥490+税



宴のあと 改版(新潮文庫)

三島 由紀夫 著
新潮社
毎日新聞 2018/01/07

1990:1./ 237p
978-4-10-105016-4
本体 ¥520+税



コルトレーン〜ジャズの殉教者〜(岩波新書 新赤版 1303)

藤岡靖洋 著
岩波書店
ジャズという音楽を根底から変えたサクソ奏者、ジョン・コルトレーン。熱く煮えたぎる時代のなか、音楽が世界を変えると信じ、ジャズの可能性を極限まで追求しつづけた男の全生涯を描く。

2011:3./ 239p
978-4-00-431303-8
本体 ¥800+税



毎日新聞 2018/01/07



愉楽

閻 連科、谷川 毅 著
河出書房新社
障害者ばかりの僻村で、レーニンの遺体を購入し、記念館を建設しようという計画が始動する。資金調達のため、飛ぶように走る片脚の青年、下半身不随の刺?の名手など、絶技団が結成され…。現代中国の矛盾を撃つ、魔術的物語。

2014:9./ 458p
978-4-309-20660-8
本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2018/01/07



マイルス・デイヴィス自伝

マイルス・デイヴィス、クインシー・トウループ、中山 康樹 著
シンコーミュージック
音楽はもちろん、歴代メンバー他ミュージシャンについてや、女性関係、クスリ、ファッションなど、遠慮一切なしの赤裸々トーク炸裂。生のマイルスを感じられる唯一の自伝が、訳者のブラッシュ・アップを経て復刊!

2015:3./ 499p,12p
978-4-401-64119-2
本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2018/01/07



年月日

閻 連科、谷川 毅 著
白水社
千年に一度の大日照りの年。一本のトウモロコシの苗を守るため、村に残った老人と盲目の犬は、わずかな食料をネズミと奪い合い、水を求めてオオカミに立ち向かう。命をつなぐため、老人が選んだ驚くべき最後の手段とは?

2016:11./ 153p
978-4-560-09531-7
本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/01/07



炸裂志

閻 連科、泉 京鹿 著
河出書房新社

作家・閻連科は、市長に依頼されて炸裂市の歴史を綴っていく。問題作を世に問いつける著者が、躍進する中国の地方都市を舞台に描いた、盗賊と娼婦のピカレスク年代記。エッセイ「神実主義とは何か」他も収録。

2016:11./ 471p
978-4-309-20721-6
本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2018/01/07



定本漱石全集<第6巻> それから・門

夏目 金之助 著
岩波書店

原稿等の自筆資料やもっとも早く発表された資料を底本に、できるだけ忠実に翻刻(活字化)した漱石全集。第6巻は、季節の移ろいととも揺れ動く心を描いた「それから」「門」を収録。注解も掲載。

2017:5./ 3p,797p
978-4-00-092826-7
本体 ¥4,600+税



毎日新聞 2018/01/07



ピアノの名曲～聴きどころ弾きどころ～(講談社現代新書 2446)

イリーナ・メジューエワ 著
講談社

音楽鑑賞の楽しみが倍増する、クラシック音楽の入門書。代表的なピアノの名曲を取り上げ、プロにしかわからない視点から平易に解説する。アマチュアピアニストへのヒントも満載。

2017:9./ 344p
978-4-06-288446-4
本体 ¥900+税



毎日新聞 2018/01/07



日本の地下で何が起きているのか(岩波科学ライブラリー 266)

鎌田 浩毅 著
岩波書店

東日本大震災が引き金となり、日本は千年ぶりの「大地変動の時代」に入った。地震や噴火は続き、西日本大震災が迫る。いま何を準備すべきか。「命を守る」行動とは。市民の目線で、本当に必要な知識のみをわかりやすく説く。

2017:10./ 12p,154p
978-4-00-029666-3
本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2018/01/07



セロニアス・モンク～独創のジャズ物語～

ロビン・ケリー、小田中 裕次 著
シンコーミュージック

ビル・エヴァンス、キース・ジャレットと並ぶ人気ジャズ・ピアニストでありながら、その生涯は謎と伝説の多いセロニアス・モンク。彼の生涯と実像に迫ったノンフィクション。

2017:10./ 673p,30p
978-4-401-64473-5
本体 ¥3,700+税



毎日新聞 2018/01/07



花

井上 有一 著
リトル・モア

没後も展覧会が世界各地で続き、ファンを増やし続ける伝説の書家・井上有一。彼が400点にわたりのこした代表的モチーフ「花」から、厳選した約100点を掲載。

2017:10./ 1冊(ページ付なし)
978-4-89815-468-7
本体 ¥4,800+税



毎日新聞 2018/01/07



おもかげ

浅田 次郎 著
毎日新聞出版

定年の日に倒れた竹脇は、ベッドに横たわる自分の体を横目に、奇妙な体験を重ねていた。自らの過去を彷徨う竹脇の目に映ったものは…。心揺さぶる、愛と真実の物語。『毎日新聞』連載を単行本化。

毎日新聞 2018/01/07

2017:11./ 377p
978-4-620-10832-2
本体 ¥1,500+税



資本主義と死の欲動～フロイトとケインズ～

G.ドスタレール、B.マリス、齊藤 日出治 著
藤原書店

21世紀資本主義が抱える破局的な危機の実相を、フロイトの「死の欲動」という概念装置を通して読み解く。また、フロイトと経済学のケインズをフランス独自の思想の土壌で節合し、現代世界の危機認識の理論として再創造する。

毎日新聞 2018/01/07

2017:11./ 259p
978-4-86578-150-2
本体 ¥3,000+税



二階俊博～全身政治家～

石川 好 著
日本僑報社

中国における評価が極めて高い衆議院議員、二階俊博。なぜ彼は年と共に「進化」と「深化」を続けられるのか。生まれ育った風土と歴史、そして人間関係を背景に描きながら、「全身政治家」の本質と人となり鋭く迫る。

毎日新聞 2018/01/07

2017:12./ 307p
978-4-86185-251-0
本体 ¥2,200+税



新たなルネサンス時代をどう生きるか～開花する天才と増大する危険～

イアン・ゴールドスティン、クリス・クターナ、桐谷 知未 著
国書刊行会

ベルリンの壁が崩壊した 1990 年以降を新たなルネサンス時代と定義し、さまざまな分野について、1450?1550 年のヨーロッパと比較しながら解説。驚くべき類似と、過去から学ぶべきことなどを示す。

毎日新聞 2018/01/07

2017:11./ 428p
978-4-336-06194-2
本体 ¥3,700+税



世界のしおり・ブックマーク意外史～アマチュア歴史学～

猪又 義孝 著
デコ

個人の限られた記憶力を助け、読書の楽しみを増すために役立つしおり・ブックマーク。その誕生から、歴史的な経緯や近年の状況、急速に IT 化する出版界でどう変わっていくかまでを、多数のカラー図版とともにたどる。

毎日新聞 2018/01/07

2017:10./ 351p
978-4-906905-15-7
本体 ¥3,000+税



宇宙飛行の父 ツィオルコフスキー～人類が宇宙へ行くまで～

的川 泰宣 著
勉誠出版

幼少期に病気で聴力を失うも、独学でロケットの理論を打ち立てたロシア人科学者・ツィオルコフスキー。人類を宇宙に飛ばすことを夢見て、知性と理論による驚異的な未来予想で科学を発展させた「ロケット推進の父」の伝記。

毎日新聞 2018/01/07

2017:11./ 9p,306p
978-4-585-22196-8
本体 ¥1,800+税





硬きこと水のごとし

閻 連科、谷川 毅 著
河出書房新社

文化大革命の嵐が吹き荒れるなか、血気盛んな人民解放軍の若者・高愛軍は、故郷の貧村に復員し、美しき人妻・夏紅梅とともに革命を志す。セックスと革命、血と涙と笑いが交錯するドタバタ狂想讃歌。

毎日新聞 2018/01/07

2017:12./ 355p
978-4-309-20736-0
本体 ¥3,000+税



猫ヲ読ム～文筆家・漫画家が綴る、ネコセトラ～

谷口 香織 編
ホリ ナルミ 著
雷鳥社

書かずにいられない! 強面の無愛想なあの人、真面目だけが取り柄のあの人、150年前のあの人...。さまざまな人が綴った猫への想いが溢れ出た言葉を、ホリナルミの絵とともに紹介します。著者と絵の索引付き。

毎日新聞 2018/01/07

2017:11./ 271p
978-4-8441-3732-0
本体 ¥1,500+税



ノーベル賞の舞台裏(ちくま新書 1289)

共同通信ロンドン支局取材班 編
筑摩書房

ノーベル賞は、ノーベルが遺言した「人種・国籍を超えた人類への貢献」という理想とは裏腹に、国家や著名大学の名誉欲が交差し、政治利用も見え隠れする。多くの関係者の証言と資料から、ノーベル賞の舞台裏を明らかにする。

毎日新聞 2018/01/07、読売新聞 2018/01/28

2017:11./ 291p
978-4-480-07103-3
本体 ¥900+税



戦争調査会～幻の政府文書を読み解く～(講談社現代新書 2453)

井上 寿一 著
講談社

敗戦直後、幣原喜重郎内閣が設置した「戦争調査会」。多数の戦犯逮捕、公文書焼却という困難のなかおこなわれた40回超の会議の史料を通して、開戦・敗戦の実相に迫る。

毎日新聞 2018/01/07、日本経済新聞 2018/01/20、朝日新聞 2018/01/21

2017:11./ 259p
978-4-06-288453-2
本体 ¥880+税



木を見る西洋人 森を見る東洋人～思考の違いはいかにして生まれるか～

リチャード・E. ニスベット、村本 由紀子 著
ダイヤモンド社

東洋人と西洋人のものの見方・考え方が文化によっていかに違うのか、なぜ違うのかを科学的に解明する。「世界についての考え方は根本的にひとつである」とする認知科学の大前提に挑戦した知的興奮の書。

毎日新聞 2018/01/14

2004:6./ 296p
978-4-478-91018-4
本体 ¥2,000+税



モモ(岩波少年文庫)

ミヒヤエル・エンデ 著
岩波書店

町はずれの円形劇場あとにまよいこんだ不思議な少女モモ。町の人たちはモモに話をきいてもらうと、幸福な気持ちになるのです。そこへ「時間どろぼう」の男たちの魔の手が忍び寄り...。再刊。

毎日新聞 2018/01/14

2005:6./ 409p
978-4-00-114127-6
本体 ¥800+税





?東綺譚 改版(角川文庫)

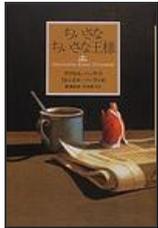
永井 荷風 著
角川書店

小説家の大江は向島の玉の井を散策中、にわか雨に降られた。広げた傘に浴衣姿の女、お雪が入ってくる。二人は逢瀬を重ねていくが…。私娼窟並ぶ玉の井を舞台に、微かに残る江戸情緒の中、描き出される愛のかたち。

2009:3./ 188p
978-4-04-102210-8
本体 ¥438+税



毎日新聞 2018/01/14



ちいさなちいさな王様

アクセル・ハッケ 著
講談社

ある日、ふらりと僕の部屋にあらわれた、僕の人差し指サイズの気まぐれな小さな王様。王様の言うところによると、どうやら彼の世界では子ども時代が人生の終わりにあるらしい。僕らのところとは違って…。

1996:10./ 108p
978-4-06-208373-7
本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2018/01/14



括弧の意味論

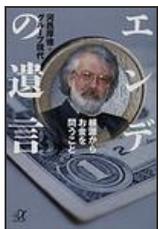
木村 大治 著
NTT出版

週刊誌の見出し、現代思想のテキスト、TV の字幕、数式、そして現代にあふれる括弧的な現象…。括弧によって切り取られた言葉は、ある種のアブナイ性質を帯びる。言語の持つ生成性の源に触れる、現代コミュニケーション論。

2011:2./ 6,248p
978-4-7571-4265-7
本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2018/01/14



エンデの遺言～根源からお金を問うこと～(講談社+α 文庫 G223-1)

河邑 厚徳、グループ現代 著
講談社

毎日新聞 2018/01/14

2011:3./ 332p
978-4-06-281419-5
本体 ¥850+税



ラインズ～線の文化史～

ティム・インゴルド、工藤 晋 著
左右社

歩くこと、織ること、歌うこと、書くこと。それらはすべて何らかのラインに沿って進行している。発話と歌の区別、地図づくりと知の方法、さかさまの木…。線という観点からすべてを見直し考え直す、線についての比較人類学。

2014:6./ 267p,8p
978-4-86528-101-9
本体 ¥2,750+税



毎日新聞 2018/01/14



しろいろの街の、その骨の体温の(朝日文庫 む 14-1)

村田 沙耶香 著
朝日新聞出版

季節が変わるごとにたくさんの転校生がやってくるニュータウンで、クラスの立場も性格も、正反対の女の子と男の子が会う。女の子から少女へと変化する姿を丹念に描く。

2015:7./ 319p
978-4-02-264784-9
本体 ¥700+税



毎日新聞 2018/01/14



『?東綺譚』を歩く

唐仁原 教久 著
白水社

永井荷風の名作「?東綺譚」を飾った木村荘八の挿絵を、人気画家が詳細に検証。舞台となった玉の井を中心に、麻布、銀座、浅草、向島などの刊行 80 年後の風景を新たに描く。「?東綺譚」玉の井地図」付き。

2017:10./ 222p
978-4-560-09580-5
本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2018/01/14



「新しい働き方」の経済学～アダム・スミス『国富論』を読み直す～(いま読む!名著)

井上 義朗 著
現代書館

「国富論」を“21 世紀の貧困論”として読むことで見えてくる市場経済の理想と現実。その矛盾の中で、私たちは誰と何を争い競争しているのか。「新しい働き方」を実現させるための「新しい企業」の姿を考える。

2017:10./ 229p
978-4-7684-1011-0
本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/01/14



メイキング～人類学・考古学・芸術・建築～

ティム・インゴルド、金子 遊、水野 友美子、小林 耕二 著
左右社

人類学と考古学、芸術、建築を、世界を探究する技術として捉えなおしたら、どんな風景が広がるのか。石器を試作し、浜辺を歩き、1 体の彫像を 1 週間観察する、そんな授業を続けてきたインゴルドによる、文化人類学の冒険の書。

2017:9./ 304p,25p
978-4-86528-179-8
本体 ¥3,100+税



毎日新聞 2018/01/14



ハームリダクションとは何か～薬物問題に対する、あるひとつの社会的選択～

松本 俊彦、古藤 吾郎、上岡 陽江 著
中外医学社

国際的に薬物問題は公衆衛生施策や支援の対象となっていて、施策の中核的な理念にハームリダクション(被害低減)という考え方がある。健康被害や危険の少ない解決策を探っていく、最先端の依存症対策を多角的に紹介する。

2017:8./ 8p,161p
978-4-498-12994-8
本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2018/01/14



大人になるまでに読みたい 15 歳の詩<6> わらう

蜂飼 耳 編
ゆまに書房

やわらかい思春期の心に伝えたい名詩セレクション。6 は、「わらう」をテーマに、石垣りん「着物」、北原白秋「わらひます」、西脇順三郎「太陽」などを収録する。巻末に蜂飼耳によるエッセイを掲載。

2017:12./ 4p,238p
978-4-8433-5216-8
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/01/14



逆説の日本経済論

斎藤 史郎、永守 重信 著
PHP研究所

人口減少でも日本経済は成長していく。超低金利政策は、資本主義を崩壊させる。識者たちが俗論を撃つ! 2017 年の小泉進次郎の講演記録も収録。日本経済研究センターのホームページ掲載に加筆し書籍化。

2017:10./ 358p
978-4-569-83692-8
本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2018/01/14



ラグビー元日本代表ヘッドコーチとゴールドマン・サックス社長が教える勝つための準備

エディー・ジョーンズ、持田 昌典 著

講談社

2015年ラグビーワールドカップで日本代表を奇跡の勝利に導いたヘッドコーチと、ゴールドマン・サックス日本法人社長。大きな成果を上げてきた最強のリーダー2人が、勝利の哲学を伝える。

2017:11./ 189p
978-4-06-220626-6

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2018/01/14



北京スケッチ～素顔の中国人～

渡辺 陽介 著

明石書店

不正義と闘う人たち、性革命と多様性、嫌いだけど好きな日本、頑張る子どもたち、庶民生活の不安と不満、都市生活の光と影…。豊富な写真を添えて等身大の中国人を描き出す。共同通信社が配信した連載を加筆・修正。

2017:11./ 178p

978-4-7503-4587-1

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/01/14



ラーメンを科学する～年間消費量 60 億食超!～

川口 友万 著

カンゼン

世界で5番目の新たな味覚「うま味」とはどんな味なのか? おいしい「だし」「?」はいかにして生まれるのか? ラーメンにまつわる様々な「なぜ?」を、科学の力で徹底解明する。

2017:12./ 295p

978-4-86255-442-0

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/01/14



北朝鮮核の資金源～「国連捜査」秘録～

古川 勝久 著

新潮社

厳しい国際包囲網の中、なぜ北朝鮮は核兵器や米国にまで届くミサイルを開発できるのか。犯罪ネットワークを駆使して戦闘機やミサイルすら密輸する非合法ビジネス、組織の中核で暗躍する日本人の存在を明らかにする。

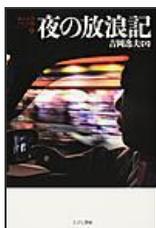
2017:12./ 463p

978-4-10-351411-4

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/01/14



夜の放浪記 (<私の大学>テキスト版 9)

吉岡 逸夫 著

こぶし書房

真夜中のワンダーランドへようこそ! みんながぐっすり眠っている間に、働き、歌い、祈り、食べる人びと。そこには、不思議な世界が広がっていた。戦場取材の名物記者が、東京の夜を案内する。『東京新聞』連載を再構成。

2017:12./ 142p

978-4-87559-333-1

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/01/14



中国政治経済史論～毛沢東時代 1949-1976～

胡 鞍鋼、日中翻訳学院本書翻訳チーム 著

日本僑報社

毛沢東時代はいかにして生まれたか。膨大な資料とデータを駆使し、新中国建国から第一次五カ年計画、大躍進、人民公社、文化大革命へ連なる政治経済史を立体的に描き、毛沢東時代の功罪と「中国近代化への道」を鋭く分析する。

2017:12./ 708p

978-4-86185-221-3

本体 ¥16,000+税



毎日新聞 2018/01/14



あなたの人生の物語(ハヤカワ文庫 SF)

テッド・チャン 著
早川書房
毎日新聞 2018/01/21

2003:9./ 521p
978-4-15-011458-9
本体 ¥960+税



沼地のある森を抜けて(新潮文庫)

梨木 香歩 著
新潮社
毎日新聞 2018/01/21

2008:11./ 523p
978-4-10-125339-8
本体 ¥710+税



現代俳句の世界<9> 西東三鬼集(朝日文庫)

朝日新聞出版
毎日新聞 2018/01/21

1984:8./ 359p
978-4-02-260929-8
本体 ¥560+税



定本現代俳句(角川選書)

山本 健吉 著
角川書店
近現代俳句のすぐれた鑑賞の書であり、俳句の奥深さと可能性を余すところなく伝える不朽の俳句入門書。昭和時代を中心に、近現代俳句の流れを展望。また俳句の表現方法などを解説し、鑑賞の手掛かりを与える。(ソフトカバー)

1998:4./ 581p
978-4-04-703292-7
本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2018/01/21



生き抜くための数学入門(よりみちパン!セ P005)

新井 紀子、100%ORANGE 著
イースト・プレス
へんなことばっかのこの世界で、しゃきっと立っていたい。だったら、数学だ! 争いを回避し、自由に生きるために必要な、「なぜ」力と「とは」力を身につけるための数学入門書。

2011:7./ 272p
978-4-7816-9005-6
本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2018/01/21



ほんとうに使える数学~教科書では教えてくれない!~<基礎編>(じっぴコンパクト新書 200)

芳沢 光雄 著
実業之日本社
大多数の大人が間違える割り算の余り、あみだくじの仕組み方とその応用、物理公式が当てはまらないネコの落下、AKB じゃんけん大会で学ぶ確率…。日常生活と関わりのある数学を楽しみ芳沢節で講義する。

2014:8./ 191p
978-4-408-33513-1
本体 ¥800+税



毎日新聞 2018/01/21



中国の文明～北京大学版～<6> 世界帝国としての文明

潮出版社

中国文明の壮大な軌跡を、膨大な文献と出土資料を駆使して説き明かす。6 は、学問領域の拡大と教育の発展、北方民族の発展と中華文明への貢献、芸術の様相と時代の精神などを収録。

毎日新聞 2018/01/21

2015:12./ 476p,20p

978-4-267-02026-1

本体 ¥5,000+税



* 9 7 8 4 2 6 7 0 2 0 2 6 1 *



母さんごめん、もう無理だ～きょうも傍聴席にいます～

朝日新聞社会部 著

幻冬舎

98歳の母の首に74歳の息子が手をかけた、憲法学の第一人者が司法試験問題を教え子の女性に漏らした…。記者が見つめた法廷の人間ドラマ29編。『朝日新聞デジタル』連載「きょうも傍聴席にいます」を単行本化。

毎日新聞 2018/01/21

2016:3./ 217p

978-4-344-02905-7

本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 3 4 4 0 2 9 0 5 7 *



協同組合の源流と未来～相互扶助の精神を継ぐ～

日本農業新聞 編

岩波書店

私たちの身近にある、古くて新しい自主自律の組織「協同組合」。その理念と実践が評価され、ユネスコの無形文化遺産にも登録された。JA(農協)を軸に、歴史的ルーツと可能性を探る。『日本農業新聞』連載をもとに単行本化。

毎日新聞 2018/01/21

2017:6./ 12p,226p,4p

978-4-00-061204-3

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 0 0 0 6 1 2 0 4 3 *



復興百年誌～石碑が語る関東大震災～

武村 雅之 著

鹿島出版会

慰霊碑・記念碑に刻まれたのは災害の記録だけでない。奇跡の復興を成し遂げた地域住民たちの姿が生き生きと描かれている。神奈川県における現地調査をもとに、関東大震災復興百年の歴史を住民目線で明らかにする。

毎日新聞 2018/01/21

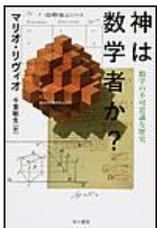
2017:9./ 294p

978-4-306-09448-2

本体 ¥3,400+税



* 9 7 8 4 3 0 6 0 9 4 4 8 2 *



神は数学者か?～数学の不可思議な歴史～(ハヤカワ文庫 NF 507)

マリオ・リヴィオ、千葉 敏生 著

早川書房

あたかも万能の存在であるかのように、なぜ数学はこんなに一貫していて、こんなに現実の役に立つのだろうか。「数学はなぜ、あり得ないほど役に立つのか」という古くからの謎について解説するポピュラー・サイエンス。

毎日新聞 2018/01/21

2017:9./ 412p

978-4-15-050507-3

本体 ¥960+税



* 9 7 8 4 1 5 0 5 0 5 0 7 3 *



ボクたちの駄!菓子(OAKMOOK 621)

初見 健一 著

オークラ出版

メジャー商品にはない「ダメさ」が、ボクたちが愛する駄菓子の特別な魅力。駄菓子とお菓子の違い、名前の由来、駄菓子屋さんの起源や流行った理由を解説し、昭和からのロングセラー駄菓子を1950?70年の年代別に紹介。

毎日新聞 2018/01/21

2017:10./ 123p

978-4-7755-2701-6

本体 ¥1,389+税



* 9 7 8 4 7 7 5 5 2 7 0 1 6 *



学童集団疎開～受入れ地域から考える～(岩波現代全書 108)

一條 三子 著

岩波書店

県別に割り当てられた 40 万人もの学童、決定から最初の受入れまでわずか 1 カ月余、宿舍や食糧の工面、軍事施設までも疎開…。受入れ地域全体が戦時体制に巻き込まれる状況を明らかにした、新たな視点からの学童疎開史。

2017:10./ 7p,265p,8p

978-4-00-029208-5

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2018/01/21



アフリカの民話集しあわせのなる木

島岡 由美子、ヤフィドゥ・マカカと 8 人のティンガティンガ・アーティストたち 著

未来社

アフリカのタンザニア在住 30 年の著者が、東アフリカ地域の各地で直接聞き集めた、おおらかでユニークな空気をたっぷり含んだ民話 20 篇を紹介。鮮やかなティンガティンガ・アートの挿絵、タンザニアの習慣などの解説も収録。

2017:11./ 221p

978-4-624-61042-5

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2018/01/21



健康格差～あなたの寿命は社会が決める～(講談社現代新書 2452)

NHK スペシャル取材班 著

講談社

所得や家庭環境などにより、自らの健康を維持する最低限の条件が蝕まれている。寿命の格差とも言うべき「健康格差」の危機的な事態に迫る。チェックシート付き。NHK スペシャルの番組内容を中心に書籍化。

2017:11./ 196p

978-4-06-288452-5

本体 ¥780+税



毎日新聞 2018/01/21



黙殺～報じられない“無頼系独立候補”たちの戦い～

島山 理仁 著

集英社

今、日本で最も有名な無頼系独立候補(=泡沫候補)、マック赤坂への 10 年に及ぶ密着取材報告をはじめ、平等な選挙が行なわれない理由、2016 年東京都知事選挙における主要 3 候補以外の 18 候補の戦いなどをまとめる。

2017:11./ 325p

978-4-08-781651-8

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/01/21



出土遺物から見た中国の文明～地はその宝を愛せず～(潮新書 012)

稲畑 耕一郎 著

潮出版社

青い玉を瞳に見立てた女神像の頭部、トルコ石を象嵌した象牙の杯、秦の始皇帝の兵馬俑…。中国の歴史を彩り創造してきた数々の貴重な文物から、中国文明の多様性とその奥深さを詳細に解き明かす。

2017:11./ 172p

978-4-267-02110-7

本体 ¥889+税



毎日新聞 2018/01/21



英語教育の危機(ちくま新書 1298)

鳥飼 玖美子 著

筑摩書房

中学校・高校の英語の授業で日本語が使用禁止!? 小学校で「英語」が始まっても、教えらるる先生がいない! 第一人者が、2020 年施行の新学習指導要領による英語教育改悪について検証し、英語教育を問いなおす。

2018:1./ 213p,7p

978-4-480-07109-5

本体 ¥780+税



毎日新聞 2018/01/21



史上最悪の英語政策～ウソだらけの「4技能」看板～

阿部 公彦 著
ひつじ書房

読む・聞く・書く・話す=4技能型とは名ばかりの、実態無き「4技能妄想」で英語教育は大混乱! 迷走する日本の英語教育行政を検証し、教育の暗黒時代から身を守るための方法を模索する。

2017:12./ 158p
978-4-89476-912-0
本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2018/01/21



きょうも傍聴席にいます(幻冬舎新書 あ-14-1)

朝日新聞社会部 著
幻冬舎

傍聴席で容疑者の表情に目をこらし、肉声に耳を澄ましていると、事件は当初の報道とは違う様相を帯びてくる。記者が紙面の短い記事では伝えきれない思いを託して綴る、法廷の人間ドラマ。『朝日新聞デジタル』連載を書籍化。

2017:11./ 278p
978-4-344-98472-1
本体 ¥880+税



毎日新聞 2018/01/21



数と夕方～管啓次郎詩集～

管 啓次郎 著
左右社

始まりはふかふかしていた 草が絡み合った地面を踏むと 踏んだ足がそのまま沈み おなじだけの体積の水が浸み出してくる 存在と水(「かかしの神」より) 詩集。

2017:9./ 316p
978-4-86528-187-3
本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2018/01/21



翔ぶが如く<10>(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋

毎日新聞 2018/01/28

2002:6./ 383p
978-4-16-766304-9
本体 ¥680+税



ボクの音楽武者修行 改版(新潮文庫)

小沢 征爾 著
新潮社

毎日新聞 2018/01/28

2002:11./ 244p
978-4-10-122801-3
本体 ¥460+税



孤独の発明(新潮文庫)

ポール・オースター 著
新潮社

毎日新聞 2018/01/28

1996:4./ 307p
978-4-10-245103-8
本体 ¥630+税



西郷隆盛と明治維新(講談社現代新書 2202)

坂野 潤治 著
講談社

征韓論、西南戦争...。「軍部独裁と侵略戦争の元祖」はつくられた虚像だった! 日本近代史の第一人者が、「議會制」を導入し、封建制の打破に尽力した最大の功労者・西郷隆盛の実像に迫る。

2013:4./ 207p
978-4-06-288202-6
本体 ¥740+税



毎日新聞 2018/01/28



西郷隆盛紀行(文春学藝ライブラリー)

橋川 文三 著

文藝春秋

明治維新の「最大の立役者」にして、明治政府に背いた「逆賊」というパラドクス。近代日本の矛盾を一身に体現した西郷隆盛という謎に迫る。島尾敏雄、安宇植との対談も収録。

2014:10./ 250p

978-4-16-813031-1

本体 ¥1,120+税



毎日新聞 2018/01/28



マルセル(文春文庫 た8-19)

高樹 のぶ子 著

文藝春秋

ロートレックの名画「マルセル」盗難事件を、父はなぜ追いつけたのか? 謎に導かれるまま、新聞記者・千晶は、東京から神戸、京都、パリへ…。実在の未解決事件をテーマにした絵画ミステリ。

2015:5./ 591p

978-4-16-790359-6

本体 ¥1,090+税



毎日新聞 2018/01/28



オライオン飛行

高樹 のぶ子 著

講談社

第二次大戦前夜、日本に墜落したフランス人飛行士と出会った看護婦・久美子。生涯で一度きりの命がけの恋。それは美しい悲恋か、陰謀の罠か? 史実を基に大胆に描く、時空を超えた恋のミステリー。『群像』連載を単行本化。

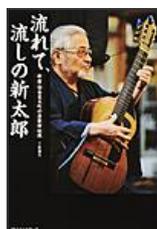
2016:9./ 286p

978-4-06-220244-2

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/01/28



流れて、流しの新太郎～新宿・四谷荒木町の演歌師伝説～

千都 譲司 著

ベストセラーズ

14歳でデビュー、ギター1本抱えて、流し生活60年を生き抜いた。新宿・四谷荒木町の演歌師・平塚新太郎の、上野の地下道から全国流転の旅人生を綴ったドキュメント。写真も多数掲載する。

2017:10./ 222p 図版 8

枚

978-4-584-13817-5

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/01/28



舞台の上のジャポニスム～演じられた幻想の<日本女性>～(NHK ブックス 1247)

馬淵 明子 著

NHK出版

世紀末バリ、オペラ座で演じられた NIPPON とはなんだったのか? ジャポニスムと日本文化の関係性を、19世紀末バリで上演された舞台を素材に問い直し、ジャポニスムの実像を解き明かす。

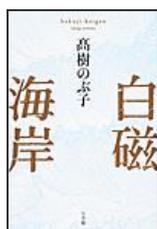
2017:9./ 279p

978-4-14-091247-8

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/01/28



白磁海岸

高樹 のぶ子 著

小学館

16年前の大学生の謎の死と、若き大学講師が発見した朝鮮白磁の正体をめぐる、驚くべき物語。古都金沢を舞台に描く、恋愛小説とミステリが融合するエンタテインメント長篇。『北國文華』連載を加筆・改題し単行本化。

2017:11./ 267p

978-4-09-386483-1

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/01/28



俳人風狂列伝(中公文庫 い126-1)

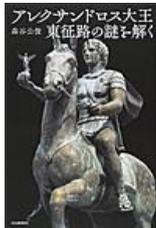
石川 桂郎 著
中央公論新社

種田山頭火、尾崎放哉、高橋鏡太郎、西東三鬼…。破滅型、漂泊型など強烈な個性を持った 11 人の俳人たち。人生と世間と格闘しつつ、俳句に懸けた彼らの壮絶な生きざまと文学世界を、端正な筆致で彫琢する。

2017:11./ 280p
978-4-12-206478-2
本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2018/01/28



アレクサンドロス大王東征路の謎を解く

森谷 公俊 著
河出書房新社

イランにおけるアレクサンドロスの遠征経路を、古典史料の再解釈と実地調査に基づいて再構成し、伝説の実像を明らかにする。多数の写真・図版、現地調査の臨場感あふれる旅行記も収録。

2017:11./ 369p 図版
16p
978-4-309-22719-1
本体 ¥3,500+税



毎日新聞 2018/01/28



戦国大名の危機管理(角川ソフィア文庫 I139-2)

黒田 基樹 著
KADOKAWA

迫りくる外敵、頻発する飢饉。戦国大名は、国を護り領民を救うために何をしたか。戦国大名の危機管理を、民衆の立場から初めて描く。「北条早雲(伊勢宗瑞)の領国経営」など 7 編を増補として追加。

2017:11./ 251p
978-4-04-400287-9
本体 ¥840+税



毎日新聞 2018/01/28



田中小実昌ベスト・エッセイ(ちくま文庫 た41-7)

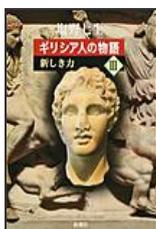
大庭 萱朗 編
田中 小実昌 著
筑摩書房

牧師の家に生まれ、戦争では死にかけ、東大に入学しながらストリップ劇場に転がり込んだ男、田中小実昌。翻訳や創作を始め、いつの間にか直木賞作家に...? 人に優しく「物語」に厳しいエッセイ。

2017:12./ 380p
978-4-480-43489-0
本体 ¥950+税



毎日新聞 2018/01/28



ギリシア人の物語<3> 新しき力

塩野 七生 著
新潮社

夢見るように生き、炎のように燃え尽きた「永遠の青春」アレクサンダー大王。なぜ、彼だけが後の人々から、「大王」と呼ばれるようになったのか。その唯一無二の生に肉薄した歴史長編。完結。

2017:12./ 464p,13p
978-4-10-309641-2
本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2018/01/28



うまたび~モンゴルを 20 年間取材した写真家の記録~

清水 哲朗 著
玄光社

トナカイ遊牧民が暮らすクマが生息するモンゴル最北部のタイガを目指した馬旅、不法金鉱山労働者“ニンジャ”や首都のマンホールチルドレン取材記…。モンゴルに魅了された写真家が、知られざるモンゴルを紹介する。

2017:11./ 193p
978-4-7683-0913-1
本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2018/01/28



千年の田んぼ～国境の島に、古代の謎を追いかけて～

石井 里津子 著
旬報社

秘境の離島に日本最古の田んぼ? いったい誰が? なんのために? 日本海の荒波の向こうに浮かぶ島、山口県萩市見島に刻まれた“奇跡の風景”の謎を解く。見返しに地図あり。

2017:12./ 191p
978-4-8451-1519-8
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/01/28



科学の不定性と社会～現代の科学リテラシー～

中島 貴子 編
信山社出版

「科学」を過信せず、しかし科学を活かす社会とは? 現実社会で科学的知識を使うために不定性への理解が欠かせないことを明らかにした上で、科学の不定性に向き合ったとき、あるいは向き合うためにできることを考察する。

2017:12./ 12p,215p
978-4-7972-1583-0
本体 ¥1,960+税



毎日新聞 2018/01/28



絶滅の人類史～なぜ「私たち」が生き延びたのか～(NHK 出版新書 541)

更科 功 著
NHK出版

ホモ・サピエンスは他の人類のいいとこ取りをしながら生き延びた!? 初期人類の謎から他の人類との交雑まで、常識を覆す人類史研究の最前線をエキサイティングに描き出す。

2018:1./ 249p
978-4-14-088541-3
本体 ¥820+税



毎日新聞 2018/01/28